

築行會編類	西川友孝編	西川友孝編	西川友孝編	伊藤義次	鈴木木三郎	阿部正雄	洪洋社編輯部編	洪洋社編輯部編	洪洋社編輯部編	洪洋社編輯部編	安藤良美	佐藤巳之吉	
事務所用建築	材料の新研究	都市の新計畫	技術の新研究	室内装置	家具製圖	新選硝子戸圖案集	椅子(1)	椅子(2)	椅子(3)	椅子(4)	家具	新編パイプ製家具と其室内高真具集	
上四新菊	並四菊	並四菊	並四菊	容四菊	容四菊	容四菊	上四六倍	上四六倍	上四六倍	上四六倍	並四六倍	並四六倍	
割入判	割入判	割入判	割入判	布入判	布入判	布入判	20冊	20冊	20冊	20冊	40冊	50冊	
48冊	218冊	187冊	151冊	281冊	155冊	42冊	1,000冊	1,000冊	1,000冊	1,000冊	2,000冊	3,000冊	
洪洋社	金星堂	金星堂	金星堂	中央工學會	中央工學會	洪洋社	洪洋社	洪洋社	洪洋社	洪洋社	青騎書房	中央工學會	
二月	三月	六月	九月	十月	十月	九月	十一月	十一月	十一月	九月	五月	五月	
▲味の素ビルディング、正金商事株式會社、森五ビルディング其他事務所四十六圖集。	▲家具材料の研究(安藤良美)注器とその材料(河内諒)庭園彫刻考(西川友孝)外十篇。	▲都市風致地敷並に美觀地區(水谷駿一)臨水都市の計畫(西川友孝)外八篇。	▲新技術の把握と認識的所産(西川友孝)外八篇。	▲歴史的變遷概説、これからの住居を基本として室内装置外二篇にて論述。	▲製圖用具の種類と其の取扱ひ方、家具製圖の心得及び準備外七章にて論述。	▲硝子戸の新型圖案集。	▲机の基本的發過過程を示せる寫真集。	▲意匠的資料としての立場から凡ゆる椅子及卓子の形態種類を収めたもの。	▲椅子及び卓子に就ての寫真を収め説明を施す。	▲前編に引續きソファ、セット、鋼管家具椅子、卓子等を収めて説明を施す。	▲机、卓、椅子類、棚、箱の三部に分け住宅家具九十種を収録して解説を施す。	▲某レストラント、カフェーの一隅、簡易な喫茶室、妻見と丸腰掛外四十六葉。	▲木工工具及機具の使用法及び取扱法に關する平易なる實際書。1冊附補綴。

山秀男	高木勝	十合基一	津田吉文	木槍一	好地武	横山薫次	小栗吉森	佐藤巳之吉
原畫用符號帖	電氣事業概觀	實用電氣學綱要	實驗電氣測定	製圖	製圖	製圖	製圖	製圖
上菊	洋四六	洋四六	洋四六	容四六	容四六	容四六	容四六	容四六
布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判
32冊	228冊	303冊	372冊	258冊	307冊	210冊	214冊	200冊
2,000冊	1,000冊	1,000冊	1,000冊	2,000冊	2,000冊	2,000冊	2,000冊	2,000冊
養賢堂	大業學會	中央工學會	中央工學會	三省堂	三省堂	金星堂	金星堂	金星堂
十月	十月	十月	十月	十月	十月	十月	十月	十月
▲日本標準製圖規格に準據して平易に説ける製圖の指針書で、製圖用具外十八章。	▲論文や單行本の執筆者に必要な原畫に貼附すべき符號文字を印刷せるもの。	▲電氣事業の過去現在及び將來に亘る記述で電氣事業の發達沿革外六章。	▲電氣工學に關する入門書で、理論篇、應用篇の二篇。	▲高等工業學校程度電氣測定に關する實驗指針書で、誘導及靜電容量の測定其他。	▲主として木竹材料とその工作法を説明せるもので、木材一般外十五章。	▲實際的工作作業を本體として論述せるもので、金屬一般、金屬工作外八章。	▲意匠としての形象の發生、自然的形狀、色彩と技光との關係其他にて論述。	▲木工工具及機具の使用法及び取扱法に關する平易なる實際書。1冊附補綴。

阿松野本 敬楠 一夫	大國 幸正	河喜多 源能 三一	大島 吳	大島 吳	鳳秀 太郎	佐々木 一三	關重 廣	上田篤次郎	佐藤 誠	原部 勝馬	對馬 米吉	佐藤 誠
電氣測定器具及測定	電磁氣學	新撰電磁氣測定及測定器	交流流理	交流流理	交流整流子電動機	電機子捲線法の原理と應用	電燈照明並電熱	電氣工學	工業電氣工學	最新水力發電所	真空管式無線電信電話	電氣計器
洋蘭菊	洋蘭菊	洋蘭菊	洋蘭菊	洋蘭菊	洋蘭菊	洋蘭菊	洋蘭菊	洋蘭菊	洋蘭菊	洋蘭菊	洋蘭菊	洋蘭菊
布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判
334	190	248	205	210	172	283	253	302	89	440	322	141
三〇〇	一八〇	三〇〇	二〇〇	二〇〇	三〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	三〇〇	三〇〇	二〇〇	一〇〇
文化堂	淡屋書店	出版部	淡屋書店	淡屋書店	丸善社	淡屋書店	工業教育會	海洋社	厚生閣	厚生閣	厚生閣	厚生閣
月四	月三	月九	月四	月六	月一	月十	月十	月十	月十	月十	月九	月四
▲測定測定誤差及電氣諸單位電池檢流計及び附屬品外八章にて論述。	▲電磁誘導作用、電流、磁氣、電流と磁氣との關係	▲專門學校工業學校及選考試験用參考書で、電氣抵抗測定法、電位差計外八章。	▲第一章ウエクトル、單一弦運動、正弦函數及正弦曲線外四章。	▲記號法、多相式交流、歪形波の三章を收む	▲直接性三相整流子電動機、分捲性三相整流子電動機、三相直接性整流子電動機、其他。	▲直流電機子捲線法、交流電機子捲線法、電機子線輪の設計、電機子の試驗法外一編。	▲最新の電燈並に照明の新しい進歩の有様を最も力を入れて記述し又電熱の要點をも解説するもの。	▲公立商船學校機關科教科書として發行したるもの。	▲電氣の概念、磁氣の概念、電氣及び磁氣學直流發電機、直流電動機外十二章。	▲受験生並に電氣技術者を本位として發電所の一般を説ける書。	▲船舶無線電信を主眼として説述せるもので真空管式無線電信電話外二編。	▲電氣計器總論、電流及電壓指示計器、電力指示器外一章。

倉斗 武夫	高瀬 芳輝	永峯 源吾	陣内 勝市	磯野 達一郎	弘學 館編	オーム社編	オーム社編	吉松氏吉	長島 儀治	嶋田 定雄	嶋田 定雄	選試研究會編
同期機の理論と應用	短波無線工學	電氣接	屋内配線工師必携	非同期進相機	改正電氣工作物規程	電氣工作物規程	電氣事業法その他	電氣用基礎數學	實教電氣標準解答	電路の計算と解き方	電氣技術者資格檢定試験問題と解答	
洋蘭菊	洋蘭菊	洋蘭菊	洋蘭菊	洋蘭菊	洋蘭菊	洋蘭菊	洋蘭菊	洋蘭菊	洋蘭菊	洋蘭菊	洋蘭菊	洋蘭菊
布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判
326	698	509	258	249	194	173	196	575	207	138	104	116
三〇〇	三〇〇	三〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇
實用工學社	誠文堂	興學館	オーム社	オーム社	弘學館	オーム社	オーム社	選試社	厚生閣	文花堂	西東社	
月二	月一	月二十	月一十	月三	月一十	月一十	月二十	月一十	月六	月四	月三	月三
▲期發電機、同期電動機、周波數變換機外二篇。附錄參考問題、交流波形の分析其他。	▲難解とされてゐる短電波の特性と其應用の一端を解説せるもので、短波受信機外十四章	▲廿世紀の工業界に一大革命を齎した電氣接線に就て論述せる書で、抵抗接外十八章。	▲電氣學の基礎から照明の大意を述べ、屋内配線の實例を擧げて平易に詳述す。	▲誘導電動機の二次勵磁作用非同期進相機の種類と概説外六章にて説述す。	▲昭和七年十一月廿一日選信省令第五十三號による改正規程全文に頭註を附載。	▲送電線路配電線路及饋電線路、電氣使用場所に於ける工事外六章。	▲電氣事業法及び附屬勅令、電氣事業法施行規則及び附屬告示外三章。	▲直流回路、靜電氣學、電氣磁氣學、交流回路外一章にて講述す。	▲電氣技術者の爲め中等程度の教學を電氣工學上の例題に採り講述されたもの參考書。	▲電氣理論以下九項に分けて多くの問題を掲げ解答を收む。	▲直流電路の計算と解き方、交流電路に三角法を應用したる解き方外三章。	▲最近五ヶ年間に於て行はれた第三種電氣技術者資格檢定問題を集録して解答を施す。

選試社編輯部	電氣操典	七津製布	528	七	選試社	月二十	▲要領の得た電氣工學要覽電氣辭典であり電氣法令電氣要録電氣日記を準備した寶典。▲電氣工學の術語並に新語を和英獨三國語にて對照記載せるもの。
オーム社編輯部	和英獨電氣術語大辭典	洋圖四六布入判	604	四〇〇	オーム社	月十	▲電氣の量、徳用な家庭電氣の使ひ方、水を調整する方法外二十四篇。
森秀	電氣一夕話	布圖四六裝入判	162	一〇〇	出版部	月二	▲電氣消費合理化の意義、家庭用品小型電動機營業用電熱器、醫療用電氣器具外三篇。
工政會消費會編	電氣の用ひ方	上四六製判	89	四〇	出版部	月四	▲機械學書中の覇たる宮城博士の近世機械學四卷中の演習問題の詳解。
宮城香五郎	近世機械學問題詳解	布圖	208	一七〇	式丸會善社	月四	▲現代の大小各種の機械をその構造原理運轉等全機械知識を最も判り易く系統的に叙述す節等に多くの増補を加へた新裝改訂版。
藤村義樹	實地機械工學	洋圖編布入判	482	三三〇	興學館	月五	▲各種の空氣制動機の構造、作用、特長、修繕方法を論ず。
丹羽重光	増訂機構學	布圖裝判	336	三〇〇	式丸會善社	月五	▲騒音の影響、騒音可聴度曲線の測定法及び測定器、騒音の調査結果他三項。
石井貞次	空氣制動機	布圖裝判	227	一四二	式丸會善社	月五	▲機械騒音測定上の諸難點に就いて、メトロヴィツク船用電動機他七項。
平山晃	騒音の研究	並四六倍製判	42	四〇	龍吟社	月二	▲生産費を低下せしむる爲の機械の組合運轉と個別運轉の配合他六項。
平山晃	騒音の研究	並四六倍製判	40	四〇	龍吟社	月五	▲車軸の振り振動、船用ディーゼル機關於ける振り振動の周期及び振幅他三項。
村田二郎	ベルト傳導裝置	並四六倍製判	40	四〇	龍吟社	月五	
城戸一俊	車軸の振り振動	並四六倍製判	40	四〇	龍吟社	月五	

時野萬次郎	ばねの最新研究	並四六倍製判	46	四〇	龍吟社	月五	▲巻ばねの設計に關する常識、機械ばねの特性、ばねのモツチンクに就て他三項。
大山文武	セミ・ディーゼル機關	洋圖編布入判	399	二八〇	海文堂	月二	▲機關各部の構造並に其の取扱、燃料油供給裝置、着火器及び調速器外十二篇。
飛永甚治	最新蒸汽タービン	洋圖編布入判	288	二四〇	出版部	月二	▲熱力學の初歩、蒸汽の諸性質と熱機關サイクル、蒸汽タービンの大要外五章。
内丸最一郎	訂改蒸汽タービン	布圖裝判	613	一〇〇〇	式丸會善社	月六	▲タービン界の近狀を明示せる改裝新版。蒸汽の膨脹及び流出以下十九章。
大賀惠二	超高壓汽罐	並四六倍製判	40	四〇	龍吟社	月二	▲アトモス汽罐、ペンリン汽罐、ブルザー式高壓汽罐、レフラー汽罐他二項。
新井榮吉	サージタンク	洋圖四六倍製判	190	特五〇六五〇	正興館	月二	▲サージタンクに關する設計方法及び計算法を説述したもので七章より。
燃料協會編	實用燃料便覽	洋圖四六布入判	773	四〇	式丸會善社	月十	▲燃料及動力界に關係する百般の事項を網羅解説せるもので固體燃料外六篇。
若林金五郎	燃料燃焼試驗問答案集	洋圖四六布入判	126	一〇〇	日本協會	月二十	▲警視廳にて課せられた試験問題を參考として其解方を述べた書で、石炭の問題外八篇。
甲斐茂吉	飛行機の理論と設計	洋圖編布入判	616	七、八〇	内田老鶴園	月二	▲主翼の理論、飛行機の一一般構造及び各部名稱、飛行機の構造理論外三章。
河田三治	プロペラの理論	上四六製判	58	四〇	出版部	月五	▲プロペラの働きの原理、改良した翼素の理論外七章。附プロペラの性能表現法。
和田小六	翼の理論	上四六製判	77	四〇	出版部	月五	▲流體力學の極端、翼の理論の二篇にてブラントルの翼の理論に就て叙述す。
小川太郎	飛行機の性能と強度	並四六製判	89	四〇	出版部	月六	▲飛行機の性能及び強度に就いて詳細なる解説を施せるもの。

小川 太一郎	山 田 雅	安 達 堅 造	山 口 增 人	小 宝 巨	佐 野 榮 治	海 文 堂 編輯部	奥 村 市 太 郎	奥 藤 吾	小 山 誠 一	古 澤 健	片 山 榮 郎	築 瀬 幸 三 郎
飛行機の安定と操縦	明日の航空機 オートチャイロの原理と其の作り方	飛行家を志す人のために	造船船	造船船	造船船	造船船	造船船	造船船	造船船	造船船	造船船	造船船
上四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六
製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判
51	338	270	255	311	311	142	222	172	540	404	143	218
四〇〇	二二〇	一〇〇	二二〇	二二〇	二二〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
出工	学文	現人	海洋	海洋	海洋	海文	海文	大石	徳文	海洋	モーター	リード
部會	會科	社	社	社	社	堂	堂	堂	堂	社	社	社
月八	月二	月二十	月二十	月五	月五	月二十	月九	月六	月七	月一	月四	月四
▲飛行機の安地及び操縦の理論的研究で、飛行機の質點力学剛體力學其他。	▲實用航空機オートチャイロの發明の動機、性能等を詳細に説明せる書。	▲先づ航空の常識を机上で、軍事上に於ける航空機の利用、列強航空界の現状外十二章。	▲現代の船舶建造につき設計工作を平易に講義したるもの。	▲船舶職員試験に應ぜらるゝ人又は一般海員の爲め力学の應用を講義したるもの。	▲公立商船學校教科書として發行したるもの。機料職員の爲め力学の應用を講義したるもの。	▲船舶航海用の天體曆である。	▲新型各種自動車の構造及び機能に就いて其の根本知識を説述せる書。	▲自動車の操縦法に就て述べたもので、自動車は如何して動くか外二章。	▲機関部、傳導装置、前車軸操向及制動、外力に依る。電氣、修理用計器工具機械其他。	▲自動車の一般智識及設計製作を詳説したるもの。	▲昭和六年大阪府施行の自動車運轉手學科法規試験全部に解答を附したるもの。	▲受験上の一般注意以下三篇廿五章にて記述した自動車運轉手學科法規参考書。

應用化學工業

山田 良之助	濱田 八之助	山本 洋一	森 川 清	遠藤 彦造	吉村 萬治	大阪商科大学	海軍艦政本部編	前田 六郎	前田 六郎	山田 復之助
金屬材料	鍊製金屬	化學工業と金属材料	實用アセチリン溶接法	耐酸耐蝕金屬及合金	製鐵事業綱要	本邦鐵鋼業と關稅	鑄造作業標準	鑄物の新研究	鑄物の新研究	鑄物の新研究
洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六
製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判
280	102	131	338	404	401	446	232	44	44	320
三〇〇	四〇〇	六〇〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇
吉田	出工	出工	信友	内田	先進	大同	物協	龍吟	龍吟	内田
出版	出版	出版	堂	老鶴	進社	書院	本會	吟社	吟社	老鶴
月六	月六	月四	月四	月七	月五	月十	月一十	月二	月二	月一十
▲金屬材料に關する基礎的知識を述べたもので機械的性質試験法外九章。	▲所謂メタルケラミツクの特性及應用を説くと共に専ら其製法を記載す。	▲現在化學工業方面に於て使用されつゝある金属材料に就て記述せるもの。	▲實施作業に従事する人々の指針書で、酸素溶接に必要な金屬學外十二章。	▲腐蝕と溶解による金屬の溶解作用、白金屬諸元素と白金合金の耐蝕性外十五章。	▲製鐵事業の要領に就て論述せるもので、原料、銑鐵の製造、鋼材の製造外五章。	▲本邦鐵鋼業の輪廓鐵鋼業政策外二編七章に挿入圖表一五六枚外に附録四を添ふ。	▲鑄物全般に亘つて論述せるもので、模範材料及鑄物材料の配合法外八章。	▲公金鑄鐵の概観、鑄鐵精練用フエロチタニウム、ニツケル鑄鐵の現狀他七項。	▲合金鑄鐵の耐蝕性自心可鍛鑄鐵の性質に及ぼすニツケルの影響他八項。	▲金屬鑄山の特殊性、鑄山の豫備調査、探鑛選鑛工場の位置選定廿二章。

吉見恒雄	河加藤正勝	青木良吉	堀越勇次郎	佐々木信三郎	杉田善康	中川房吉	岡村源一	山添長四郎	吉崎義四郎	山添長四郎	野村鉦太郎	石川鐵彌	中野定清	三宅文次郎	立澤勇吉	西澤勇志智	井口豊一郎	和田操	西松唯一	田所哲太郎	喜多源逸	平尾子之吉	岡田楠次郎		
元大坂府實業講習學校訓導	東京工業大學色染科教授	東京工業大學色染科教授	桐生高等工業學校教授	桐生高等工業學校教授	佐々木信三郎	中川房吉	岡村源一	山添長四郎	吉崎義四郎	山添長四郎	野村鉦太郎	石川鐵彌	中野定清	三宅文次郎	立澤勇吉	西澤勇志智	井口豊一郎	和田操	西松唯一	田所哲太郎	喜多源逸	平尾子之吉	岡田楠次郎		
新らしい家庭工業	人造絹絲染色法	高等手藝染色法	レーズ工業	西陣	織物の出来上るまで	製絲能率論	製絲原料論	化粧品製造講習要録	小豆本で石鹼製造法	化粧品製造講習要録	應用製法三百種	實用冷蔵冷凍法	冷凍全般の概要	冷	塗料界の寵児	織素塗料	人造品及模造品の研究	火薬學	油脂コロイド化學	油脂化學及試験法	日本精油化學	日本精油化學	明應用化學の常識		
四六六布入判 120	布判 500	布判 285	布判 357	布判 445	布判 294	布判 492	布判 499	四六六布判 73	四六六布判 106	四六六布判 73	四六六布判 280	四六六布判 55	四六六布判 140	四六六布判 44	四六六布判 384	四六六布判 483	四六六布判 334	四六六布判 150	四六六布判 325	四六六布判 850	四六六布判 584	四六六布判 563			
一、八〇	一、八〇	二、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	二、〇〇	四、〇〇	二、〇〇	八、〇〇	四、〇〇	一、〇〇	二、〇〇	一、八〇	六、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	二、〇〇		
北海出版社	谷本家	大日本會社	式善社	芸舞堂	大日本文化會	明文堂	明文堂	三圭社	三圭社	三圭社	新日本佛敎社	出版部會	大業會社	龍吟社	三圭社	内田老鶴園	太陽堂	共立社	式善社	至文堂	至文堂	至文堂	工業日本會本		
六月	五月	五月	五月	五月	四月	二月	二月	九月	八月	九月	四月	五月	五月	二月	七月	六月	四月	六月	八月	九月	九月	五月	十一月		
▲木竹工藝品(木槍想一)硝子加工品(芝田理八)金屬加工品(永澤謙二)外六章。	▲人造絹絲の沿革種類性質等より精練漂白染色法其他各種處理法に至る迄を配述す。	▲専ら手藝に關係する事柄を選び理論と實際の兩方面より説けるもので、染色法外五篇。	▲手工及び機械レーズの歴史製作等に就て論述せるもので、手工レーズ外五篇。	▲西陣織の歴史を説いた書で、機織史の概要西陣機織の消長、機織物の三編。	▲織物の原料を説き夫が絲に紡績製されたいて各種の織物になる迄の工程を述べたもので、機織物の消長、機織物の三編。	▲緒論、製絲原料と能率、環境と能率、時間並に動作研究、製絲機械と能率、他四項一改正版に就て論述。	▲製絲業と原料問題、原料價值と其要諦、繭の理化學的性質外七章にて論述。	▲液體石鹼シヤンブー石鹼グレンヂー石鹼石鹼染料用石鹼粉末石鹼農藥用石鹼等を詳説す。	▲香水化粧水クリーム白粉類ベークラムグリム香油等弊社講習會の實驗講義を摘録す。	▲液體石鹼シヤンブー石鹼グレンヂー石鹼染料用石鹼粉末石鹼農藥用石鹼等を詳説す。	▲五錢で一升の醬油製造法をはじめ約三百種にわたって化學應用の製造法を公開す。	▲古代の香料と化粧品、化粧品製造の準備化粧水、クリーム外十四篇。	▲冷氣調和とその應用、氷に依る劇場の冷房。	▲冷氣調和とその應用、氷に依る劇場の冷房。	▲冷氣調和とその應用、氷に依る劇場の冷房。	▲冷氣調和とその應用、氷に依る劇場の冷房。	▲冷氣調和とその應用、氷に依る劇場の冷房。	▲冷氣調和とその應用、氷に依る劇場の冷房。	▲冷氣調和とその應用、氷に依る劇場の冷房。	▲冷氣調和とその應用、氷に依る劇場の冷房。	▲冷氣調和とその應用、氷に依る劇場の冷房。	▲冷氣調和とその應用、氷に依る劇場の冷房。	▲冷氣調和とその應用、氷に依る劇場の冷房。	▲冷氣調和とその應用、氷に依る劇場の冷房。	▲冷氣調和とその應用、氷に依る劇場の冷房。

吉見恒雄	河加藤正勝	青木良吉	堀越勇次郎	佐々木信三郎	杉田善康	中川房吉	岡村源一	山添長四郎	吉崎義四郎	山添長四郎	野村鉦太郎	石川鐵彌	中野定清	三宅文次郎	立澤勇吉	西澤勇志智	井口豊一郎	和田操	西松唯一	田所哲太郎	喜多源逸	平尾子之吉	岡田楠次郎	
元大坂府實業講習學校訓導	東京工業大學色染科教授	東京工業大學色染科教授	桐生高等工業學校教授	桐生高等工業學校教授	佐々木信三郎	中川房吉	岡村源一	山添長四郎	吉崎義四郎	山添長四郎	野村鉦太郎	石川鐵彌	中野定清	三宅文次郎	立澤勇吉	西澤勇志智	井口豊一郎	和田操	西松唯一	田所哲太郎	喜多源逸	平尾子之吉	岡田楠次郎	
新らしい家庭工業	人造絹絲染色法	高等手藝染色法	レーズ工業	西陣	織物の出来上るまで	製絲能率論	製絲原料論	化粧品製造講習要録	小豆本で石鹼製造法	化粧品製造講習要録	應用製法三百種	實用冷蔵冷凍法	冷凍全般の概要	冷	塗料界の寵児	織素塗料	人造品及模造品の研究	火薬學	油脂コロイド化學	油脂化學及試験法	日本精油化學	日本精油化學	明應用化學の常識	
四六六布入判 120	布判 500	布判 285	布判 357	布判 445	布判 294	布判 492	布判 499	四六六布判 73	四六六布判 106	四六六布判 73	四六六布判 280	四六六布判 55	四六六布判 140	四六六布判 44	四六六布判 384	四六六布判 483	四六六布判 334	四六六布判 150	四六六布判 325	四六六布判 850	四六六布判 584	四六六布判 563		
一、八〇	一、八〇	二、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	二、〇〇	四、〇〇	二、〇〇	八、〇〇	四、〇〇	一、〇〇	二、〇〇	一、八〇	六、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	二、〇〇	
北海出版社	谷本家	大日本會社	式善社	芸舞堂	大日本文化會	明文堂	明文堂	三圭社	三圭社	三圭社	新日本佛敎社	出版部會	大業會社	龍吟社	三圭社	内田老鶴園	太陽堂	共立社	式善社	至文堂	至文堂	至文堂	工業日本會本	
六月	五月	五月	五月	五月	四月	二月	二月	九月	八月	九月	四月	五月	五月	二月	七月	六月	四月	六月	八月	九月	九月	五月	十一月	
▲木竹工藝品(木槍想一)硝子加工品(芝田理八)金屬加工品(永澤謙二)外六章。	▲人造絹絲の沿革種類性質等より精練漂白染色法其他各種處理法に至る迄を配述す。	▲専ら手藝に關係する事柄を選び理論と實際の兩方面より説けるもので、染色法外五篇。	▲手工及び機械レーズの歴史製作等に就て論述せるもので、手工レーズ外五篇。	▲西陣織の歴史を説いた書で、機織史の概要西陣機織の消長、機織物の三編。	▲織物の原料を説き夫が絲に紡績製されたいて各種の織物になる迄の工程を述べたもので、機織物の消長、機織物の三編。	▲緒論、製絲原料と能率、環境と能率、時間並に動作研究、製絲機械と能率、他四項一改正版に就て論述。	▲製絲業と原料問題、原料價值と其要諦、繭の理化學的性質外七章にて論述。	▲液體石鹼シヤンブー石鹼グレンヂー石鹼染料用石鹼粉末石鹼農藥用石鹼等を詳説す。	▲香水化粧水クリーム白粉類ベークラムグリム香油等弊社講習會の實驗講義を摘録す。	▲液體石鹼シヤンブー石鹼グレンヂー石鹼染料用石鹼粉末石鹼農藥用石鹼等を詳説す。	▲五錢で一升の醬油製造法をはじめ約三百種にわたって化學應用の製造法を公開す。	▲古代の香料と化粧品、化粧品製造の準備化粧水、クリーム外十四篇。	▲冷氣調和とその應用、氷に依る劇場の冷房。	▲冷氣調和とその應用、氷に依る劇場の冷房。	▲冷氣調和とその應用、氷に依る劇場の冷房。	▲冷氣調和とその應用、氷に依る劇場の冷房。	▲冷氣調和とその應用、氷に依る劇場の冷房。	▲冷氣調和とその應用、氷に依る劇場の冷房。	▲冷氣調和とその應用、氷に依る劇場の冷房。	▲冷氣調和とその應用、氷に依る劇場の冷房。	▲冷氣調和とその應用、氷に依る劇場の冷房。	▲冷氣調和とその應用、氷に依る劇場の冷房。	▲冷氣調和とその應用、氷に依る劇場の冷房。	▲冷氣調和とその應用、氷に依る劇場の冷房。

(7-18)

東京大等上科印刷部
矢野
矢印
刷美
學
洋函菊
布入判
300
四、五
一、四
春陽堂
月八
▲印刷術を黄金率に關聯照應して論述せるもので、美の原則—黄金率外一編。

正木不如丘著
結婚改造

定價一・二〇 東京堂版

一三、農業

農業政策・農業經營

著者	書名	裝形	釘體	頁數	定價	發行所	月行發	內容大意
永井彰一	農業政策論	洋函菊	布入判	586	三、八〇	同文館	月一	▲農業及農業政策の意義、農業政策の主體、農業行政施設の變遷外十章にて論述。
深村康	農業政策上卷	洋函菊	布入判	373	二、五〇	改造社	月九	▲農業政策に就て論述せるもので、上卷は總論、農業土地制度の二編より成る。
三神修	新農業政策綱	並函菊	製入判	349	二、五〇	章華社	月六	▲新農業政策に就て論述せるもので、農業經營、土地政策、農業信用外四章。
三神修	新農業政策綱	並函菊	製入判	349	二、五〇	章華社	月六	▲ロシア共產主義アカデミー農業部書記長たる原著者の農業政策に關する論文集。
田中勝太郎	農業政策	布菊半	裝紙	508	六、五〇	改造社	月九	▲本邦農業の全般に亘つて論述せるもので、農産物と外國貿易、農業資本外八章。
佐藤寛次	日本の農業	洋函菊	布入判	384	一、八〇	雄風館	月六	▲土地制度論、農業經營の理論と實踐、農民離村論外一篇にて論述。
久保田明光	農業更生の基本問題	布函四	裝入判	255	一、五〇	章華社	月四	▲農村自治問題に就て論述せるもので、役場論、村會篇、村是篇其他。
松本寛	優良農村の經營	洋函四	布入判	349	一、五〇	泰文館	月四	▲地主も小作人も技術者も教育者も行政家も青年も此痛快極まりなき著者の筆に接られよ
古瀬傳藏	百姓だつて人間だ	洋函四	布入判	336	一、五〇	泰文館	月三	

農業(農業政策・農業經營)

(7-8)

堀	東京日日新聞	久保佐土美	岡村精次	若尾金造	各務武雄	松村松盛	岩谷愛石	竹原貞治	相原言三郎	協調會農村課編	鎌田正忠	農業土木學會
多角形農業	新時代の農業經營	實地農業經營方式	自力更生と農業精神	更生農村の建設	農村の窮乏と農家經營の合理化	農村の自力改造	自力更生に依つて救はれた村々	農業の認識と更生の道	自力に依る農村更生の道	吾國過小農問題と共同經營	農民心理の研究	農業土木ハンドブック
上編	洋四六	洋編	並四六	並四六	並四六	並四六	並四六	並四六	並四六	並四六	並四六	並四六
製判	布入判	布判	製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判
122	404	234	60	90	110	282	464	180	247	180	360	1319
六〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇
日本種苗	創造社	養賢堂	明文堂	農民社	明文堂	青年教育	普文館	普文館	普文館	普文館	普文館	普文館
月七	月十	月二十	月八	月二十	月十	月八	月十	月十	月十	月三	月六	月二十
▲米麥養蠶に偏するを止め各種の作物を編み込みたる農業經營法の時代に適當なるを説く	▲新時代の農業經營に就ての指標書で、稻の多收穫栽培に就て其他	▲本邦の實情に即して農業經營方式の全般を理論的に解明せる書で、燒畑式外十一章	▲農業精神と農民の自力更生の一端を説いた小冊子	▲自力更生の道を説き更に農村建設に迄及んだ書で、農村の自力更生外二篇	▲不況下の農業及び農村經營の合理化に就て論述せる書で、農村の窮乏外四章	▲デンマーク國民生活の實相を紹介せるもので、デンマーク及びデンマーク人外八篇	▲自力更生運動の具體化によつて救はれた村々に就て述べた書。一書禁止	▲眞理の靈能、農とは如何、農業とは如何、農民とは如何外卅六章にて論述	▲自力更生を説く書で、農村展望、精神的振興、農業要素に對する検討其他	▲一過小農治策としての共同經營問題二共同經營の内部的組織三共同經營に關する諸問題	▲序論、總論、各論、農村社會心理、職業心理、階級心理、經濟心理、他四項、結論	▲多岐に亘る農業土木の各方面の必要事項を單冊に収めた農業家の必備品

(7-8)

滿鐵經濟調查會	天野元之助	森原昌彦	高崎鐵之助	池本喜三夫	富民協會編	帝國農會	川村芳次	竹澤篤二	池田憲司	香月秀雄	各務武一郎	帝國農會
滿洲に於ける小作様式とその性質	大陸を耕す	農業の丁抹	佛國の農村事情に就いて	日本農業年鑑	農産物の販賣統制	農産物商品化の基調	青果出荷組合の經營	更生全國優良農家組合行脚	産業組合と其の活用	産業組合と其の活用	産業組合と其の活用	産業組合と其の活用
洋四六	並四六	並四六	並四六	並四六	並四六	並四六	並四六	並四六	並四六	並四六	並四六	並四六
製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判
1	23	138	123	102	698	674	311	564	424	292	446	470
四〇	二五	四〇	二〇	四〇	一〇〇	一〇〇	二〇	三〇	二〇	二〇	二〇	二〇
滿鐵	滿洲協會	大阪每日新聞	有誠堂	明文堂	富民協會	帝國農會	西行會原	西行會原	西行會原	龍吟社	成美堂	帝國農會
月五	月一十	月二十	月十	月十	月一十	月二十	月九	月一十	月一十	月一十	月二十	月六
▲全滿の耕地に亘りそのパーセンテージを色分けにして示す	▲滿洲の自小作状態、小作契約、様式及金納物納、定額、分益小作等の特異性に及ぶ	▲滿洲の農業と移民に就て述べたもので、滿洲農業の概況、日本農民の移住外八章	▲丁抹農業の各方面に亘つて論述した書で、丁抹の農業發達史、丁抹の小農外十二章	▲佛蘭西農村の實情を各方面より論述せるもの	▲農政、販賣、團體、社會、教育、耕種、病蟲害、肥料、農具外九篇を収録	▲米穀蠶絲農村金融負債整理生産肥料財政經濟社會行政法令殖民地農業滿洲國農業事情等	▲販賣第一時代農産物の販賣統制販賣改善の必要要件價向上と品種改良他四十五章節	▲農産物の交換價値を増大し採算上有利な必要事項を詳述す、農物取引事情他三十八章節	▲農村の自力更生は時代の要求に應じた團體の力に依る外なし、組合の組織他三十四章節	▲著者が行脚踏査せる全國代表的優秀組合の紹介で、組合規約の比較研究外十五章	▲産業組合の性質及其の考察、農村振興と産業組合外五章にて論述、附漁村産業組合論	▲縣郡市町村農會所在地會長技師幹事技手書記議員顧問農會法及關係法規表農會等々

永井淳雄	二田原嘉彦	大日本水産會編	橋本傳左衛門	安城農藝研究會編	小野寺伊勢之助	小野寺伊勢之助	香川冬夫	松田秀雄	原攝祐	原攝祐
法蘭西養蠶實行組合の經營	修正森林組合解説	全國漁業組合名簿	農學原論	農藝化學	肥料學各論	肥料學各論	農業植物學汎論	日本園藝作物學	園藝作物病害防除法	茶樹の病害
洋四六判	布編製判	並四六倍判	洋四六判	洋四六判	洋四六判	洋四六判	洋四六判	洋四六判	洋四六判	洋四六判
320	229	400	390	1005	386	541	489	441	348	270
一、五〇〇	二、七〇〇	三、五〇〇	三、〇〇〇	二、〇〇〇	一、八〇〇	三、五〇〇	四、八〇〇	四、五〇〇	二、〇〇〇	三、〇〇〇
明文堂	帝國森林會	水産日會本	刊行會原	養賢堂	養賢堂	養賢堂	養賢堂	興文社	研友社	研友社
月二	月九	月十	月四	月一十	月七	月二十	月七	月二十	月五	月五
▲總説、養蠶實行組合の特性、養蠶實行組合の設立方法、養蠶實行組合の構成、他六項。の設立方法、養蠶實行組合の構成、他六項。的、森林組合の設立手續外三十三章より成る。	▲第一編漁業組合の事業概況、第二編本邦漁業組合の狀態、第三編本邦水産關係業者載録	▲農學成立の沿革、農學の地位と任務、農學の實驗的研究、農業及農學の審美的鑑賞其他	▲近代農業技術の精進を網羅せる書で、米麥品種改良、特殊作物、促成栽培外廿三篇。	▲動物肥料に屬する肥料を講述せるもので、海産動物肥料、綠肥外七章。	▲直接肥料中の無機質肥料雜質肥料の外間接肥料に就て叙述せる書。	▲一般植物學の問題中農業植物の栽培と密接な關係ある事項に關しての詳述。	▲生物學的方面及理論と實際とを聯絡する實驗的方面を強調せる書で、米穀類外四篇。	▲園藝作物の病害と防除法に就て平易に記述せるもので、病害防除法に就て平易に記述せるもの、其の防除法を詳述せるもの。	▲花卉、蔬菜、果樹、園藝須知等園藝に關する百篇を収むる辭典。	▲總論(緒論、促成栽培總論外四章)各論促成及早熟栽培外三章)にて詳述。

井谷正巳	佐藤昌治編	角田安啓	山岸守	加藤民藏述	喜田茂一郎	佐藤昌治編	米内山泰介	越卷茂樹	東原一重夫	梅原育二	角田安啓	米田義一啓	前田政吉
實用園藝入門	新園藝便覽	蔬菜高等栽培	園藝	園藝	園藝	園藝	園藝	園藝	園藝	園藝	園藝	園藝	園藝
洋四六判	洋四六判	洋四六判	洋四六判	洋四六判	洋四六判	洋四六判	洋四六判	洋四六判	洋四六判	洋四六判	洋四六判	洋四六判	洋四六判
252	1639	337	863	122	382	404	160	100	230	140	733	302	
一、八〇〇	三、〇〇〇	二、五〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	二、〇〇〇	一、五〇〇	八、〇〇〇	二、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇	五、五〇〇	三、〇〇〇	
春島堂	研友社	研友社	研友社	大進堂	刊行會原	研友社	明文堂	明文堂	明文堂	新政社	研友社	研友社	
月五	月三	月六	月一	月五	月二	月十	月五	月九	月三	月二十	月二	月八	
▲花卉を主材となし其他果樹蔬菜園藝樹木等一般園藝に就て應用し得るやうに記述す。	▲總論(緒論、促成栽培總論外四章)各論促成及早熟栽培外三章)にて詳述。	▲蔬菜園藝の實際的栽培に基いて詳述せるもので、蔬菜園藝の栽培要素外十一篇。	▲ごく作り易い野菜類の作り方を述べたもので、茄科の作物、菊科の作物外六篇。	▲蔬菜に關する實驗研究見聞等を纏めたもので、種類篇以下五篇、蔬菜の品質附載。	▲蔬菜栽培に就ての重要事項に就て圖説せるもので、蔬菜園藝經營の目的其他。	▲露地栽培用蔬菜の育苗法と其の定植の活潑に至る迄を平易に記述せるもの。	▲總論、各論、果菜類、葉菜類、軟化栽培、附録、マツシニルム栽培法。	▲この信念、この結晶、この販賣策、この經營道、この修養。	▲住友の一職工として毎日勤務しながら大阪府下最高の收穫レコードを勝ち得た研究録。	▲總論、栽培、加工、販賣等四篇三十四章にて實驗に基いて詳細した西瓜の研究書。	▲マツシニルムの栽培に就て述べたものでマツシニルムの概説、栽培場外十篇。		

農業(園藝・作物)

山本哲夫	工藤三藏	佐藤昌治編	川上善兵衛	川上善兵衛	大隅正	古谷春吉	古谷春吉	松崎操	高島恭之助	加藤民藏	神奈川縣立農事試験場	
セルリー栽培家の必す知らねばならぬ事項を説けるもので、栽培法外二章。	蕃茄の栽培法、蕃茄の病蟲害、殺蟲・殺菌劑、トマトの生噴法、トマトの加工法他一項。	果樹栽培の目的、整枝及剪定、主要果樹栽培、果樹年中行事要覽外八章にて説述。	葡萄の栽培性に就て述べた書で、葡萄栽培の沿革、葡萄と氣候外十四章。	葡萄の分類、葡萄種類各論、葡萄の品種等につき最も廣汎詳細に著す。	強耐砧木の沿革、強耐砧木品種説明、強耐砧木選擇、接木、附録十項。	栗の樹の仕立方を詳記す。	梨の栽培法講義で緒論、梨の來歴、氣候及土質、支那梨、和梨、洋梨の區別外十六章。	自由にさせる新栽培法の仕方、柿の栽培沿革、柿の品種選定法外六章にて記述。	蔓性、匍匐性の植物の利用と栽培に就て述べた書で、自然分科對照表其他。	一二年草、宿根草球根植物の順序で日常見受ける草花の最近なる種類を詳説述す。	草花の性状及び作り方に就て述べたもので、養土と肥料、春播の草花外二篇。	考案の品種改良に關し其の業績を蒐録せるもので、育成の方法外九章、圖版四十一。
澤田四六	澤田四六	澤田三六	澤田四六	澤田四六	澤田四六	澤田四六	澤田四六	澤田四六	澤田四六	澤田四六	澤田四六	
布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	
244	91	290	689	644	140	62	236	179	348	562	120	230
一、二〇	四、五〇	一、六〇	三、三〇	三、三〇	四、五〇	四、五〇	一、八〇	一、八〇	一、〇〇	三、三〇	六、五〇	八、八〇
泰文館	明文堂	研友社	刊行ケ會原	刊行ケ會原	明文堂	日本種苗會社	泰明堂	南光社	春陽堂	泰明堂	大進堂	養賢堂
月五	月三	月十	月十	月十	月八	月二十	月二十	月一十	月三	月六	月五	月五

農業(林業・造園)

品川青山	小川長水	加藤光治	高野信芳	石井勇義	丹羽鼎三	笹山三次編	野崎信夫	小林憲雄	小林憲雄	三田多村	久野吉川
藤書の栽培十二月	上手な菊の作り方	温室園藝の話	趣味の園藝	園藝植物園	色菊の花園	蘭	倍量趣味の盆栽	第五回盆栽展寫真集	盆梅の作り方	林學講	林學講
澤田四六	上菊半	並四六	布四六	布四六	洋四六	布四六	洋四六	並菊半	並菊半	並菊半	並菊半
布入判	製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判
374	136	99	637	206	211	231	362	100	60	314	262
二、三〇	四、五〇	二、三〇	一、〇〇	二、八〇	二、八〇	二、三〇	一、〇〇	六、〇〇	二、三〇	二、三〇	一、〇〇
太陽堂	資文堂	三省堂	蕭風園	誠文堂	三省堂	改造社	博文館	叢會	叢會	共生閣	共生閣
月五	月五	月七	月四	月九	月一十	月十	月十	月二十	月二	月十	月二十
▲藤書の栽培と用意、藤書の種類とその性質、品種の適用、露地栽培法其他四章にて説述。	▲初めて菊を作る人の爲に、菊の種類、菊の培養土菊の肥料外八章にて説述。	▲温室の種類、温室の建設、温度草花の栽培促成の容易な花木と球根外九章。	▲素人の園藝愛好家の爲めに花卉園藝の一般を説ける書で、花卉と品種外廿八篇。	▲日本花卉の代表的園藝品種數十種を掲出して圖説せるもので、ぼたん其他。	▲八〇圖版から成る菊花を収録して各品類の特徴其他を解説せる書。	▲古典園藝外約三百種の寫眞畫を収め東洋的蘭の品種の總説栽培秘法等を説述す。	▲誰にも容易に作れる簡易盆栽から本格盆栽の培養法に至る迄を説く。一政訂版。	▲第五回盆栽展出品全部の寫眞をアート紙刷七十頁掲載これに詳細なる解説を附す。	▲寫眞版アート別刷十六頁。伊東伯題辭、盆梅の培養法、梅の品種三百種の解説。	▲造林學(本多静六)造園學(田村剛)林産製造學(三浦伊八郎)の三篇より成る。	▲樹學(吉田義季)測量學(諸戸北郎)狩獵學(久野吉川)外三篇を収録。

(7-8)

河田 杰	森林生態學講義	洋園菊	布入判	454	四三〇	養賢堂	五月	▲森林生態學とは何か造園との關係、環境と植物の生活外十章にて論述。
鈴木 德二	森林肥料論	洋園菊	布入判	329	三三〇	日本評論社	七月	▲森林肥料に關する理論及び各國の實例を蒐載せるもので、森林の養料外十五章。
東亞經濟調査局編	我國木材需給と米材滿洲村	並菊	製判	183	一〇〇	東亞經濟調査局	一月	▲日本に於ける木材需給、合衆國に於ける森林、日本市場に於ける米材外二章。
帝國森林會編	滿蒙の森林及林業	並菊	製判	156	六五	帝國森林會	九月	▲第一編森林資源及林況各方面の森林區面積、第二編各林場沿革面積蓄積業績等。
農林省林業場編	林業試驗彙報	並菊	製判	63	三五	山日林會本	三月	▲一、釘の保持力に就て。二、本邦各地に於ける合板の狂並固着の狀態に就て等。
農林省林業場編	林業試驗彙報	並菊	製判	60	四〇	山日林會本	二月	▲一、市場に於ける主要材種の乾燥による收縮に就て外二事項。
農林省林業場編	林業試驗彙報	並菊	製判	240	八〇	山日林會本	五月	▲樹木の蒸散水量測定試驗成績(第三回)土壤水分及と森林氣象要素との關係に就て外七篇
大日本山林會編	鐵道重力式架空運搬裝置	並菊	製判	135	八〇	山日林會本	二月	▲第一回伐材運搬を目的とする、第二回薪炭運搬を目的とする、第三回材運搬を目的とする。
三浦 伊八郎	油桐の栽培	並菊	製判	121	四四	山日林會本	五月	▲油桐、油桐の分布、効用及成分、造林、收穫、製油、桐油、收支、桐油の需給結尾。
大國 三郎	山茶及茶梅と椿油	並菊	製判	142	四四	山日林會本	九月	▲第一編總論、第二編造林、第三編利用、第四編市場、第五編結論、附錄。
農林省山林局編	樹木方言集	布菊半	製判	150	四四	山日林會本	四月	▲第一編樹種名方言、第二編樹種の形態並分布、用途、第三編關係法規等。
鷺谷 瀧雄	防雪林の話	洋園菊	布入判	222	二二〇	鐵道技術社	九月	▲本邦の防雪林の發展の過程を述べ將來益々之奨励すべきを説いて生野鳥類の保護を力説評述し更に管理に及ぼす口輪挿圖十四葉。
鷺谷 瀧雄	防雪林の話	洋園菊	布入判	143	二二〇	鐵道技術社	九月	▲庭園遊園公園の築造に關する理論と實際を評述し更に管理に及ぼす口輪挿圖十四葉。

(7-9)

永見 健一	庭樹の知識	洋園菊	布入判	102	八〇	養賢堂	二月	▲庭樹に關する一般知識を述べたもので、庭樹の一般、庭樹の各論の二部より成る。
龍居 松之助	日本庭園史要	洋園菊	布入判	150	一〇〇	雄山閣	十月	▲我が國庭園に就ての沿革史で、日本庭園史概説各時代の名園の二篇。
上原 敬二	これからの小庭園	洋園菊	布入判	230	二〇〇	金星堂	三月	▲小庭園に必要な知識と經驗を通俗平易に述べた書で小庭園の内容外四篇。
上原 敬二	小庭園の園藝	洋園菊	布入判	250	二〇〇	金星堂	五月	▲主として栽培される植物の解説で、小住宅と園藝の内容外七篇。附植物名索引。
上原 敬二	新しい室内庭園	洋園菊	布入判	256	二〇〇	金星堂	十月	▲新しい室内庭園の問題に就て解説せる書で室内庭園の内容、室内庭園の各種外一篇。
吉村 巖	住宅小庭園園説	上菊	製判	121	一八〇	文書堂	十月	▲種々の技巧を必要とする住宅小庭園の築造を圖説せるもの。
近藤 康男	蠶絲業統制論	洋園菊	布入判	179	二八〇	明文堂	十月	▲製糸業認許制度、製糸業と蠶業との間の統制、蠶種の國家管理の三章にて論述。
入江 魁	蠶絲業更生の途	並菊	製判	128	四〇	明文堂	十一月	▲製糸業の統制、帶貨生糸買上に至る迄の經過、製糸業法案逐條解説外二篇にて論述。
中川 房吉	煮繭學原論	洋園菊	布入判	235	二二〇	明文堂	十二月	▲製糸原料繭の性質、煮繭作用、煮繭に關する種々な事項外六章にて論述。
金崎 眞英	上簇改良の理論と實際	洋園菊	布入判	232	一〇〇	明文堂	六月	▲緒言、上簇の時期上簇の方法、上簇蠶頭數、上簇型式、簇器上の被覆物外十項。
岩垂 新吾	上簇改良指針	洋園菊	布入判	1	四二	明文堂	六月	▲火力の使用通氣作用防熱處理選抜き操作。

健谷傳	蠶病鑑定検索表	並編	製巻	69	二〇	明文堂	月七	▲蠶病鑑定検索表、各蠶病應急手當及豫防手段、(附)蠶體蠶座藥劑散布消毒。
明文堂編	リール式簡明養蠶日誌	並四六倍判	製巻	100	四二	明文堂	月三	▲蠶卵催青日誌、蠶齡飼育日誌及備考、種蠶保護日誌、調査表、濃度表(攝氏)附表三點。
鶴田定平	桑園改植總覽	上四六倍判	製巻	450	一〇〇	新信濃毎日	月一十	▲桑園整理改良指針、桑樹立立法、桑樹品種桑園肥料、桑樹病虫害苗木凍害、外敷章。
中野誠一	畜産學	洋編	布入判	451	三八〇	明文堂	月二十	▲畜産全般の畜殖飼養管理に就て記述せる書で、蕃殖及遺傳品種外四章。
千鳥喜久男	畜産學粹	洋編	布入判	240	一三三	明文堂	月一十	▲第一篇、緒論、畜産の意義、牛、馬、他十一項、第二篇、家畜の蕃殖、家畜の審査他二の五篇を講述。
馬俊雄	副業畜産全講	洋編	布入判	287	三三〇	泰明堂	月一十	▲養豚篇、牧羊篇、山羊篇、養兔篇、養鹿篇の五篇を講述。
田村新八	有畜農業經營法	洋編	布判	285	一三〇	養賢堂	月一十	▲各種家畜の内特に牛馬に關する利用厚生を十一項を講述。
坂本健吉	馬の國勢調査	洋編	布判	300	二九〇	養賢堂	月二	▲馬體の外観全般に就て説明せるもので、毛色及別徴、馬の年齢外十七章。
久合田勉	馬の國勢調査	洋編	布判	300	二九〇	養賢堂	月二	▲地方馬一齊調査に就て(坂本健吉)統計と馬の一齊調査(三須武男)附録。
小林信三	名犬圖鑑	洋編	布入判	468	五三〇	目黒書店	月二十	▲畜犬に對する正しい認識を説けるもので、獵犬種非獵犬種外一編。
木村書房編	犬の種類と飼育	並編	製巻	75	四〇	木村書房	月八	▲犬に關する寫眞六十四圖及び解説。
時事新報社	犬の種類の飼育	並編	製巻	188	九〇	出版ノ社内	月九	▲世界の犬の代表種約百種を選び、その寫眞と解説とを収めたもの。

益高橋	良犬を得る秘訣	洋編	布入判	219	三〇〇	春陽堂	月三	▲畜犬問題、畜犬の四季の衛生外四章、畜犬の衣食住問題、畜犬の四季の衛生外四章。
中村勝一	犬の知識	上四六倍判	製巻	190	一八〇	東北書院	月十	▲平易に説ける畜犬家の手引書で、犬の知識と飼育篇、素人療病篇外一部。
小林信三	仔犬の育て方	並四六倍判	製巻	57	二〇〇	畜犬研究社	月二	▲仔犬の選擇、分娩、發育狀況、疾病、仔犬の手入外五章にて説述、附録仔犬の飼育表。
中根榮	われらの育犬日記	布編	布入判	330	一四〇	番町書房	月一十	▲愛犬家の育犬記で飼育篇、訓練篇、小品篇の三章にて記述。
伊藤藤一	シエパード	洋編	布入判	408	二二〇	番町書房	月三	▲シエパード・ドックの起源とその歴史、シエパード・ドック判定の標準外五章。
高橋蘭晴	養狐ノ理論と實際	布編	製巻	458	四八〇	丸善社	月二	▲養狐に關する最も實際的で優れたJ・E・アレンとW.C.S.マクルーの原著の翻譯。
三島康七	養狐必携	洋編	布判	90	二〇〇	明文堂	月五	▲養狐の見透し、採算の仕方、企業の大小、取引方法、スカーフ(鈴巻)の常識他四十六項。
衣川義雄	最新養兔法	洋編	布入判	546	五〇〇	西行會	月五	▲産業養兔法の汎き範圍に亘つて叙述せるもので養兔業の價値外十六章。
馬淵亮衛	密蜂の安全な飼ひの方	並編	製巻	186	八〇	博文館	月十	▲養蜂の基礎的知識密蜂の性状と蜂兒の成育養蜂に必要な主要器具外三篇。
米澤雄一	多産鶏と其の飼養管理	並四六倍判	製巻	269	一三〇	鶏の研究社	月六	▲育雛及び蕃殖の産卵に及ぼす影響から多産鶏の鑑定、飼養法について詳細記述す。
平山美佐男	實驗 羽飼ひ養鶏法	並四六倍判	製巻	148	一五〇	鶏の研究社	月十	▲本邦のバタリー養鶏法であつて鶏を一羽づゝ別飼し全エネルギーを産卵へ向はしむ。
田中穂住	養鶏の學理の實際	並編	製巻	90	四〇	新信濃毎日	月一	▲私の養鶏法の養鶏業成功の正道の鶏舎並に器具、蕃殖、飼料、育雛、産卵増進の方法等。

農業(水産)

高橋 偵造	農産製造實習法	洋函六 布入判	380	三〇〇	刊西行ケ會原	月二十	▲農産製造の各般に互り理論を避け何人にも容易に實行し得る知識を網羅す總論及各論。
上島 與三次	穀物の乾燥法	洋函六 布入判	242	一〇〇	刊西行ケ會原	月四	▲穀物の貯蔵、穀物の乾燥、火力乾燥の種類及方法乾燥室の具備すべき必要條件其他九章。
川上 善兵衛	葡萄の全醸造法	洋函六 布入判	320	三三〇	刊西行ケ會原	月二十	▲醸造用葡萄の品種、醱酵醸造設備、葡萄の醸造、葡萄酒の簡易醸造、副産物の製造其他。
古田 守夫	大根の利用法	洋函六 布判	115	四〇	泰明堂	月六	▲大根を原料とせる加工私用法に就て述べたもので、澤庵製造法、干切干製法其他。
伊藤 喜一郎	最新家庭羊毛加工法	洋函六 製判	148	六〇	水産業社	月六	▲農家の副業或は一般婦人の手藝としての羊毛加工に就て述べたもの。
東京朝日新聞社	農村副業の手引	洋函六 製判	186	六〇	朝日新聞社	月十	▲農村副業經營に必要な資金、經營の要點、販賣方法等に就て述べたもの。
中澤 毅	水産讀本	洋函六 布入判	373	一四〇	厚生閣	月十	▲平易に述べた我が國の水産讀本で、我國の水産、重要水産生物外七十章。
大日本水産會	國際水産物並雜詰類貿易統計書	洋函六 製判	1000	一五〇〇	水大産日會本	月二十	▲世界各國の水産物並に各種雜詰類の貿易統計、生産統計、關稅關係事項を詳細に網羅す。
小安 正三	函數漁況論	洋函六 布判	262	四〇	水大産日會本	月一	▲第一編漁況、第二編漁況の狀態、第三編漁況の比較と相關第四編漁獲適水温外三篇附表。
阿部 圭	實地養魚の研究	洋函六 布判	428	四〇〇	水大産日會本	月十	▲第一編總論、第二編鯉の養殖法、第三編鯉の養殖法、第四編鯉の養殖法、寫眞及圖版七十二圖。
白木 正光	金魚と熱帯魚の飼ひ方	洋函六 製判	316	二八〇	厚生閣	月五	▲主として金魚と熱帯魚の飼ひ方を述べたもので、水を取入れた生活外五篇。
松平 康昌	熱帯産養魚の飼ひ方	洋函六 製判	18	一〇	厚生閣	月八	▲熱帯魚の飼ひ方を説明した小冊子。

一四 理 科 學

理科學(科學一般)

著者	書名	裝形	頁數	定價	發行所	月行	內容大意
アロレタリア科學研究所 産業労働調査所	新興自然科學論叢	洋函六 製入判	380	一六〇	希望閣	月二	▲辯證的唯物論より見たる理論と實踐(ハハリン)物理學と工學(ヨッフエ)其他。
工學士 勝木 壽一	純粋一元科學創論	洋函六 布入判	173	三〇〇	不老閣	月九	▲一元科學の概念、純粹表現形式の二篇にて論述。
東京府立高等學校教授 兒玉 帶刀	理化學研究史	洋函六 製判	380	一三〇	修文館	月五	▲理化學をくわしく書おろした著である。
理學博士 高橋 學而	近代科學の偉人	洋函六 製入判	295	一八〇	四條書房	月二	▲科學界の傑人の傳記とその業績を五章にて青少年向きに平易に説述した書。
工學博士 石井 悅郎	科學界の女王 キウリ夫人傳	洋函六 製入判	116	一〇〇	桂文閣	月二	▲ラヂウム發見の爲に努力を續けたキウリ夫人の傳記で、夫人の生ひ立ち外三十五章。
文學博士 寺川 眞彦	萬華鏡	洋函六 製入判	225	一〇〇	鐵塔書院	月二十	▲自然現象の豫報、科學上の骨董趣味と温故知新、化物の進化外十篇の科學小論集。
文學博士 富士川 游	迷信の研究	洋函六 製判	289	二五〇	發正書院	月三	▲迷信の現象を科學的に説明せるもので、迷信の歴史、迷信者の心理其他。
渡邊 精一	父と子の科學問答	洋函六 製入判	363	二〇〇	モナス	月十	▲陸上の動物、植物、生物進化の話、其他科學のお話を收めたもの。

物理・化學

伊藤武夫編	東京天文臺編	本多光太郎	竹内潔編	竹内潔編	大久保準三	山村清著	野島雄吉	若桑光雄	若桑光雄	寺澤寛一	三宅虎雄
博物辭典	理科年表	物理學通論	高等物理學	高等物理學	最新物理學講義	新物理學の宇宙像	力學	力學	力學	初等力學	解析力學
洋四六 布入判	洋編半 布載	洋四六 布入判	洋編 布入判	洋編 布入判	洋編 布入判	洋編 布入判	洋編 布入判	洋編 布入判	洋編 布入判	洋編 布入判	洋編 布入判
1377	106	422	426	398	740	200	323	327	232	227	145
五、三〇	一、六〇	五、〇〇	三、八〇	二、八〇	三、〇〇	一、八〇	三、〇〇	三、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	四、〇〇
弘道閣	東京大學	内田老鶴園	岩波書店	岩波書店	至文堂	厚生閣	式合資會社	文明社	文明社	裳華房	共立社
月一十	月二十	月一十	月三	月十	月三	月五	月三	月二	月三	月二十	月二
▲博物學に關する一切の範圍に於て重要な事項を網羅し簡明な解釋を施す。	▲曆部、天文部、氣象部、物理化學部、地學部の五篇及び附録。	▲物理學の基礎として重要な現象を掲げ原理法則を説けるもの。I改訂版I	▲高等専門學校程度の教科書として編纂せるもので、靜力學、動力學外三篇。	▲下卷は物理學、磁氣及び電氣、量子論、特殊相對性理論の四編より成る。	▲力と物質の性質、熱、光、力と運動、物質の構造外二篇にて講述す。	▲新量子論、相對性原理、膨脹する宇宙等の理論を本質的に解説せるもの。	▲質點の平衡、剛體に働く力、速度及び加速度、剛體の迴轉運動外七章にて講述す。	▲高等程度の力學全部を質點力學及び剛體力學の二篇に分けて講述す。	▲下卷は高等程度の力學中剛體力學に就て述べたもので、重必及び質心外六章。	▲力學の初步に就て講述せるもので、質點の力學質點系の力學其他。	▲高等程度の力學を系統的に講述せるもので直線上の運動外十一章。

小陣彌一郎	玉城嘉一郎	山内恭彦著	小寺正寛	宮部宏	竹内時男	白玉井俊文	藤原義次	久保田勉之助編	眞作新六	西鐵之輔	西鐵之輔	倉林源四郎
應用力學	質點ノ力學	群論と量子力學	理論熱學	電氣磁氣學通論	電子波實驗とマトリツクス	總論	炭素化合物	自然化學概論	化學學汎論	無機化學演習	有機化學演習	有機化學實驗法講義
洋編 布入判	洋編 布入判	洋編 布入判	洋編 布入判	洋編 布入判	洋編 布入判	洋編 布入判	洋編 布入判	洋編 布入判	洋編 布入判	洋編 布入判	洋編 布入判	洋編 布入判
270	370	378	415	224	147	248	452	330	91	207	241	231
三、〇〇	四、〇〇	八、五〇	五、〇〇	一、八〇	一、四〇	二、〇〇	二、八〇	二、八〇	一、〇〇	三、〇〇	二、三〇	一、八〇
淺屋書店	内田老鶴園	裳華房	裳華房	一誠社	内田老鶴園	岩波書店	岩波書店	山海堂	共立社	文明社	文明社	中興館
月六	月五	月五	月五	月十	月六	月九	月三	月二十	月三	月二	月四	月十
▲第一章會合力、第二章剛體、第三章平行力系の力學外四章にて講述す。	▲質點の運動學、質點の特別な運動、質點の力學外四章にて講述す。	▲量子力學の根本原理及び其主要な應用を最も精緻に叙述せるもので、量子論外四章。	▲プランクの名と特に切離すことの出來ぬ熱力學、熱輻射論、量子論の三部間を講述す。	▲電氣磁氣學の基礎的知識を説けるもので、電流回路、電流と磁氣との關係外七章。	▲電子波實驗(波長と屈折率、散亂の理論外十二章)マトリツクス(一次轉換外十三章)十二卷にて講述する化學概論の第一卷で其總論第一部、基礎概念及び法則其他。	▲有機化合物の分離及び精製炭化水素のハロゲン置換體外三章。I並製二編四十卷I	▲自然化學に於ける化學の位置、物質と其の純非、化學量論の諸定律外十九卷。	▲中等教育修了者の爲に理論的に講述せるもので、物質の状態外四章。	▲高等學校化學科の細目に依つて記述せるもので、水素及び其の化合物外廿五章。	▲高等學校化學科の細目によつて記述せるもので、鎖狀化合物外一編。	▲有機化合物の成分元素、ニチレン及アセチレン置換體外廿九章にて講述す。	

理科學 (物理・化學)

山岡 望	田中 伴吉	四方 敬一	松井 元興	田村 明一	田村 明一	加藤 虎郎	荒木 鶴雄	富比奈 貞一	朝比奈 貞一	左右田 徳郎	田中正 三郎	加藤 與五郎	四方 敬一
有機化學講造論	分析の基礎	氣體分析化學	電解分析	酸化ソーダ法による新定性分析法	新定性分析法	標準定量分析法	活性炭素	實驗化學	生物化學	電氣化學實驗法	電氣化學實驗法	電氣化學	氣體製法化學
洋書	洋書	洋書	洋書	洋書	洋書	洋書	洋書	洋書	洋書	洋書	洋書	洋書	洋書
布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判
519	175	291	238	236	236	996	337	159	400	376	176	249	502
六〇〇	二〇〇	一、五〇〇	三、五〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	七、三〇〇	一、四〇〇	一、八〇〇	三、八〇〇	三、八〇〇	二、〇〇〇	三、〇〇〇	二、三〇〇
内田老鶴園	大明堂	山海堂	裳華房	帝國公民會	青山書院	式善社	式善社	裳華房	共立社	内田老鶴園	内田老鶴園	山海堂	修文館
月九	月三	月四	月四	月二	月二	月二	月七	月五	月三	月四	月十	月三	月一十
▲上巻は脂肪族化合物の構造通論、脂肪族化合物の構造各論外四編を収録。	▲定性分析及び定量分析の概要に就て述べた書で、分析の準備外三編。	▲主として常態にて氣體のものを取扱つた書で、氣體分析に於ける物理的要項外四章。	▲理論、電解定量法、電解分離法、分離の實例、附録等の詳細なる説明。	▲酸化ソーダによる新定性分析の方法を論述せるもので、豫備試験及乾式試験法其他。	▲著者の新発見に係る酸化ソーダ法による分析を記述せしもの。	▲技術者向きの最も實際的な提要、特に稀有元素、特殊鋼、合金鐵の分析に意を用ふ。	▲近來益々多方面に應用されつゝある活性炭素の全面的な研究、活性炭素の製造法以下七篇。	▲高等學校程度の化學實驗用書で、定性分析の概論、一般化學實驗の三篇。	▲一般化學を修得せられた者の爲に生物化學の梗概と趨勢とを紹介せる書。	▲電氣化學の練習課題を網羅詳述せる書で、電氣化學實驗總論外五篇。	▲電熱化學工業、高壓放電應用の化學工業、電氣化學工業、電氣冶金外四編。	▲氣體の物理的化學的性質と製法、精製法及其生理作用等を論述せるもの。	▲中等學校で學びし物理を整理及修練したものである。

理科學 (理科參考書)

山口 基一	河野 通匡	土井 不雲	京都帝國大學	京都帝國大學	京都帝國大學	京都帝國大學	内閣資源局編	大幸 勇吉	田所 哲太郎	一瀬 電信	江見 節男	越山 季一	谷口 基一
物理學辭典	物理化學の進歩	物理化學の進歩	物理化學の進歩	物理化學の進歩	物理化學の進歩	物理化學の進歩	化學標準用語	通俗化學對話	生物物理化學試驗法	高等化學綱要並問題解法	高等化學計算法解義	化學理論及計算	物理學精義
洋書	洋書	洋書	洋書	洋書	洋書	洋書	洋書	洋書	洋書	洋書	洋書	洋書	洋書
布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判
915	143	151	122	126	491	166	202	128	502	500	502	500	502
三、八〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇
有精堂	至文堂	至文堂	至文堂	至文堂	工政會	富山房	成美堂	裳華房	裳華房	裳華房	裳華房	内田老鶴園	修文館
月一	月十	月五	月一	月八	月八	月三	月二	月二	月二	月二	月二	月二	月一十
▲中等學校程度の物理化學一般の術語を網羅して解説せる辭典。	▲白金表面に於けるメタンの分解(窪川眞男)外六篇。	▲多孔質固體の氣體收着速度(鮫島實三郎)ヴァイスコープに就て(井上亮平)其他。	▲低溫に於ける酸化窒素と酸素との反應速度(後藤廉平)外八篇。	▲資源に關する用語中化學に關するもの、標準用語を収録せるもの。	▲中等學校で教へる程度の化學を教師と生徒との問答の形式で説述した書。	▲電氣化學の練習課題を網羅詳述せる書で、電氣化學實驗總論外五篇。	▲電熱化學工業、高壓放電應用の化學工業、電氣化學工業、電氣冶金外四編。	▲氣體の物理的化學的性質と製法、精製法及其生理作用等を論述せるもの。	▲中等學校で學びし物理を整理及修練したものである。	▲物理學のあらゆる受験問題を解説したもの	▲物理學のあらゆる受験問題を解説したもの	▲物理學のあらゆる受験問題を解説したもの	▲物理學のあらゆる受験問題を解説したもの

研究社編輯部編	植	物	學	家	氣	象		
理化教育研究会編	受驗本位	物理學問題演習	並四六	製判	156	六〇	出西	▲中等學校に於て學習すべき事項及び最近入試問題を採録して説述す。
中等理學會編	受驗本位	物理學計算法	並四六	布判	422	八〇	光世	▲物理學計算問題の解き方を受驗本位に最も分り易く講義せる書。
北岡馨	化問	題と解義	並四六	布判	369	二四〇	岩波	▲官立大學の入学試験及び文部省の教員検定試験の化學科問題を集録して解説す。
藤村與市	推論的	化學の寶典	並四六	製判	335	一八〇	賢榮	▲初めて化學を學ぶ人々の爲に説明せる書で化學量論の諸定律外四十五章。
河野通匡	整理	化學精義	並四六	製判	500	二二〇	修文	▲中等學校で學びし化學を整理及修練した者である。
渡部省軒	明解	化學のかなめ	並四六	製判	200	六〇	弘道	▲新制度に依る化學を最も分り易い様に懇切に編輯したものである。
中等理學會編	受驗本位	物理學計算法	並四六	製判	422	一〇〇	光世	▲各章解法の基礎たる原理法則を掲げ算法の理由を明にし範例類題應用雜題等に分つ。
藤井龍一	受驗本位	化學の徹底的準備	並四六	布判	823	二四〇	教育	▲高等諸學校の受驗化學參考書で、非金屬金屬有機化合物外一篇。
藤澤喜芳	女子	日常化學	並四六	布判	181	八〇	光文	▲高等女學校及び之と同程度の女子中等學校に於ける化學の副教科書。
佐々理宜造	受驗本位	物理學重要問題解答集	並四六	製判	176	六〇	先進	▲植物動物礦物生理衛生博物通論の全般に亘つて從來の試験問題を基礎に解説す。
三省堂編輯所編	新制	學生の一般理科	並四六	布判	296	一〇〇	三省	▲昭和六年一月公布された中學校教授細目によつて詳細に説明を施す。
原田一	中學	一般理科	並四六	製判	274	〇〇	綜合	▲中等學校の諸種の物理學教科書に採つて收めた高等專門學校入學準備用書。
研究社編輯部編	中學	一般理科	並四六	製判	657	二〇〇	出版	

理科學 (理科參考書)

研究社編輯部編	植	物	學	家	氣	象			
天文同好會編	天	文	學	並三六	製判	275	二〇〇	新光	▲太陽系(天體としての地球外十二章)天體物理學及び恒星天文學(光外十二章)。
東亞天文協會編	天	文	學	並三六	製判	153	一三〇	恒星	▲星座、太陽、月、日蝕と月蝕遊星の運行衛星の軌道其他の天文年鑑。
藤本正人編	日・月	蝕及掩蔽	並三六	製判	132	二二〇	恒星	▲日蝕論、月蝕論、遊星の太陽面通過、掩蔽を算出する描畫法外一章にて論述。	
木村書房編	天體	の不可思議	並三六	製判	75	四〇	木村	▲天體に關する寫眞六十四圖及び解説。	
中村要	天體	寫眞術	並三六	製判	215	二〇〇	恒星	▲天體寫眞術、天體寫眞用レンズ、各天體の攝影法外五章にて説述。	
山本一清	登山者	の天文學	並三六	製判	150	一六〇	恒星	▲登山者の爲の簡易な天文の手引書で、趣味としての天空觀察外二部。	
藤原咲平	氣象	と人生	並四六	製判	258	二〇〇	鐵塔	▲天氣豫報の當らぬ話、各種の渦巻に就いて梅雨の爲に、氣象と人間生活外四篇。	
朝日新聞社編	地球	物理學	並四六	製判	143	一〇〇	朝日	▲地球の形、地球の重さ、大陸と大洋、地球内部の構造外三章にて論述。	
中村左衛門太郎	地球	物理學	並四六	製判	232	一〇〇	恒星	▲宇宙、地球の運動、地球の構造、陸界、水界、氣象、地球征服の四篇にて説述。	

理科學 (天文・氣象・地學・礦物)

川村多實二	動物系統發生學	洋四六倍判	布入判	232	二五〇	星野書店	月二	▲我邦に普通なる動物及海外の著名なる動物を圖入にて説明せる書春椎動物其他。
八田三郎	動物系統發生學	洋四六倍判	布入判	613	七五〇	養賢堂	月八	▲無頭類、圓口類、兩棲類、發生通則外六章にて講述す。
渡瀬三郎・高橋精一 岡田一郎・内田清之助 鍋木外岐夫	天然紀念物調査報告	洋四六倍判	布入判	114	二八〇	刀江書院	月九	▲明神池(渡瀬三郎)北海道釧路國に於ける丹頂鶴繁殖地(高橋精一)外十九篇。
朝日新聞社編	動物の卷	並四六倍判	製入判	151	一〇〇	朝日新聞社	月四	▲動物の基本的な項目を網羅してやさしく説いたもので、哺乳類鳥類外七篇。
新光社編輯部編	動物の卷	並四六倍判	製入判	262	一八〇	新光社	月五	▲本稿は主として無脊椎動物を扱ひ他に特殊動物を挙げる。前篇と共に珍奇の寫眞は無比。
新光社編輯部編	動物の卷	並四六倍判	製入判	271	一八〇	新光社	月三	▲神秘的動物の世界は鮮明な寫眞と懇切な説で總ては闡明、本稿は主として推春動物。
飯塚一啓氏外	動物採集便覽	並四六倍判	製入判	70	二〇〇	北隆館	月六	▲昆蟲以外の動物各類に就いて、その採集保存法を説けるもの。
石澤桂夫助	日本産鳥類の卵	並四六倍判	製入判		一〇〇	式會社	月四	▲第一輯、着彩段六面、寫眞版三面、本文十頁。全部廿輯にて完結の豫定。
石澤桂夫助	日本産鳥類の卵	並四六倍判	製入判		一〇〇	式會社	月七	▲同上
森健夫助	日本産鳥類の卵	並四六倍判	製入判		一〇〇	式會社	月七	▲本邦産の鳥類百五十五種を原色版にて蒐録し解説を施す。
内田清之助	鳥類圖譜	並四六倍判	製入判	174	二〇〇	三省堂	月七	▲三百六十餘原色圖版に對面説明頭卷に六十餘頁の總論學名和名並に魚の方言索引完備。
下村兼二助	鳥類圖譜	並四六倍判	製入判	400	七五〇	大地書院	月二十	▲熱帯魚飼養の歴史・アクアリウム・水藻類・巻貝・魚の種類(三十一種)病氣と害敵其他。
田中茂穂	鳥類圖譜	並四六倍判	製入判	162	一五〇	刊行會	月七	▲昆蟲や鳥獸の生態の觀察記で、蟻蜂の生活外十九篇。挿寫眞八三圖。
鷹司信敬	熱帯魚	並四六倍判	製入判	408	二〇〇	刊行會	月七	▲一般軟體動物の習性中比較的興味ある約六十餘の寫眞及び解説。
中西悟堂	熱帯魚	並四六倍判	製入判	408	二〇〇	刊行會	月七	▲爬虫類の中で外形のよく似てゐる蜥と蛇の寫眞を載めて解説を施す。

和野富太郎	植物學講話	洋四六倍判	布入判	427	二五〇	南光社	月一十	▲初學者にも理解し得る植物學研究書で、精論、普通植物の觀察、植物の利用外三編。
加藤正世	蟻の生活	並四六倍判	製入判	277	一八〇	改造社	月八	▲蟻の生活に就て述べたもので、蟻塚の神秘意思の交換および方位感外十章。
東京博物學會編	集成昆蟲圖鑑	並四六倍判	製入判	561	二五〇	三省堂	月一	▲蟻に關する科學上の研究で、蟻科の特制、特性寄附除豫防法採集法等必要事項詳解す。
東京博物學會編	集成昆蟲圖鑑	並四六倍判	製入判	1087	二五〇	株治圖書	月四	▲千六百餘種の寄附を挙げその經過及び習性を説明し驅除豫防法を記載す。
加藤正世	日本通俗昆蟲圖說	並四六倍判	製入判	185	二五〇	厚生閣	月二十	▲第一輯は革翅目、直翅目の昆蟲類を原色版で載め圖解、採集法等を述べたもの。
加藤正世	日本通俗昆蟲圖說	並四六倍判	製入判	253	二五〇	春陽堂	月六	▲第四卷は膜翅目一八二種、双翅目一三四種有翅目一七九種の昆蟲を記載せるもの。
内田清之助	日本昆蟲圖鑑	並四六倍判	製入判	2879	一五〇〇	北隆館	月六	▲本邦に産する昆蟲並にその幼蟲の代表的諸型を列舉しその形態を分類學的に圖説す。
内田清之助	日本昆蟲圖鑑	並四六倍判	製入判	70	二五〇	北隆館	月六	▲昆蟲の雌雄鑑別法、採種法、保存法を解説せるもの。
美濃部照	爬虫類の生態と進歩	並四六倍判	製入判	91	一五〇	養賢堂	月十	▲第四卷は膜翅目一八二種、双翅目一三四種有翅目一七九種の昆蟲を記載せるもの。
平瀬信太郎	貝類の習性	並四六倍判	製入判	84	一五〇	木村書房	月十	▲第一輯、着彩段六面、寫眞版三面、本文十頁。全部廿輯にて完結の豫定。

理科學 (科學玩具・模型)

相澤次郎	世界人造人間と電氣サイ	洋書	六	布判	247	一、三〇〇	學文協教會科	月五	▲尖端的な宣傳術、世界最初の人造人間、設計製作と利用法外三章にて説述。
------	-------------	----	---	----	-----	-------	--------	----	-------------------------------------

六〇四

松村松年博士三名著

蟲界の驚異 (九版) 送料 三・五〇
 面白き蟲界の教材 (再版) 送料 三・五〇
 蟲の社會生活 (近刊) 未定

東京・神田・東京堂版

一五、數學

數學 (高等數學)

著者	書名	裝釘	定價	發行所	月行	内容大意		
藤岡茂	微分學要論	洋書	布判	159	一、八〇〇	培風館	月二	▲微分學に就ての検討で、導函數幾何學的應用、數外二章。
關口雷三	微分積分學通論	洋書	布判	525	四、〇〇〇	共立社	月三	▲高等專門諸學校に於ける微分積分學教科用として編纂せるもので、微分學外一篇。
池田芳郎	微分積分學序論	洋書	布判	356	三、〇〇〇	内田老鶴圃	月一	▲微分積分學を高等學校の理科程度に説述せる書で、積分の方法外七章。
池田良一	初等數學で分る微分積分の講義	洋書	布判	547	三、〇〇〇	太陽堂	月八	▲微分積分學の初等入門書で、座標と函數、函數の圖形表示、極根外十七章。
池田芳郎	微分積分の意味と用法	洋書	布判	81	一、〇〇〇	内田老鶴圃	月一	▲微分積分、初等算術、函數の狀態、微分積分の方法、微分方程式の五章。
藤岡茂	積分學要論	洋書	布判	180	一、三〇〇	培風館	月四	▲不定積分、定積分、積分の應用、重複積分、微分方程式の五章にて説述。
野村猛	高等數學概説	洋書	布判	347	一、八〇〇	大觀堂	月三	▲本章は解析幾何學、積分學、三角法、立體幾何學、代數學を綜合的に説述せるもの。
池田豐治郎	確率論及び其ノ應用	洋書	布判	28	一、八〇〇	共立社	月六	▲確立論の基礎、變數の確率に關する計算問題幾何學的確率外十三章にて説述。

六〇五

數學(統計數學)

久末啓一郎	初等ベクトル解析	布四六裝判	一、三〇六〇	裳華房	月一十	▲ベクトルの加減乗除法、ベクトルの微分積分法、ベクトルと曲線坐標。
田中増太郎	解析幾何綱要	洋四六裝判	一、二〇〇〇	東洋圖書株式	月四	▲解析幾何の概要を説明せるもので、點の座標、曲線と方程式外四章。
根津千治	自註解析幾何捷徑	並四六裝判	六〇	先進堂	月三	▲點、軌跡、直線、圓、橢圓、双曲線、拋物線、二次曲線理論外一編を收む。
國枝元治	橢圓函數論	洋四六裝判	三〇〇	共立社	月三	▲橢圓函數に關する性質の主要なるものに就て講述せる書で、Weierstrassの函數外二編。
田中正夫	行列式概要	洋四六裝判	二、一〇〇	共立社	月九	▲聯立方程式の解法から入つて行列式の定義性質應用等を説述せるもの。
正田建次郎	抽象代數學	洋四六裝判	四、一八〇	岩波書店	月六	▲新しく發展した抽象代數學に就て説ける書で、群論、環論、環論、可換體論外二章。
高須鶴三郎	近世綜合幾何學	洋四六裝判	四、五〇〇	共立社	月三	▲近世綜合幾何學の組織、圓錐曲線の射影的理論、射影幾何學の分科外六篇。
中河能三吉	高等立體幾何學通論	洋四六裝判	一、〇〇〇	共立社	月四	▲平面及直線、多面體、曲面を有する立體の三篇にて論述。附錄體積及び曲面體外一篇。
山崎榮作	最新立體幾何學通論	洋四六裝判	二、三〇〇	内田老鶴圃	月二	▲平面と直線、二面角及び多面角、多面體の面積及び體積外六章にて論述。
松室隆光	最新高等代數學問題詳解	洋四六裝判	二、一〇〇	啓文社	月三	▲數學的歸納法に關する問題、級數に關する問題外十三章にて詳解す。
松村欣次郎	高等平面三角法	洋四六裝判	二、一八〇	裳華房	月一	▲三角函數の基礎的性質、三角函數の値の變化加法定理、三角法其他、附五桁常用對數表。
北村友圭	統計學	洋四六裝判	三、三〇〇	高岡書店	月七	▲數値の配列、數列の代表値、指數論、數列の相似性、正確度外三編。

數學(工業數學・對數表・計算尺・算術)

木村敦雄	統計法概要	洋四六裝判	一、二〇〇	培風館	月五	▲統計學の概要と統計法の理論及び諸公式導引の理由とを簡潔に論述せるもの。
成實清松	數理統計學概要	洋四六裝判	二、四〇〇	共立社	月十	▲初等數學の知識を基礎に數理統計學の諸問題を論述せる書。
井口泰久編	工業數學便覽	洋四六裝判	二、八〇〇	松榮堂	月六	▲工業を主とする數學便覽で、單位換算、數の諸表、代數學、解析幾何其他。
梶島二郎	工業數學概要	洋四六裝判	二、四〇〇	共立社	月四	▲補間法、方程式の數値解法、誤差の法則及び最小二乗法外一章にて説述。
杉村欣次郎編	五桁常用對數表	並四六裝判	六〇	裳華房	月五	▲五桁常用對數表を收めその誤差の程度を明かにせるもの。
東京工學研究會編	七桁對數表	洋四六裝判	三、〇〇〇	鐵道圖書局	月八	▲數學、常用對數、三角函數の對數、弧度法三角函數の直數。
坂元左馬太	詳詳計算尺の使ひ方	並四六裝判	特六八	鐵道圖書局	月八	▲初めて計算尺の使ひ方を教はる生徒の爲に説述した書。
鐵道圖書局編	メートル法並に主要なる計算單位の比較換算表	洋四六裝判	一、一〇〇	鐵道圖書局	月三	▲我國度量衡とメートル法並に主要なる計算單位の比較換算表。
津忠夫	直觀算術の理論と實際	洋四六裝判	三、四〇〇	文教書院	月七	▲理論的考究を基根とする直觀算術の研究資料書で、整數小數外七編。
集文館編	算術辭典	洋四六裝判	一、〇〇〇	集文館	月四	▲あらゆる種類の算術問題を網羅蒐録して詳細な解答を施せるもの。

珠算

研究社編輯部編	山田常憲	入試問題に現はる、 倍數及約數	算術	上四六 製判	241	二六	研究社	月十	▲四則應用問題、諸等數、整數の性質、外三編て多數の問題を解説す。
山崎猛一	山崎猛一	學習者に最 も力をつく算術 重要問題精解	算術	上四六 製判	180	二六	弘道閣	月二	▲最近入試問題中倍數及約數に關する問題相當あるに鑑み本書それが基本的實力を興ふ。
三省堂編輯部編	新編學生の算學	自修算術解き方新講義	算學	三六 布判	323	六六	三省堂	月九	▲算術の理論と其應用とを系統的に説けるもので、四則、最大公約數其他より成る。
山田直彌	山田直彌	式新珠算法講義	算術	三六 布判	168	一〇三	算田院	月四	▲小學校の算術書を土臺に講義せる受験參考書で、度量衡その他外二章。
石上錄之助	石上錄之助	速實用珠算新書	算術	三六 布判	181	一〇〇	算田院	月四	▲改正新要目に據つた中學一二年生の自習參考書で、整數及び小數外十一篇。
井村清一	井村清一	用珠算速成上達法	算術	三六 布判	189	一〇〇	算田院	月四	▲商業學業及珠算學校並に實務家の練習用として編纂せる書。
宮本軍次	宮本軍次	上達する珠算自習法	算術	三六 布判	322	一〇〇	算田院	月四	▲商業學校及實業學校の珠算教科書で、加算及減算、乘算及除算外三篇。
山田惣一郎	山田惣一郎	増進珠算の研究	算術	三六 布判	368	一〇〇	日本圖書社	月三	▲珠算の基礎より解説を試み實用珠算として最高程度に至る迄學習出来る様説ける書。
齋藤仁右衛門	齋藤仁右衛門	珠算の急所と其着眼點	算術	三六 布判	370	一〇〇	日本圖書社	月三	▲初めて珠算を學ぶ人の爲め秩序的且系統的に各種の算法を排列し圖解を以て説述す。

代數

日本珠算刊行會編	佐久間謙	新傾向問題に代數學の講義	代數	上四六 製判	510	一〇六	大修館	月五	▲代數學の受験參考書で、上卷には整式の取扱ひ方、分數式方程式の四篇を收む。
佐久間謙	佐久間謙	新傾向問題に代數學の講義	代數	上四六 製判	511	一〇六	大修館	月五	▲下卷には不盡根數、根式、雜論對數及其の應用の三篇並びに問題集を收む。
星野華水	星野華水	最も要領よく總括する チヤート式代數學詳解	代數	上四六 布判	559	一〇六	東京開成館	月九	▲下卷は方程式の解法、方程式應用問題、不 等式、ぐらふ、對數外三章より成る。
水内金太郎	水内金太郎	わかり代數講座	代數	上四六 製判	304	一〇六	東京開成館	月五	▲普通の教科書にある問題を網羅しこれに模 範的解答を施したるもの。
岩切晴二	岩切晴二	初等代數學初歩	代數	上四六 布判	470	一〇七	培風館	月四	▲中學二三年並に師範校初學年の爲に平易 に説けるもので、整式の四則外十二章。
研究社編輯部編	研究社編輯部編	研究社小巻考	代數	上四六 製判	525	二〇	研究社	月十	▲代數學の精髓を收録して解説せるもので、 整式の四則、分數式外十一編。
高津嘉之	高津嘉之	初等代數學	代數	上四六 製判	235	二〇	長門屋	月三	▲高等學校理科高等專門學校等の初學年に於 ける代數學の講義で、不等式外七章。
田中光彦	田中光彦	初めに學ぶ人 にむけて代數學 學生の代數學	代數	上四六 製判	324	二〇	文進堂	月一	▲初めて學ぶ人の爲に代數の初歩から説明せる もので、正數負數及その四則外七篇。
奈良善雄	奈良善雄	三・四年の代數	代數	上四六 製判	293	二〇	有精堂	月九	▲教科書に附伴して三四年の代數を説けるも ので、比及比例級數外二編。
原宅治	原宅治	代數學解き方と解き方	代數	上四六 製判	408	二〇	早稲田社	月二	▲文部省所定の中學校教授要目に準據し代 數學の全般に互つて解説を施す。
門倉秀幸	門倉秀幸	代數學解き方のこつ	代數	上四六 布判	381	二〇	橋書店	月五	▲緒論、因數分解、分數式、無理式開方、方 程式其他四章にて解き方のコツを説述。

山田常憲	吉岡斗松	岩月清	根津千治	室由之	越智治成	岡田剛	岡田剛	岡田剛	志賀勝之助編	秋山武太郎	青木勇藏
明解代數學のかなめ	代數學初歩解方講座	新形式あらゆる問題の代數學	受驗代數學(重要問題の特選精義)	受驗整數問題教科書	重要代數學問題集	初年級用代數副教本	上級用代數副教本	代數補充教本	教科書の新定幾何問題集	わかかる幾何學	初幾何學基礎練習
上四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	洋四六布入判	並四六製判
350	430	400	466	129	184	210	250	260	163	342	300
八〇	一、二〇〇	一、二〇〇	一、六〇〇	四〇〇	六〇〇	四〇〇	六〇〇	六〇〇	四〇〇	三、五〇〇	六〇〇
弘道閣	盛義堂	受驗研究社	先進堂	敬文館	文明社	青々書院	青々書院	青々書院	向山堂	高岡本店	昭和出版社
月二	月九	月一十	月三	月五	月一	月十	月十	月九	月六	月三	月二
▲全部六號活字組鮮明にして代數學の基本的問題を丁寧に解説して實力の養成に力を入る	▲代數の最初から二次方程式の前まで有名教科書中の代表的問題を網羅し之に鮮解を附す	▲代數學のあらゆる受驗問題を解説したもの	▲高等専門諸學校の受驗準備書で、倍數及び約數、無理方程式外十六章	▲入試科目の主要傾向となつた代數に於ける整數問題を詳解せるもの	▲整式の四則、分數式、比及び比例、無理數、無理式及び虚數外七章	▲初歩より無理方程式に至る中學三年級位迄の補習問題集である	▲一元二次方程式より二次式ぐらふに至る上級用補習問題集である	▲上級學校入學志望者の爲に著されたる問題集である	▲幾何の入門から比例作圖題迄の重要問題を教科書順に收めて解き方のヒントを附載す	▲本書は初歩者の研究すべき基礎練習用にて又副教科書となるべく詳述す	▲幾何學の基本的問題を説明してある初學者にも受驗者にも必要の書

山田常憲	研究社編輯部編	山崎猛一	奈良善雄	窪田忠彦	岩月清	室山之	奈良善雄	星野華水	青年教育會編
明解幾何學のかなめ	平面幾何	中學の平面幾何學	三・四年の幾何	初等幾何學特選問題	新形式あらゆる問題の幾何學	受驗幾何代數融合問題詳解研究	受驗幾何代數融合問題詳解研究	最近數學入試問題新研究	文部省直轄學校入學試驗問題答案講評
上四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	洋四六布入判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	上四六製判	並四六製判
205	507	329	226	165	380	351	675	471	165
六〇	二、五〇〇	一、〇〇〇	九〇〇	二、六〇〇	一、二〇〇	一、三〇〇	特三、〇〇〇	一、〇〇〇	六〇〇
弘道閣	研究社	文花堂	有精堂	共立社	受驗研究社	成文社	新泉社	數學研究社	青年教育會
月二	月十	月九	月四	月二	月一十	月一	月九	月九	月二十
▲幾何學の基本的問題を説明してある初學者にも受驗者にも必要の書	▲直線形、圓、作圖題、軌跡、面積、比例、特殊問題の七編にて解説す	▲文部省中等教育數學教授要目に依り平面幾何學の一般を最も平易に記述せるもの	▲教科書に隨半して三四年の幾何を設けるもので軌跡及作圖外二篇	▲極大極小、複素數の幾何學的表示及びその應用、等周問題外五章	▲幾何學のあらゆる受驗問題を解説したもの	▲直線のみに関する問題、角に関する問題、圓と三角形、圓と正多角形外六篇。一普及版	▲受驗準備の基礎としての幾何學問題を収録して解説せる書で、線分の相等其他	▲昭和七年度の高等諸學校入學試驗數學問題を蒐録して解説を施す	▲文部省直轄學校の入學數學問題を蒐録して講評を施せる書

早稻田大學教授 本間久雄著

文學概論

菊判函入麻布裝
定價金三圓二十錢
送料二十一錢

(版一卅)

佐佐木信綱氏評……本間氏の文學概論は、廣く文學に就いて概論的に講ぜられたもの、文學の本質、社會的現象としての文學、文學各論、文學批評論の四篇に分れ、根本的問題から文學鑑賞の方面まで整然として論及されてゐる。その理論には、廣く東西の文學論を涉獵し、泰西の近代美學の傾向を参照しつゝ、實例には、主として我が國の記紀の古歌から近松の作までが引用されてゐて、自分などにとつては親しみの多い參考書である。

本間久雄著 文學論攷

菊判函入
定價三圓二十錢
送料廿二錢

廣瀬哲士著 新フランス文學

菊判函入
定價二圓五十錢
送料廿二錢

日高只一著 アメリカ文學概論

四六判函入
定價二圓二十錢
送料十二錢

東京神田三井株式會社 東堂

一六、醫學・衛生

著者	書名	形態	頁數	定價	發行所	發行	內容大意
支那中世醫學史	支那中世醫學史	洋菊	420	八圓	カニヤ書店	十月	▲醫學と史學の兩方面より研究し考證の精確引據の該博叙述の明快なることを特長とする
馬揚和光	人の醫學概論	青菊	334	五圓	南江堂	三月	▲本書は「醫」の本質醫學の統一原理等の問題に對し哲學的反省を試みたる書。
五十嵐省吾	醫語基本五千語	洋菊	513	三圓	南山堂	九月	▲醫語の暗誦に兼ね醫語辭典として編纂せしもの收載語數基本五千關係語一萬餘。
和田啓十郎	醫界之組織	洋菊	430	三圓	春陽堂	二月	▲漢方醫と洋方醫の比較研究で、本論、漫録反響の三篇より成る。増補改訂版。
池松重行	醫藥制度論と分業運動史	上菊	635	一圓	醫藥法會	七月	▲醫藥制度論(藥劑師の觀念外五章) 醫藥分業運動史(明治時代外二章)。
加藤元一	日常生活の生理學	洋菊	223	一圓	岩波書店	九月	▲身體の機能を調和統一するホルモンの話、中樞神經の作用と睡眠外十二講。
内山孝一	心臟生理學概論	洋菊	303	二圓	綜合科學出版協會	二月	▲主として刺激生理學の立場から心臟生理學の領域を取扱つたもので、心臟生理學外六章。

醫學・衛生(醫學叢書一)生理・解剖・實驗

安井 修平	岩男 修	白木 正博	井上 秀夫	小笠原 清	大石 貞夫	木下 正中	三宅 鏡一	岡本 清	藤本 恒太郎	松本 廣三	中村 登	萩原 省三	中村 康
新編 婦人科 學	内外科 腹部 觸診の 實際	子宮癌の「ラヂウム」療法	異常妊娠分娩百例並處置	慢性子宮症 論	婦人科 臨牀 綱領	精神病 學 提 要	小兒 齒科 保存 學	齒牙及 口腔 解剖 圖	耳鼻咽喉科 臨牀の 實際	皮膚科 類症 鑑別の 實際	眼鏡 處方 解説		
洋三三	洋三三	洋三三	洋三三	洋三三	洋三三	洋三三	洋三三	洋三三	洋三三	洋三三	洋三三	洋三三	洋三三
布判 440	布判 303	製判 91	製判 202	製判 199	製判 303	製判 400	製判 260	製判 1	製判 573	製判 120	製判 113	製判 413	製判 413
八、八〇	三、三〇	一、〇〇	二、〇〇	一、八〇	四、八〇	六、〇〇	二、八〇	二、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	二、〇〇	三、〇〇	三、〇〇
金原 商店	金原 商店	南山 堂	南山 堂	南山 堂	南山 堂	南江 堂	南江 堂	南江 堂	南山 堂	金原 商店	金原 商店	栗田 書店	栗田 書店
月六	月二	月九	月九	月九	月二十	月一	月十	月十	月一	月二	月二	月六	月六
▲類書が二冊或は三冊なるに反し一冊にまとめぬも満身是膽の如き内容なり	▲腹部觸診術及觸診成績、陷り易き誤診、胃腸肝脾腎、骨盤腹膜子宮輸卵等の觸診	▲最近發達せる子宮癌に對する「ラヂウム」療法を總括的に記述せるもの	▲異常妊娠分娩百例に就き各既往症、現症及其處置を記述せしもの	▲絛論、慢性子宮症の分類、原因、病理症候及び所見、療法等を記載す	▲産科婦人科の診斷法、治療法の全般を簡潔平易の行文で懇切に記述せしもの	▲斯界新進の第一人者たる著者が從來の精神病学書と全く趣を異にせる名著なり	▲齒科的治療時に際し困難を感ずる小兒の取扱方法、治療方法を記述す	▲齒牙及口腔解剖の一般知識を圖畫によりて詳細に解説せる實物感ある精巧圖一冊	▲著者が最近數年間に隨時發表せる診療上の新知見、新手法を網羅せしもの	▲被髪頭部、顔面及頸部、軀幹及四肢、手足及皮膚病	▲眼鏡製作上眼鏡處方に付き醫師及眼鏡師のために正確なる基準を與へ得るもの		

高本 隆二	杉井 隆二	西大路 隆二	松本 孝一	朝陽 會編	大矢 書	調 太	栗原 愛堵	川 勇	木村 幹編	勅使河原 眞齋	正木 不如丘
醫藥品の知識	藥品配伍禁忌	藥品配伍禁忌	藥品減菌法	第五日本藥局方	第五日本藥局方	新藥對照便覽	漢方藥術	東西藥用植物考	草根木	藥草の處方と調劑	家庭の醫學と治療法
洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六
製判 212	製判 267	製判 267	製判 196	製判 505	製判 311	製判 466	製判 357	製判 210	製判 70	製判 244	製判 413
六〇	二〇〇	二〇〇	三、〇〇	一、九〇	一、三〇	三、〇〇	一、〇〇	三、〇〇	二、三〇	二、三〇	三、〇〇
工政 部會	南江 堂	南江 堂	南江 堂	朝陽 會	大矢 書店	春陽 堂	皇漢 藥部	文久 社	日本 藥研	啓松 堂	栗田 書店
月一十	月九	月九	月一	月七	月七	月十	月六	月一十	月一	月十	月六
▲醫學有史四千年の歴史及び之に關聯せる諸科學の歴史概観一別冊索引	▲一般に常識として知つて置へべき醫藥品を撰びローマ字の五十音順に配列解説す	▲本書は調劑に際し正當なる判斷を與へ且つ難問たる配伍禁忌を詳述せり	▲藥局或は醫局に於て比較的小規模に減菌を行ふ士及調劑に志す人の參考書	▲改正日本藥局方及び關係法、規藥品應用一覽を收む	▲改正日本藥局方を蒐録す。附録醫藥關係法令	▲カスカラサクラダ皮製劑其他各種藥品名を掲ぐ	▲和漢藥物學之部、秘傳處方學之部、本草醫藥略解之部、病症別索引	▲原始人の性的法悦、迷信と性的魔藥、和漢藥中の強性藥、現代の性的藥物の趨勢、索引	▲強壯藥の基本植物に就いて(牧野富太郎)和漢生藥研究朝比奈泰彦外七章	▲數百の草根木皮の性能を諸書の定説を根據にして説ける書	▲醫學篇(發熱、呼吸異常外十一項)治療篇(藥品外九項)別冊附録藥學辭典

醫學・衛生(家庭醫學・治療法・看護)

佐藤 誠	朝日新聞社 家庭醫學	家庭醫學辭典	並四六	製判	48	二〇	日の丸堂	月四	▲家庭にて出来る治療法を五十音順に収めた小辭典にて出来る治療法を五十音順に収めた
朝日新聞社 大衆醫學	大衆醫學	大衆醫學	上四六	製判	353	一、三〇	朝日新聞社	月二	▲朝日新聞に連載されたものを纏めたもので内科以下八篇、宮川米次博士其他執筆
村尾 圭介	療養夜話	療養夜話	並四六	製判	363	一、〇〇	長崎書店	月九	▲結核恐怖病、療養生活の一日、精神生活と其の指導外世一編よりなる療養夜話集
小谷 重	療養廿年の體験	療養廿年の體験	並四六	製判	164	八〇	金港堂書籍株式會社	月五	▲廿年來病弱である著者が體験に基いて療養及健康、修養に就て述べたもの
西勝 造	應用西式觸手療法と治療法	應用西式觸手療法と治療法	並四六	製判	506	一、八〇	日實本業社	月四	▲充統的に説述せる西式強健法で、西式強健法實行法篇、西式強健法理論篇外二篇
藤井 百太郎	藤井物理療法の眞髓	藤井物理療法の眞髓	並四六	製判	175	一、五〇	日實本業社	月五	▲東洋醫學の鍼灸の原理を應用修正せる藤井物理療法の眞髓を明示せるもの
杉田 平十郎	電子醫學原論	電子醫學原論	並四六	製判	295	二、〇〇	朝日書房	月五	▲電子と力線とをその根柢とする電子醫學に就て論述せるもので、變遷論外九章
今村 荒男	肺結核の常識	肺結核の常識	並四六	製判	232	一、五〇	改造社	月五	▲コッホ小傳肺結核の傳染及發病初期肺結核の症狀其他四章にて治療養生法を説く
壹色 春峰	淋巴管原論療法	淋巴管原論療法	並四六	製判	44	二、〇〇	二松堂	月一	▲淋巴管の生理を説き其の治病法を述べたもの
多田 愛知	傳染病の話	傳染病の話	並四六	製判	117	一、五〇	南江堂	月一	▲最近治療學上に輝ける本書を一讀し早期に應用して病勢の進行を阻むべきなり
佐渡 静夫	精神病者のために	精神病者のために	並四六	製判	480	二、〇〇	厚生閣	月一	▲法定十種傳染病の傳染路豫防法患者取扱法保菌者の心得消毒法患者食事其他
杉田 直樹	精神病者のために	精神病者のために	並四六	製判	329	二、〇〇	厚生閣	月一	▲精神衛生上の知識を論述せるもので、原因篇、處置篇、精神病各論外二章
多田 芳久	神經病時代	神經病時代	並四六	製判	497	一、五〇	講談社	月一	▲時代病篇、時病篇、神經衰弱篇、動脈硬化、癲癇、エロ的、神經病其他三篇

醫學・衛生(性・妊娠)

高芝 たらを	自修用看護學講義	自修用看護學講義	洋編	布判	708	五、〇〇	南山堂	月九	▲著者が三十餘年の婦長生活で得た體験で看護學の全般を懇切に書かれたもの
杉本 登	家庭看護と療法	家庭看護と療法	洋編	布判	99	一、四〇	創造社	月二	▲傳染病、消化器病、呼吸器病、血液關係其他の病氣等六篇より成る
春江 堂編	看護の仕方とされ方	看護の仕方とされ方	洋編	布判	397	一、五〇	春江堂	月三	▲熱の手當法(西野博士)神經衰弱根治療法(橋本博士)陰萎の療法(羽太博士)其他
遠藤 繁清	看護の仕方とされ方	看護の仕方とされ方	洋編	布判	228	一、三〇	日實本業社	月五	▲患者の心得及看護者の心掛けを説けるもので、看護され方の上手下手其他
新興醫師聯盟編	無産者衛生必携	無産者衛生必携	並四六	製判	260	八〇	叢文閣	月二	▲知つておくべき病氣の眞相を平易に述べ醫師に相談すべき指針と應急手當法等を記述
吉岡 班嶺	灸療の奥義と實際	灸療の奥義と實際	洋編	布判	156	一、八〇	灸療日本院	月十	▲總論、病理、灸療、灸點、解剖圖解、雜録を收む
主婦之友社編	効能と黒燒療法五百種	効能と黒燒療法五百種	並四六	製判	216	四〇	主婦之友社	月六	▲古くから我國の漢方醫並に民間に行はれた黒燒療法五百種に就ての紹介
倉田 百三	治らずに治つた私の體験	治らずに治つた私の體験	洋編	布判	238	一、三〇	文理書院	月二十	▲強迫觀念症及び種々の肉體的病氣を克した著者の體験記録
倉田 百三	神經質者の天國	神經質者の天國	洋編	布判	238	一、三〇	先進社	月七	▲倉田氏の開病體験記で、強迫觀念から絶對生活へ外一篇
坂本 牛山	神經衰弱自宅療法の秘訣	神經衰弱自宅療法の秘訣	並四六	製判	188	一、三〇	割禮研究會	月一十	▲著者の神經衰弱治療體験録で、本病誘發の原因、治療に當りて、藥物療法外世九章
中村 古峽	ヒステリーの療法	ヒステリーの療法	洋編	布判	319	一、〇〇	主婦之友社	月二	▲ヒステリーの症狀、診斷、諸例、療法外三章、附録二重人格の女
雨宮 保衛	神經衰弱の豫防と根治法	神經衰弱の豫防と根治法	洋編	布判	315	一、〇〇	六文館	月九	▲精神病の豫防と根治法を説いたもので、強迫とヒステリーはどのものか外四十二章

著者：ヘンリー・シャヴ・クリドン
 譯者：前田 晁

聖書物語

— 一人の魂の歴史 —

『世界文明史物語』の姉妹篇

日本圖書館協會推薦文(その一節)……
 英米の讀書界に於て本書の獲た評判の一般は、「いかなる種類の宗教的偏見にも片寄らない、そして美しく單純化された言葉で綴られた物語であつて、聖書學徒に非常な助けを與へるであらう」と云ふのである。今や聖書が、一ユダヤ民族の生活記録としてではなく、一切の人類にとつての貴い寶典となつてゐる限り、世の少年少女諸君に、そしてキリスト教に一回も好意を寄せた事のなかつた大人に本書の一讀を是非すゝめ度い。

菊判六〇〇頁洋布裝
 挿圖色刷等多數入
定價三圓五十錢
 送料二十二錢

株式會社 東京・神田・錦町
東京堂
 振替東京二七〇番

一七、運動・趣味・娛樂

著者	書名	形態	頁數	定價	送料	發行所	月行發	內容大意
鳩山 一郎	スポーツを語る	四六製入判	189	六〇	一〇〇	三省堂	四月九	▲スポーツと國民性、スポーツの教育的意義と其の價值。女子とスポーツ外八章 ▲野球の部、庭球の部、陸上競技、水上競技 ▲其他、別冊附録各種運動競技規則全集
朝日新聞社	運動年鑑	四六製入判	616	一〇〇	一〇〇	朝日新聞社	四月	▲守備及び攻撃の基本を平易に説述せるもので、ゴロに就いて、投球外十四章 ▲本壘打王ベープ・ルイスの「野球新戦術廿三講」を譯載せるもの ▲六大學を中心として述べた日本野球發達の道程で、野球技の渡來外七編 ▲早慶兩大學の沿革、現狀、出身人物、或はスポーツ等一切に互つて比較論述せるもの ▲昭和七年六大學リーグ野球選手名鑑其他を蒐録
ラングレン 著 藤田 信 男 譯	野球讀本	洋編布判	112	一〇五	一〇五	岩波書店	六月	
大阪毎日新聞社編	ベースボール新戦術	四六製入判	212	六〇	六〇	大阪毎日新聞社	七月	
横井 春野	日本野球戦史	四六製入判	299	一〇〇	一〇〇	日東書院	十月	
榎田 榮三 榎田 信久	オール早慶戦	四六製入判	213	六〇	六〇	日本書院	十月	
誠文堂編	野球寫真總鑑	四六倍布判	386	一三〇	一三〇	誠文堂	五月	

運動・趣味・娛樂(運動一般・野球)

中川 信	スキーの新研究	洋四六 布入判	184	一、〇〇〇	八〇〇	東榮閣	月二十	▲廣汎に渉るスキー術の研究書で、用具篇、技術篇、飛躍篇、研究篇の四編。
小島 六郎	わかり易いスキー術	洋三五 布判	380	一、〇〇〇	六〇〇	朋文堂	月二十	▲用具と準備、雪、ワックス、スキー技術外四篇にて平易にスキー術を説く。
水野 祥太郎	山野スキー術讀本	並編 製判	150	一、〇〇〇	一、〇〇〇	黒野百合社	月二十	▲理論に基き各術派を体系的に説き技術に就ては多数の高速速達寫眞を載せ之を詳細説明
全日本スキー連盟	スキー一年鑑	並編 製判	253	一、〇〇〇	一、〇〇〇	全日本スキー連盟	月二十	▲第六回は第三回冬季オリムピック特輯で遠征中のことども(麻生武治)其他輯録
黒田 正夫	登山術	布四六 製入判	260	二、〇〇〇	一、四〇〇	大村書店	月七	▲日本の山で實際に役立つ技術を取扱った登山書で、登山の用意外十二篇
山と溪谷社編	アルパイン・カレンダー	ア型 刷判	54	一、二〇〇	八〇〇	山と溪谷社	月十	▲現今日本一流山岳家の傑作寫眞を蒐集し、英文を附して歐米へ輸出す
長濱 松二	ゴルフ用語	洋編 布判	220	三、〇〇〇	二、〇〇〇	素人社	月十	▲世界一流選手のフォームを挙げてゴルフの一般を説述せる書
草上来太郎編述	ゴルフ用語典	洋編 布珍	137	一、〇〇〇	四〇〇	刊行會	月二	▲ゴルフ用語を網羅せる小型辭典
山野卯三郎譯	パツチングの解説	洋三六 布判	97	一、八〇〇	八〇〇	刊行會	月二	▲ゴルフストローク中一見最も簡單に見えて極めて難解なパツチングに就て解説
草上来太郎	キヤデーイ讀本	並四六 製判	66	三、〇〇〇	四〇〇	刊行會	月四	▲ゴルフとは如何なる遊戯か、キヤデーイの立場、資格、智識、規則、用語字彙等七項

藤田 榮吉	鮎を釣るまで	新四六 製入判	353	一、八〇〇	一、八〇〇	博文館	月四	▲鮎を釣るまでの著者の試練、見聞研究等を述べたもので、鮎の分布地域外十二章
村上 静人	青鱈白鮎釣秘傳	並四六 製判	135	四、〇〇〇	四、〇〇〇	内外社	月七	▲青鱈釣とその同種である白鱈釣に就て述べたもの
村上 静人	鮎釣秘傳	並四六 製判	160	四、〇〇〇	四、〇〇〇	内外社	月六	▲鮎の概念、鮎の習性と棲息所、鮎釣の種類鮎釣と季節の關係外五篇にて説述
村上 静人	沈釣(ドブ釣)の秘傳	並四六 製判	152	四、〇〇〇	四、〇〇〇	内外社	月六	▲鮎の沈釣に就て述べたもので、鮎の習性と棲息所、沈釣の仕掛及びその附屬品其他
村上 静人	ヤマベ(ハヤ)釣の秘傳	並四六 製判	132	四、〇〇〇	四、〇〇〇	内外社	月六	▲鮎釣と氣象の關係、鮎釣の種類其他
村上 静人	友釣之秘傳(鮎)	並四六 製判	122	四、〇〇〇	四、〇〇〇	内外社	月五	▲鮎の釣法に就て述べたもので、鮎釣の概念味ある鮎の友釣、友釣の仕掛外六十七章、快
安谷 寛一	釣の新研究	洋三五 布入判	290	一、三〇〇	六〇〇	駿南社	月六	▲初心者にも分る様平易に説ける釣の書で、川の釣り、潮入りの釣り外二篇
小林 信三	銃獵と犬	洋四六 布入判	211	一、八〇〇	八〇〇	目黒書店	月二	▲狩獵及び畜犬に就て述べたもので、狩獵、獵犬、仔犬の飼育法外一篇
大場 彌平	狩獵	並四六 製入判	520	五、〇〇〇	一、四〇〇	文藝春秋社	月一十	▲狩獵に就ての全般的知識を述べたもので、鳥獵、獸獵、獵犬の三篇、附録獵場案内
勝田 喜太郎	競馬	洋三六 布判	137	一、〇〇〇	六〇〇	素人社	月二	▲競馬の常識、勝馬の運び方、競馬の種類と血統外七項
中原末吉編	大衆競馬記録帖	布編 製載	206	六、〇〇〇	六、〇〇〇	河内書店	月五	▲競馬研究の爲の新案記録帖及びスクラップブック並に競馬研究の知識の三部より成る

運動・趣味・娯楽(漫畫・漫談・雜)

漫 畫・漫 談・雜

後藤朝太郎	硯墨趣味の研究	並四六製判	41	三三	東亞研究會	月六	▲墨郷開國、古硯墨趣味、翰墨に國境なし、文人生活と現代、古硯奇習、硯墨の心境等。
大日本雄辯會	人生漫畫帖	布面四六製判	330	一三	講談社	月四	▲池部釣、池田永一治、細木原青起外廿六氏の漫畫に漫文を配せるもの。
座間子浪	生活漫畫の兵隊	上四六製判	51	八六	軍教書房	月一	▲軍隊生活の主なる場面を多趣味な漫畫をもつて表はせるもので、起床其他。
近代漫畫研究會編	漫畫てかめろん	上編	155	一三	刊行會料	月四	▲外國のさまざまの漫畫を寄せ集めたもの。
伊能嘉矩選評	支那百笑	布面四六製判	135	六六	内外社	月三	▲支那の笑話百篇を収めて、これに漫畫を配し評を施せるもの。
北野源一郎編	まんだん讀本	上四六製判	316	〇〇	文藝部社	月四	▲古川雄波、井口靜波、松浦翠波、西村樂天大辻司郎、徳川夢聲、山野一郎氏の漫談集。
北野源一郎編	まんだん讀本	上四六製判	316	〇〇	文藝部社	月四	▲漫談家中の花形七氏の名漫談中の代表的名作二十八篇を収めたもの。
菊池明	世界寢室の神秘	上四六製判	311	〇〇	文陽堂	月二十	▲アメリカの寢室オール・スタール・キヤスト汽船の天國と地獄の寢室外卅三篇。一禁禁一
青柳有美	戀愛讀本	並四六製判	319	一〇	明治出版協會	月八	▲初等科(戀愛とは何ぞ外廿四章)高等科(戀愛と容貌美との關係外十八章)。
名賀京助	これだ・巴里は!	並四六製判	245	一〇	一元社	月九	▲これだ・巴里は!、巴里を嘆ぐ、巴里の女學生外八篇。一禁禁一
小生夢坊	浅草三重奏	並四六製判	185	六六	駿南社	月五	▲萬物流轉を如實に示す浅草街の人生縮圖で浅草三重奏、尖端人は語る外十篇。

一八、婦人・家庭

婦 人 一 般 ・ 修 養

著者	書名	裝形	釘體	數頁	定價	發行所	月行發	内 容	大 意
三輪田元道	婦人講座(廿)	並四六製判	81	二〇	育社協會教	月九	▲公民の意義、自治生活の内容、社會教育の分野、公民と婦人問題外十六章。	▲家庭經濟と婦人の地位、生活を樂にする方法、貯金と借金外二章にて論述。	▲文學とは何ぞや、女性と文學の關係、作家としての女性外二章にて論述。
前田繁一	婦人講座(卅)	並四六製判	52	二五	育社協會教	月九	▲主として婦人と社交に就て述べたもので、訪問、容姿に就て、衣服外六篇。	▲現代様式を動かしてゐる傳統、流行、合理の三つの要素に就て説述せるもの。	▲結婚前後の女性の悩みの主なるものを收めて解答せるもので、友情か愛か外廿六篇。
千葉龜雄	婦人講座(卅)	並四六製判	57	二五	育社協會教	月五	▲主として婦人と社交に就て述べたもので、訪問、容姿に就て、衣服外六篇。	▲現代様式を動かしてゐる傳統、流行、合理の三つの要素に就て説述せるもの。	▲結婚前後の女性の悩みの主なるものを收めて解答せるもので、友情か愛か外廿六篇。
ガンドレット恒子	婦人講座(卅)	並四六製判	50	二五	育社協會教	月二	▲主として婦人と社交に就て述べたもので、訪問、容姿に就て、衣服外六篇。	▲現代様式を動かしてゐる傳統、流行、合理の三つの要素に就て説述せるもの。	▲結婚前後の女性の悩みの主なるものを收めて解答せるもので、友情か愛か外廿六篇。
今和次郎	婦人講座(卅)	並四六製判	49	二五	育社協會教	月五	▲主として婦人と社交に就て述べたもので、訪問、容姿に就て、衣服外六篇。	▲現代様式を動かしてゐる傳統、流行、合理の三つの要素に就て説述せるもの。	▲結婚前後の女性の悩みの主なるものを收めて解答せるもので、友情か愛か外廿六篇。
市川源三	結婚の女性とその訴へとその解決	洋面四六製判	256	一〇〇	明治圖書	月六	▲結婚前後の女性の悩みの主なるものを收めて解答せるもので、友情か愛か外廿六篇。	▲結婚前後の女性の悩みの主なるものを收めて解答せるもので、友情か愛か外廿六篇。	
想苑	若き女性に捧ぐ	上四六製判	120	四〇	雄文閣	月十	▲結婚前後の女性の悩みの主なるものを收めて解答せるもので、友情か愛か外廿六篇。	▲結婚前後の女性の悩みの主なるものを收めて解答せるもので、友情か愛か外廿六篇。	
石丸梧平	結婚前後	並四六製判	380	二〇〇	人生創造社	月六	▲結婚前後の女性の悩みの主なるものを收めて解答せるもので、友情か愛か外廿六篇。	▲結婚前後の女性の悩みの主なるものを收めて解答せるもので、友情か愛か外廿六篇。	

婦人・家庭(婦人一般・修養)

飯野明結術	東京朝日新聞社編	山田わか	報知新聞社編	渡邊虹衣	山崎斌編	山崎斌編	山崎斌編	山崎斌編	山崎斌編	山崎斌編	工藤恒
女性相談	女性性讀本	新家庭讀本	川柳家庭行事	藤村女子讀本	藤村女子讀本	藤村女子讀本	藤村女子讀本	藤村女子讀本	藤村女子讀本	藤村女子讀本	女學校校風語物
洋函六 布入判	洋函六 布入判	布函四 裝入判	布函四 裝入判	上函四 製入判	上新四 製入判	上新四 製入判	上新四 製入判	上新四 製入判	上新四 製入判	上新四 製入判	上四六 製入判
378	884	368	341	580	184	188	192	186	184	320	200
一、九〇	一、二〇	一、三〇	一、〇〇	二、五〇	六、五	六、五	六、五	六、五	六、五	一、三〇	一、五〇
東洋堂書店	木村書房	文録社	四條書房	文友堂	研究社	研究社	研究社	研究社	研究社	研究社	木星社
月一十	月三	月六	月四	月一	月五	月五	月五	月五	月五	月五	月四
▲世界各國新時代の結婚術一般理想的結婚方法と將來の結婚の變動と此れが對策外百項。▲戀愛問題、結婚問題、夫婦問題、經濟問題其他の質問に山田わか女史の解答を収めた書。▲家庭及び結婚を基礎とせる女性讀本で、修養、戀愛、結婚、家庭、社會の五篇。▲さきに報知新聞家庭欄に連載せる記事を輯録したもので、教壇から家庭へ其他。▲明治以後の家庭に行はれてゐる季節々々の行事を面白く納められたものである。▲高當女學校一年程度の藤村氏の作品を収めたもので、太陽の出る前外廿七篇。▲高等女學校二年程度。舊い學窓のこと外廿七篇。▲高等女學校三年程度。千曲川旅情の歌外廿四篇。▲高等女學校四年程度。花のさかり、草枕外廿三篇。▲高等女學校五年程度。太陽の言葉、知るや君外廿六篇。▲各女學校の校風を物語的に描いたもの、卷末に全國高等女學校案内を掲載。											

家事・家政

飯野明結術	東京朝日新聞社編	山田わか	報知新聞社編	渡邊虹衣	山崎斌編	山崎斌編	山崎斌編	山崎斌編	山崎斌編	山崎斌編	工藤恒
女性相談	女性性讀本	新家庭讀本	川柳家庭行事	藤村女子讀本	藤村女子讀本	藤村女子讀本	藤村女子讀本	藤村女子讀本	藤村女子讀本	藤村女子讀本	女學校校風語物
洋函六 布入判	洋函六 布入判	布函四 裝入判	布函四 裝入判	上函四 製入判	上新四 製入判	上新四 製入判	上新四 製入判	上新四 製入判	上新四 製入判	上新四 製入判	上四六 製入判
378	884	368	341	580	184	188	192	186	184	320	200
一、九〇	一、二〇	一、三〇	一、〇〇	二、五〇	六、五	六、五	六、五	六、五	六、五	一、三〇	一、五〇
東洋堂書店	木村書房	文録社	四條書房	文友堂	研究社	研究社	研究社	研究社	研究社	研究社	木星社
月一十	月三	月六	月四	月一	月五	月五	月五	月五	月五	月五	月四
▲世界各國新時代の結婚術一般理想的結婚方法と將來の結婚の變動と此れが對策外百項。▲戀愛問題、結婚問題、夫婦問題、經濟問題其他の質問に山田わか女史の解答を収めた書。▲家庭及び結婚を基礎とせる女性讀本で、修養、戀愛、結婚、家庭、社會の五篇。▲さきに報知新聞家庭欄に連載せる記事を輯録したもので、教壇から家庭へ其他。▲明治以後の家庭に行はれてゐる季節々々の行事を面白く納められたものである。▲高當女學校一年程度の藤村氏の作品を収めたもので、太陽の出る前外廿七篇。▲高等女學校二年程度。舊い學窓のこと外廿七篇。▲高等女學校三年程度。千曲川旅情の歌外廿四篇。▲高等女學校四年程度。花のさかり、草枕外廿三篇。▲高等女學校五年程度。太陽の言葉、知るや君外廿六篇。▲各女學校の校風を物語的に描いたもの、卷末に全國高等女學校案内を掲載。											

育兒

著者	書名	種別	頁数	価格	発行所	発行日	内容
木澤光・上田くま	裁縫	洋装	364	三、三〇	東洋圖書株	三月三	▲裁ち方標附け方縫ひ方等總てに亘つて多くの説明圖解を用ひて講義す。
成田チヨウ・稲田しげ	裁縫	洋装	129	一、三〇	式合資會社	三月三	▲コート總論、細針單長コート外八章にて多くの圖解を用ひて説明を施す。
米澤光・上田くま	裁縫	洋装	242	二、三〇	中文館	三月三	▲和服裁縫に就ての系統的論述で、長着帯外一篇、附録補綴法。
石田はる	和服裁縫系統的的精説	洋装	298	三、六〇	中文館	三月三	▲下巻は襦袢、羽織、被布、袴、コート、合羽、夜着、蒲團類、蚊帳等に就て説述。
女子美術専門學校	現代和服裁縫	洋装	300	二、五〇	倉持周治商	三月三	▲第一巻には學習上の心得用具基礎技術單中襦袢單衣袴入絹毛布單衣その他。
女子美術専門學校	現代和服裁縫	洋装	260	二、五〇	倉持周治商	三月三	▲第二巻には合はせ帯、半幅帯及び特種帯、羽織、被布、半纏類、長襦袢、襷掛帽子等。
佐伯美代子	婦人子供服新論	洋装	573	四、八〇	寶文館	三月三	▲婦人服及び子供服に就ての新裁縫書で、洋服に關する一般知識、婦人服の基礎其他。
松村豊	最新子供服と婦人服	洋装	468	二、八〇	盛林堂	三月三	▲男女児及び婦人服の各種に亘つてスタイルの選擇から仕上迄に必要な諸知識を網羅す。
古川辰藏	子供洋服の裁ち方と縫ひ方	洋装	116	九〇	泰文館	三月三	▲家庭で手軽にせしめる程度のもの材料として平易に説ける書で、簡単な洋服外十章。
萩田編物研究所編	新らしき毛糸あみもの	洋装	264	二、五〇	大田商店	三月三	▲多少裁縫の心得あるものは直に應用出来るやう説ける子供洋服裁縫書。
松岡冬子	刺繡の基礎と應用	洋装	245	二、五〇	倉持周治商	三月三	▲新らしき毛糸の編物について述べたもので基礎編、模様編外二章及び附録。

著者	書名	種別	頁数	価格	発行所	発行日	内容
青木良吉	高等手藝染色法	洋装	285	三、〇〇	大日本文化	五月五	▲手藝圖案配色染色品解説染色法各種技法に分ち實際と理論とを連絡させた系統的染色書。
中島静夫	養料料理	洋装	345	一、〇〇	泰文館	五月五	▲各季節に亘つた獻立の實際を述べたもので野菜の料理外三章。
小林完	季節和洋支料理三百種	洋装	470	一、四〇	日本圖書	五月五	▲食物調理法の總べてを最も實際化し得る様述べたもので、野菜を主とする料理其他。
赤堀旺宏	最新支那料理法	洋装	400	三、〇〇	大倉書店	五月五	▲支那料理法の基礎、惣菜料理之部、卓料理十二ヶ月の三篇にて解説す。
日の丸堂編	四月の家庭料理法	洋装	34	二〇	日の丸堂	五月五	▲四月一日から三十日迄の朝、晝、夜の家庭料理法を述べた書。
消費經濟委員會編	菓子のはなし	洋装	41	四〇	出版政會	五月五	▲お菓子を中心として、國産洋菓子について二篇にて菓子の歴史、原料其他を述べ。
小笠原正美	實験に役立つ禮儀と挨拶の仕方	洋装	268	一、三〇	太陽社	三月三	▲是非心得なければならぬ禮式を上下二巻にて説けるもの。
市守謹吾	誤つた作法・誤り易い作法	洋装	351	二、五〇	有文書院	三月三	▲禮儀作法の根本精神の誤解、姿勢及び歩行上誤れる作法、集會上誤れる作法外廿七章。
下田天映	生け方指南趣味の生花	洋装	268	一、〇〇	鈴木書店	三月三	▲短期間に正しき花道を覚えらるるやう説述せる書で、花外三篇。
熊谷八俣	花の生花の手引	洋装	256	一、四〇	文進堂	三月三	▲華道の由来、教義を始めとし、生花實際に亘つて數十種を詳述す。

一九、兒童書類

童話・少年少女小説

著者	書名	装釘	頁数	送料	発行所	月行	内容大意
小川 未明	新説未明童話(1) 青空の下の原つば	洋装 布入判	327	二、三〇	六文館	三月	▲犬と犬と人の話、古巣に帰るまで、はまれこ、青空の下の原つば外卅四篇の童話集。
吉田 絃二郎	吉田絃二郎童話全集(1) 本村軍曹と赤靴	上新 四六判	252	六〇	改造社	十月	▲熊とピストル、本村軍曹と赤靴、お釋迦さまと燕、信濃の子外十一篇の童話集。
吉田 絃二郎	吉田絃二郎童話全集(2) 幸福な地平線	上新 四六判	212	六〇	改造社	十一月	▲清坊と三吉、たつたひとりで、李平爺さんの死、幸福な地平線外十一篇の童話集。
吉田 絃二郎	吉田絃二郎童話全集(3) 小鳥も歸る	上新 四六判	214	六〇	改造社	十一月	▲伐り倒された木、濱の父と子、小鳥も歸るわたしたちの先生外九篇の童話集。
濱田 廣介	ひろすけ児童讀本	上新 菊製判	226	八〇	岡村書店	三月	▲小がくせいとからす、屋根の上の小やぎ、高い山とひくい山外三篇の童話集。
濱田 廣介	ひろすけ童話選集	洋装 布入判	374	一四〇	文教書院	二月二十	▲人と鼠、砂山の松、地蔵様と機おり虫、ある島の狐、カメレオンの王様外卅篇の童話集
濱田 廣介	ひろすけ童話と繪の本	洋装 布入判	110	二二〇	日本圖書出版	三月	▲ノミノマケ蟻の勝、ほんとの王女、牡鹿の角、狼はなにを食べたか。
千葉 省三	童話集 葱坊主	上四 六判	180	六〇	古今書院	三月	▲ある両親と子供の話、けんくわ、海の番兵さん、ちぞうやま外六篇の童話集。

兒童書類(童話・少年少女小説)

六三七

(7-6)

婦人・家庭(生花・投入)

著者	書名	装釘	頁数	送料	発行所	月行	内容大意
池の坊主 藤野 仙舟	池の坊主藤野仙舟 生花の挿し方	和装 綴入判	196	二、三〇	文進堂	十月	▲春夏秋冬の季を分け個性及びその季の趣を詳述して生花の挿方を説く。
池の坊主 藤野 仙舟	池の坊主藤野仙舟 生花のをしへ	和装 綴入判	212	二、三〇	文進堂	十月	▲華道池坊について一通の挿方を講述せるもので生け方の心得其他。
榮龍齋 耕甫	未生流生花の秘法	和装 綴入判	303	一、八〇	明文館	六月	▲上巻(未生流の起源外三八項)中巻(祝日の花挿し方外九項)下巻(盛花、投入)。
小山 海雲	四季盛花と投入の秘法	和装 綴入判	157	一、四〇	明文館	六月	▲盛花に就ての知識を上下二巻にて説けるもので、盛花の基礎知識外三篇。
有吉 桂舟	實地圖解 現代四季の盛花投入教本	和装 四六倍 綴入判	161	特三、三〇〇	先進堂	六月	▲盛花の部(盛花の起源外十一項)、投入花(投入花の由来外七項)、四季實地圖解七十圖

六三六

千葉省三	童話集 地蔵さま	上四六	製判	176	六〇	古今書院	月四	▲お鎮守さまへとまつたこと、峠みち、赤い木質、どん栗と石ころ外九篇の童話集。
野村政夫	三ツツの壺	上四六	布判	202	八〇	ロゴス書院	月二	▲三ツツの壺、道子さんから聞いた話、少年音楽家、イヴン王様の涙外六篇の童話集。
土田耕平	童話集 夕焼	上四六	製判	128	八〇	古今書院	月五	▲土田氏の第四童話集である。第一、第二、第三と等しく好評を博すること、思はれる。
竹内てるよ	犬きくなつたら	並四六	製判	16	二〇	溪文社	月一十	▲りんごのほつべ、タぐれのナベめさん、逃げて行つた龜の子、かりんととうと野菊他一篇
木下徹	カレンダーの旅	上四六	製判	188	一〇〇	文化書房	月四	▲慣れないお母様、カレンダーの旅、玩具の兵隊、浦島太郎の百代目外十四篇の童話集。
豊島次郎	ノロマノ助	春四六	布判	200	八〇	金蘭社	月六	▲日玉の入レカへ、ケチンバウトハイシャ、アリガタメイソク外十七篇の童話集。
大戸喜一郎	ぶらぶらぶら助	上四六	製判	200	八〇	金蘭社	月四	▲やき鳥のひつこし、ぶらぶらぶら助、はなし屋、まんぢう問答外童話十一篇を収む。
川名芳郎	春を待つ鳥	春四六	布判	202	八〇	明治圖書株式會社	月四	▲追はれた小蛇、お池のまはり、畑のあと、椎の實拾ひ外十八篇のやさいのお話集。
宮崎かよ子	頭を下げなかつた少年	上四六	製判	218	六〇	平野書房	月一十	▲頭を下げなかつた少年(小川未明) 名なしのいたづら(水谷まさる) 外廿四篇。
國民新聞學藝部編	うるはしき朝	上四六	製判	164	六〇	一粒堂	月八	▲元且の曲、不思議なネックレリス、小鳥と椋の木、くれんぼ外廿六篇の童話集。
野邊地天馬	赤い壺	上四六	製判	260	二〇〇	新生堂	月五	▲赤い壺、お陽さまの子、風船玉、小人の秘密、笑ひの使外十九篇の童話集。
西谷勢之介	幸福の鐘	上四六	製判	182	六〇	文書堂	月一十	▲思ひ出、橋の言葉、ユダヤの子、毒消し賣りと踏切番外十九篇の宗教童話集。
井上光二	狐の裁判	上四六	布判	204	八〇	金蘭社	月八	▲良ちゃんとお猫、母の思ひ出、巻られた白薔薇、朝の鐘、金絲鳥物語外十七篇。
間山秀磨	狐の裁判	上四六	布判	204	八〇	金蘭社	月八	▲金の卵、俊寛と有王、一番おとなしい奥様の裁判外四篇の童話集。

児童書類(童話・少年少女小説)

中村尾湖編	童話集 約物	春四六	布判	521	二八〇	富山房	月二	▲聖書のうちの新約全書の方のお話で、天地のはじめ、エデンの園外四篇。
夏木亮	舊約物語	上四六	製判	448	二〇〇	警眼社	月一十	▲少年少女の讀物として舊約聖書の話を印象的に書いたもので、世界の始め外廿二篇。
上澤謙二	うれしいおしらせ	上四六	製判	430	二〇〇	日實本業社	月二十	▲新約聖書を子供にも讀める様譯せるもので上巻は「ママタイのうれしいおしらせ」外三篇
上澤謙二	使徒たちの働、お手紙、おしらせ	上四六	製判	333	一〇〇	日實本業社	月二十	▲下巻は、使徒たちのはたらき、ガソテヤの人たちへあげたお手紙外廿一篇。
小瀧淳	佛陀の説いた面白い話	上四六	製判	368	二〇〇	厚生閣	月二	▲尊い遺言、一食の布施、人眞似、愛は愛、あわてた復讐、一錢の命外九十四篇。
小瀧淳	續佛陀の説いた面白い話	上四六	製判	374	二〇〇	厚生閣	月一十	▲尼の貞操、金の耳環、赤恥をかく、自慢の禰、師は大切外百五十四篇。
藤田淳	釋迦物語	春四六	布判	338	一八〇	文化書房	月六	▲お釋迦様に就て其の誕生から死ぬまでの生涯と面白い譬へ話を平易に述べたもの。
長松英一	佛蘭西家庭童話集	布四六	製判	268	四〇	改造社	月一	▲耐へ忍んだグリゼリチス、眠りの森のお姫様、拵指小僧外八篇の童話集。
伊藤貴磨	鹿の水かきみ	上四六	製判	81	二〇	兒童書房	月六	▲獅子と狐と狼と何ひ犬、鹿の水かきみ、ふくろふのちゑ外卅篇のイソップ童話集。
大戸喜一郎	ノールウエー童話集	布四六	製判	308	一〇〇	金蘭社	月三	▲夢の中のお嫁さん、海はなぜからい? 泥棒の親方、あべこべ物語外十篇の童話集。
金蘭社編	魔法の笛	上四六	製判	204	一〇〇	金蘭社	月一	▲大男退治のジャック、海の女玉、魔法の笛、青い鳥外八篇の童話集。
金蘭社編	小鳥の仙人	上四六	製判	204	八〇	金蘭社	月十	▲小鳥の仙人、水車馬へ行くまで、葡萄酒のききめ、ソロモン裁き外八篇の童話集。
金蘭社編	狐の裁判	上四六	布判	204	八〇	金蘭社	月八	▲金の卵、俊寛と有王、一番おとなしい奥様の裁判外四篇の童話集。

児童書類(童話・少年少女小説)

日夏耿之介	日夏耿之介	日夏耿之介	日夏耿之介	日夏耿之介	平田禿木	平田禿木	平田禿木	平田禿木	平田禿木	白石實三	本間久雄	佐々木邦	佐々木邦
春陽堂少年文庫(53)	春陽堂少年文庫(54)	春陽堂少年文庫(55)	春陽堂少年文庫(56)	春陽堂少年文庫(57)	春陽堂少年文庫(58)	春陽堂少年文庫(59)	春陽堂少年文庫(60)	春陽堂少年文庫(61)	春陽堂少年文庫(62)	春陽堂少年文庫(63)	春陽堂少年文庫(64)	春陽堂少年文庫(65)	春陽堂少年文庫(66)
アラビヤンナイト	アラビヤンナイト	アラビヤンナイト	アラビヤンナイト	アラビヤンナイト	ロビンソン漂流記	ロビンソン漂流記	ガリバア旅行記	ガリバア旅行記	ガリバア旅行記	十五少年漂流記	アンクル・トム奴隸物語	トム・ソウヤーの冒険	ハツクル・ベリーの冒険
並菊半製紙	並菊半製紙	並菊半製紙	並菊半製紙	並菊半製紙	並菊半製紙	並菊半製紙	並菊半製紙	並菊半製紙	並菊半製紙	並菊半製紙	並菊半製紙	並菊半製紙	並菊半製紙
186	250	230	233	236	185	187	214	214	141	244	125	287	301
二五	六五	六五	六五	六五	四〇	四〇	六五	六五	四二	四二	四二	二〇	二〇
春陽堂	春陽堂	春陽堂	春陽堂	春陽堂	春陽堂	春陽堂	春陽堂	春陽堂	春陽堂	春陽堂	春陽堂	春陽堂	春陽堂
月一十	月一十	月一十	月一十	月一十	月一十	月一十	月一十	月一十	月一十	月一十	月一十	月一十	月一十
▲第二巻には第五章「假僕譚」其他を収む。	▲千一夜話の中のカムアル・ゼエマン王子トブドウル公主との譚を収載。	▲第四巻には第十二章「道化者アブウ・ル・ハサンカ譚」其他を収む。	▲第五巻には第廿一章「黄銅の都城の譚」其他を収む。	▲千一夜物語の中のエル・バサラアのハサンの譚其他を収む。	▲ロビンソンの漂流物語。	▲後篇は着物の算段、鳥の一週、激流に巻込まれる船を江に繋ぐ其他より成る。	▲デフォの「ガリバア旅行記」の譯で、前篇には小人國旅行記、大人國旅行記を収む。	▲後篇には飛鳥旅行記、馬之國旅行記の二篇を収む。	▲ジュール・ヴェルヌ原作の「十五少年」をやさしく書き直した少年漂流奇譚。	▲奴隸トムを中心に奴隸生活の惨めなことを描いた物語。	▲アメリカのユーモア作家マーク・トウエーの少年小説。	▲マーリック・トウエーの原作で、冒険好きな少年の生活を描いた少年小説。	▲英國の小説家エフ・アンズリーの冒険小説を書き直したものである。

大下宇陀兒	藤森淳三	狩野弘子	中島孤島	楠山正雄	佐藤一英	佐藤一英	加藤朝鳥	戸野原史郎	佐々木茂索	佐々木茂索	佐々木邦	佐々木邦
春陽堂少年文庫(153)	春陽堂少年文庫(59)	春陽堂少年文庫(57)	春陽堂少年文庫(56)	春陽堂少年文庫(54)	春陽堂少年文庫(70)	春陽堂少年文庫(75)	春陽堂少年文庫(73)	春陽堂少年文庫(72)	春陽堂少年文庫(71)	春陽堂少年文庫(70)	春陽堂少年文庫(68)	春陽堂少年文庫(67)
假面城	秘密の花園	ビーター・パン	クリスマス・カロール	不思議の國	保元・平治物語	太平記物語	黒馬物語	フランダーズの犬	小公子	小公子	はらばら物語	はらばら物語
並菊半製紙	並菊半製紙	並菊半製紙	並菊半製紙	並菊半製紙	並菊半製紙	並菊半製紙	並菊半製紙	並菊半製紙	並菊半製紙	並菊半製紙	並菊半製紙	並菊半製紙
267	293	210	183	187	299	284	308	129	267	311	192	300
二〇	二〇	二五	二五	二五	四三	二〇	四三	二五	二〇	四三	二五	二〇
春陽堂	春陽堂	春陽堂	春陽堂	春陽堂	春陽堂	春陽堂	春陽堂	春陽堂	春陽堂	春陽堂	春陽堂	春陽堂
月二十	月二十	月二十	月二十	月二十	月二十	月二十	月二十	月二十	月二十	月一十	月二十	月二十
▲少年冒険探偵小説で、伯爵令嬢、不気味な帆船、赤い極印外九章。	▲バアネット女史の原作秘密の花園を譯述した書。	▲バアネットの原作少年戯曲ビーター・パンの全譯。	▲テイツケンヌの傑作で、第一節「マリーの幽霊」より第五節「大團圓」まで譯述。	▲バライ卯の原作少年戯曲ビーター・パンの全譯。	▲リユイス・カロールのお伽小説「不思議の國」を平易に書き直したものである。	▲わが國戦記文學の二名著「保元物語」「平治物語」を平易に書き直したものである。	▲忠臣美談の書たる「太平記」を少年の讀物に書き直したものである。	▲黒馬の自叙傳ともいふべき「アンナ・シユウ」の原作を譯したものである。	▲少年と犬とを主人公にした「ウイグー」女史の傑作物語。	▲「小公子」を譯述した少年小説。	▲バアネット夫人の名作「小公子」を譯述した少年小説。	▲バアネット女史原作の小公女の全譯。

松平義雄	國防科學研究會	國防科學研究會	少年國防會編	平田晉策	日本童話社編	日本童話社編	日本童話社編	日本童話社編	日本童話社編	日本童話社編	日本童話社編
少年海軍と空中戦の話	少年海軍讀本	少年陸軍讀本	我らの陸軍	われ等の陸海軍	日本童話讀本	日本童話讀本	日本童話讀本	日本童話讀本	日本童話讀本	日本童話讀本	日本童話讀本
上四六 製入判	上四六 製入判	上四六 製入判	上四六 製入判	布編 製判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判
179	180	222	150	264	146	193	200	179	147	158	
一〇八	八五	八五	二〇〇	二〇〇	八七	八七	八七	八七	八七	八七	八七
金の星社	二松堂	二松堂	木村書房	講談社	文化書房	文化書房	文化書房	文化書房	文化書房	文化書房	文化書房
月二十	月十	月二十	月八	月七	月五	月五	月五	月五	月五	月五	月五
▲戦争の武器として最も恐るべき飛行機の知識を説いたもので、陸軍用飛行機の話其他。	▲我日本海軍の正しい知識を述べたもので、皇國の海軍、我が海軍航空隊外三篇。	▲少年諸君の爲めに陸軍の知識を平易に説けるもので、皇國の陸軍、陸軍の新兵器外四篇。	▲少年諸君の爲めに陸軍の知識を平易に説けるもので、わが陸軍の生ひ立ち外七篇。	▲少年諸君の爲に書かれたわが陸海軍讀本で日本の國防、われらの陸軍外一篇。	▲松(白鳥省吾)小きな芽(葛原しげる)谷間の鶯(竹田英親)外七十篇。	▲燕(小林愛雄)かせぎもの(鹿島鳴秋)お書の畑(元木瑞枝)外八十五篇。	▲赤い實(濱田廣介)外九十四篇。	▲春の日向(若山牧水)てふてふ(藤田健次)提灯(河原みくさ)外八十二篇。	▲風(竹久夢二)太鼓の音(河井醉茗)螢のひびり(西條八十)外六十五篇の童話集。	▲風と風(川路柳虹)来たよ春が(原島好文)▲各學年向の童話を選出排列せるもので、ヒバリ野口雨情外七十八篇。	

飯澤天洋	飯澤天洋	飯澤天洋	飯澤天洋	飯澤天洋	加羅須勒左衛門	茶々羅茶ン八	茶々羅茶ン八	加羅須勒左衛門	日河水洗	日河水洗	日河水洗	宮毛しげる	宮毛しげる
漫畫太平洋艦隊	漫畫日米日露大戦争	漫畫總出動	漫畫放送局	漫畫のおへそ	漫畫のデパート	漫畫の全權	漫畫のデパート	漫畫の一行	漫畫の博覽會	漫畫の洪水	漫畫の瓶詰	漫畫の瓶詰	漫畫の瓶詰
洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判
200	200	200	200	160	168	165	165	144	144	144	144	144	144
六五	六五	六五	六五	六五	六五	六五	六五	六五	六五	六五	六五	六五	六五
日本圖書	日本圖書	國華堂	日本圖書	日本圖書	日本圖書	日本圖書	日本圖書	太陽社	太陽社	太陽社	太陽社	太陽社	太陽社
月二十	月二十	月十	月二十	月七	月七	月七	月七	月二十	月二十	月二十	月二十	月二十	月二十
▲日本宣戰、米艦隊出動、停戦マデ	▲露兵ノ暴逆、肉弾一等兵、露國募兵法、米露空軍同志、勳員令ト花嫁、米國露軍援助。	▲フウセン、タイヘンナサンジツ、ヘンナオセイホ、ヨクバリトンチキノユメ。	▲露兵ノ暴逆、肉弾一等兵、露國募兵法、米露空軍同志、勳員令ト花嫁、米國露軍援助。	▲チビスケ一等兵、ハナミンスツパイ、タケヤノツマミグヒ、オチギシナイバチ。	▲漫畫漫文集。	▲漫畫漫文集。	▲漫畫漫文集。	▲カン吉とツン子、タツターツノホルダケレド、のらいぬ外二篇の漫畫童話集。	▲神サマカラ賞ツタタ、トンチヤン朝の出来事外二篇の漫畫童話集。	▲島メグリ、フツトポール、ジョンハエライ	▲山長ン兵衛、藤栗毛外一篇の漫畫童話集。	▲野球狂、デブチヤン海底旅行、モラツタ小	▲忍術の旅、凸太の失敗、チャンバラ大會、珍妙不思議物語等四篇の漫畫童話集。

児童書類(偉人物語・美談)

成田 龍平	久米 元一編	霜田 史光	松平 道夫編	三島 霜川	大木 雄三編	三井 信衛編	川崎 春二	立石 美和	三島 霜川	金の星社編	三島 霜川	三島 霜川
少年少女世界偉人物語(8)	少年少女世界偉人物語(7)	少年少女世界偉人物語(8)	少年少女世界偉人物語(9)	少年少女世界偉人物語(10)	少年少女世界偉人物語(11)	少年少女世界偉人物語(12)	少年少女世界偉人物語(13)	少年少女世界偉人物語(14)	少年少女世界偉人物語(15)	少年少女世界偉人物語(16)	少年少女世界偉人物語(17)	少年少女世界偉人物語(18)
乃木 大将	東郷 元帥	シロザ	ムツソリ	太閤 秀吉	ジャンヌ・ダルク	ネルソン	日蓮 上人	フーヴェア	大楠 公	明治 大帝	曾我 五郎	赤穂 四十七士
上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六
製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判
201	179	188	154	169	173	169	188	182	211	213	188	211
一〇〇	八〇	一〇〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	一〇〇	一〇〇	八〇	八〇
金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社
月一	月一	月一	月二	月五	月二	月三	月三	月三	月六	月五	月一十	月一十
▲軍神乃木大将の一生を子供の時代から明治大帝に殉死するまでを収む。	▲東郷元帥の人となりについて述べたもので、平八郎の父母、この一軍にあり外廿七章。	▲戦に負ければ國は亡び國民は全部奴隷にされるローマ時代の英雄シロザ物語。	▲二十世紀が生んだ世界の英雄ムツソリの経歴を述べたもので、鍛冶屋の兒外廿章。	▲草履取りの藤吉郎から太閤になつた秀吉の物語で、二度目の父外九章。	▲若い少女の身でありながら國の爲に盡したジャンヌ・ダルクのお話。	▲海の英雄ホレイショ・ネルソンの物語で、小さな海軍士官、初海戦外九章。	▲日蓮宗を弘めた世界的偉人日蓮上人の物語で、秀才見善日磨外廿章。	▲鍛冶屋の息子から遂にアメリカ大統領となつたハーバート・フーヴェアの物語。	▲大楠公の赤誠の生涯に就て述べたもので、菊水の旗、元弘三年の春外八章。	▲聖帝明治天皇の御生涯をやさしく述べたもので、御幼年時代、輝かしい御事業外一篇。	▲曾我兄弟の生立ちより仇討までの物語で、奥野の狩場、一萬と箱王外十項。	▲赤穂四十七士の物語で、三月十四日、内匠頭、切腹、討入の準備外六篇。

児童書類(偉人物語・美談)

三島 霜川	三島 霜川	三島 霜川	三島 霜川	三島 霜川	三島 霜川	三島 霜川	三島 霜川	三島 霜川	三島 霜川	志 垣 寛	野邊 地天馬	相馬 御風	アンデルセン著	田内 静三著	蘆 間 圭
日本歴史にある面白い物語(5)	日本歴史にある面白い物語(6)	日本歴史にある面白い物語(7)	日本歴史にある面白い物語(8)	日本歴史にある面白い物語(9)	日本歴史にある面白い物語(10)	日本歴史にある面白い物語(11)	日本歴史にある面白い物語(12)	日本歴史にある面白い物語(13)	日本歴史にある面白い物語(14)	日本歴史にある面白い物語(15)	日本歴史にある面白い物語(16)	日本歴史にある面白い物語(17)	児童世界偉人物語	児童世界偉人物語	えらい十三歳の頃
源義経と白虎隊	關ヶ原大合戦	小楠 公	八幡太郎義家	西郷 隆盛	新田 義貞	續少年日本武勇傳	大科 學者物語	一茶 さん	アンデルセンの生ひ立ち	えらい十三歳の頃	文化書房	文化書房	文化書房	文化書房	文化書房
上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六
製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判
229	206	195	192	210	259	210	260	231	198	171	396	171	198	396	
八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	
金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	文化書房	文化書房	文化書房	文化書房	
月一十	月一十	月一十	月一十	月一十	月一十	月一十	月一十	月一十	月一十	月一十	月一十	月一十	月一十	月一十	
▲川中島の戦を中心として武田信玄と上杉謙信に就て述べたお話で、初陣の信玄外八項。	▲源義経の物語で、義経の父義朝、牛若丸時代、宇治川の戦外十二篇。	▲徳川幕府の最後を飾る彰義隊と白虎隊の史譚をやさしく書いた子供の讀物。	▲關ヶ原合戦の真相を傳へたもので、關ヶ原の戦はどうして起つたか外八篇。	▲父の遺訓を守り南朝の爲に一生を捧げた年若き武人の物語で、南朝と北朝外八項。	▲八幡太郎義家の生涯に就て述べたもので、義家の弓勢、衣川の關外七章。	▲偉人西郷隆盛の傳記で、生まれた家、出世の門出、天下の風雲外五章。	▲南朝のために一生を捧げた新田義貞のお話で、天王寺の妖靈星外八項。	▲山東彌源太、澁川伴五郎、會津の小鐵、桐野利秋、横手の五郎外六篇。	▲大政治家で科學者だつたフランクリン外十四名の大科學者物語。	▲俳人一茶の傳記や逸話、童謡俳句等を収めたもので、一茶さんの生れ其他。	▲アンデルセンの生ひ立ちを述べたもので、ふるさと、コペンハーゲン外二篇。	▲昔の偉らい人々の十三歳の頃を語り、蘇生(赤松範頼)外四十篇。	▲アンデルセンの生ひ立ち	▲アンデルセンの生ひ立ち	▲えらい十三歳の頃

兒童書類(偉人物語・美談)

岡本瓊二	栗原登	久米元一	久米元一	久米元一	岡本瓊二	岡本瓊二	小野誠悟	岡本瓊二	久米元一	深宅山子編	三宅房	大戸喜一郎	久米元一	久米元一	久米元一
商業街頭に働く人々	子供の世界總理大臣物語	成功日本少年立志傳	成功世界少年立志傳	成功志功美談	英雄偉人物語	世界愛國美談	勤儉力行物語	發明明美談	少年少女美談(1)	少年少女美談(2)	少年少女美談(3)	少年少女美談(4)	少年少女美談(5)	少年少女美談(6)	少年少女美談(7)
四六判	四六判	四六判	四六判	四六判	四六判	四六判	四六判	四六判	四六判	四六判	四六判	四六判	四六判	四六判	四六判
287	482	272	280	212	220	192	220	215	217	217	223	206	213	200	220
一〇〇	二〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
文化書房	文化書房	金の星社	金の星社	金の星社	協一會出	協一會出	協一會出	協一會出	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社
月一	月六	月五	月二	月五	月五	月五	月五	月六	月六	月七	月七	月七	月七	月八	月八
▲役人たらんより商人たらん、日本セメント王を語る、東京一の家具商外十三篇。	▲世界列強國の政體を確立した政治的元勳と現在各國の宰相並びに大統領のお話を收む。	▲高橋是清、野口英世、森村市左衛門、福澤諭吉外六偉人達の少年時代の奮闘記。	▲立志傳中の花形ベンチャミン・フランクリン外七篇の立志傳物語。	▲荒井白石、ネルソン、毛利元就、エヂソン、アムンゼン外十五篇の成功物語。	▲北條時宗、ジュリアス・シーザ、奥村五百子、東郷平八郎外十四篇の偉人物語。	▲少年鼓手、最後の授業、少年義勇兵の手紙、悲しみの曲、愛國美談十七篇を收む。	▲安田善次郎の勤勉力行、酒のない村、ロイド・ジョージと其の叔父外十五篇の童話集。	▲エヂソン、スチブンソン、ツエツペリンの三大發明家の美談を集む。	▲北部戦線の名犬、信濃の孝行小猿、彈丸の中に立つ小鳥外十六篇の動物美談集。	▲少年夕刊賣り、フレデリック大王と孝子、二つの顔ひ、淺瀬の呼賣外十三篇。	▲濫澤榮一、安田善次郎、ヘンリー・フォード、大倉喜八郎外三篇の立志美談集。	▲空四少佐、忠烈山田一等兵、細川守備隊長、坂倉少佐と愛犬外五篇の忠勇美談集。	▲中江藤樹、ロイド・ジョージ、坂本龍馬、ウィルソン外三篇の偉人美談集。	▲日清戦役以後の主なる忠勇美談を蒐集せるもので、目覺しき空中戦外廿二篇。	▲上海事變に於て悲壯の最後をとげた空閑少佐の戦闘記附林隊長血戦記外二篇。

兒童書類(新人物語・美談)

三井信衛	鈴木春治編著	綿貫六助	瀧溪潤	岡慶彦	植木信行	金蘭社編	久米元一	三井信衛	木地正輝	山中峯太郎	池田宣政	久留島武彦
偉人物語	日本の光愛國讀本	武人空閑大隊長	無比爆彈三勇士の一隊	爆彈三勇士物語	爆彈三勇士	爆彈三勇士	爆彈三勇士	古賀聯隊長	少年愛國美談	輝く日本魂	譽れの聯隊旗	水雷勇士
四六判	四六判	四六判	四六判	四六判	四六判	四六判	四六判	四六判	四六判	四六判	四六判	四六判
220	200	194	115	137	208	238	203	215	262	268	282	275
一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
金の星社	日本書院	金蘭社	三輪書店	版協一會出	高踏社	金蘭社	金の星社	金の星社	金の星社	新潮社	新潮社	新潮社
月八	月六	月六	月四	月五	月三	月三	月四	月四	月九	月八	月八	月十
▲中江藤樹、ロイド・ジョージ、坂本龍馬、ウィルソン外三篇の偉人美談集。	▲日清戦役以後の主なる忠勇美談を蒐集せるもので、目覺しき空中戦外廿二篇。	▲上海事變に於て悲壯の最後をとげた空閑少佐の戦闘記附林隊長血戦記外二篇。	▲作江、北川、江下の爆彈三勇士のお話で、支那人の暴虐、血染のハンカチ外十八篇。	▲廟行鎮攻撃に爆死せる江下、北川、作江三勇士の傳記。	▲滿洲上海事變の美談集で、噫！中村參謀大尉！(綿貫六助)爆彈三勇士(最上哲夫)其他。	▲爆彈三勇士、忠烈山田一等兵、坂倉少佐と愛犬、少年傳令外一篇の實話を收む。	▲軍旗を守つて倒れた古賀聯隊長のお話及び細川守備隊長、竹田二等兵等五篇の美談集。	▲朝の日章旗、海の小英雄カサビアンカ、日本武士の名のために外十四篇の愛國美談集。	▲正義は勝つ、金州城外に鮮血紅し、玄武門の勇士、東郷元帥の左手外十篇。	▲空の軍神、兵隊フリッツ、軍犬の手柄外七篇のドイツ愛國物語。	▲新しい統一伊太利の愛國物語集で、丘上の騎馬像、熱血兒ムツツリイニ外九篇。	

長倉博編	春陽堂編輯局	學習指導研究會編	春陽社編	春陽社編	光文堂編輯部編
師範學校各科入學準備書	中等學校入學前三月	東京府下等學校入學考査問題集	女子東京府中等學校入試問題及模範解答	男子東京府中等學校入試問題及模範解答	東京府中等學校模範答案
並菊 製判 431	並四六 製判 343	並四六 製判 400	並四六 製判 345	並四六 製判 506	並四六 製判 637
一五〇 二二〇	六〇	六〇	八〇	一〇〇	一五〇
三友社	春陽堂	采文閣	春陽社	春陽社	光文堂
月二	月二十	月五	月六	月六	月五
▲各試験課目の特質に順應した準備法を講述せる書で、國語科算術科其他。	▲理科、國史、地理の三科の準備を三ヶ月間に完成する爲に編纂せる準備書。	▲東京府下に於ける男女中等學校六十三校の入學試験問題及解答を収録す。	▲東京府の女子中等學校入學試験問題と其模範解答を載せ入學手續を附載。	▲東京府の男子中等學校入學試験問題と其模範解答を載せた入學手續を附載。	▲本年行はれた東京府管内の高等學校師範學校中等學校其他の入試問題集。

北海出版社編	北海出版社編	志垣寬	志垣寬	學習指導研究會編	昇龍堂編輯部編	堀内順之助	堀内順之助	佐藤保太郎監修	佐藤保太郎監修	佐藤保太郎監修
小學	小學	郷土自然研究	郷土自然研究	中學學校綜合的理科の學び方	優等生に模範理科の學び方	小學理科學習の手引	小學理科學習の手引	白地圖學習書	白地圖學習書	白地圖學習書
並菊 製判 32	並菊 製判 31	洋圖菊 布入判 150	洋圖菊 布入判 150	並菊 製判 191	並菊 製判 285	並菊 製判 59	並菊 製判 47	並菊倍 製判 32	並菊倍 製判 32	並菊倍 製判 32
一五〇	一五〇	二〇〇	二〇〇	四三〇	八五〇	四二〇	四二〇	二五	二五	二五
北海出版社	北海出版社	文化書房	文化書房	采文閣	昇龍堂	松榮堂	松榮堂	株式會社書	株式會社書	株式會社書
月三	月三	月二十	月二十	月九	月二	月四	月四	月四	月四	月四
▲箱とほし魚、道の木、チキタリス、冬の景色外冊六圖を収めて説明を施す。	▲クレオンのもち方と色のだし方、家のかき方外四十二圖を収めて説明す。	▲土と大地、山と地中の寶、雪、寒さと暑さ外二冊より成る學習文庫。	▲水のロマンス、河のはたらし、水の利用、洪水、海等水の世界に就ての研究書五冊。	▲尋常四年より六年迄の教科書に就いて理科の學び方を説けるもの。	▲理科の學習書で、海藻以下四十五項より成り解説したものである。	▲四年生の理科學習書。	▲五年生の理科學習書。	▲同高一の卷。	▲同高一の卷。	▲同尋六卷。

桑原藤泰	警視廳統計書昭和六年	四六判	七〇〇	加藤弘造	滿鐵統計年報一覽	四六判	四三三	滿鐵
警視廳統計書昭和六年	南米パナマの拓殖	四六判	三三三	警視廳	朝鮮總督府選信統計要覽	四六判	一六三	朝鮮總督府
大連港輪移出統計昭和六年	佛領印度支那貨幣史	四六判	六〇〇	外務省通商局	神戸市統計書二一	四六判	二二五	神戸市役所
山本やす女とその歌集	日本自由黨第十二回展覽會圖録	四六判	四七五	横濱正金銀行	朝鮮國勢調査報告	四六判	一七〇	朝鮮總督府
横濱市役所	横濱市役所	四六判	二〇〇	公文新報社	十一月—十二月	四六判	共	大森 茂
和野忠	和野忠	四六判	二〇八	大森 茂	普及建國精神の教育資料一	四六判	七〇	文教部
眞下正太郎	眞下正太郎	四六判	四〇〇	井上陽之助	大阪府女子高專要覽	四六判	六六	大阪府女子高專
東京市役所	朝鮮の金融概観	四六判	四二五	生徒生計費調査	台北高商一覽	四六判	一四八	台北高商
片山市太郎	支那内閣關稅制度三	四六判	四三三	拓殖大學一覽	東京美術學校一覽	四六判	二四八	東京美術學校
北海道廳	北海道麥作統計	四六判	三三三	東京工大一覽	東京帝國大學五十年史	四六判	四〇〇	東京帝國大學
農林省	水産調査報告書	四六判	一六〇	東京商大一覽	山梨高工一覽	四六判	四七六	山梨高工
農林省	水産調査報告書	四六判	一六〇	富士行者身録の傳説	東京市史稿	四六判	二〇九	東京市役所

中央大學	中央大學	四六判	七〇〇	中央大學	中央大學	四六判	二八五	中央大學
立正大學	立正大學	四六判	七〇〇	立正大學	立正大學	四六判	二八五	立正大學
芝浦工務會	芝浦工務會	四六判	二〇〇	芝浦工務會	芝浦工務會	四六判	二〇〇	芝浦工務會
電華會	電華會	四六判	四九六	電華會	電華會	四六判	四九六	電華會
長井修吉	長井修吉	四六判	四〇〇	長井修吉	長井修吉	四六判	四〇〇	長井修吉
東京美術學校	東京美術學校	四六判	二〇〇	東京美術學校	東京美術學校	四六判	二〇〇	東京美術學校
忠勇團	忠勇團	四六判	五九〇	忠勇團	忠勇團	四六判	五九〇	忠勇團
中央官人	中央官人	四六判	五九〇	中央官人	中央官人	四六判	五九〇	中央官人
滿鐵	滿鐵	四六判	四六〇	滿鐵	滿鐵	四六判	四六〇	滿鐵
鐵道省	鐵道省	四六判	二一七	鐵道省	鐵道省	四六判	二一七	鐵道省
星野正三郎	星野正三郎	四六判	三三〇	星野正三郎	星野正三郎	四六判	三三〇	星野正三郎
商工省	商工省	四六判	三三〇	商工省	商工省	四六判	三三〇	商工省
貯金局	貯金局	四六判	二九〇	貯金局	貯金局	四六判	二九〇	貯金局
朝鮮殖産銀行	朝鮮殖産銀行	四六判	二九〇	朝鮮殖産銀行	朝鮮殖産銀行	四六判	二九〇	朝鮮殖産銀行

！にトッケポは小、に上机は大

社究研
新和英大辭典

(並) 特 5.50
價 (〒 33)

武信由太郎先生編 ★

語彙五十萬、而も最本格英譯に終始！
正に之れ現代日本の代表的な大和英！

社究研
新英和小辭典

(並) 特 1.00
價 (特) 1.20 (〒 2)

市河三喜先生指導 ★

薄い軽いスマートなポケット英和！
日常英語、最新語を悉して簡潔明快！

社究研
スモール英和新辭典

特 2.80
價 (〒 33)

岡倉由三郎先生編 ★

目の爲の大活字、縮入り英和辭典！
學習附録二百頁、能率自づから百倍！

京東替振 區町麴京東
一〇六八二 社究研 六町見士富
(賣發店書國全)

六八五

！典辭四の英和・和英社究研

社究研
新英和大辭典

最新・最大！
英和の王者！

岡倉由三郎先生編

★極廉の超特價提供！

!! 版訂改補增

萬人が萬人無條件に承認する英和辭典の大御所こそこれ！凡ゆる點に於て斷然英和辭書群を凌駕し且つ最難事たる語法解釋、發音の大統一、同意語の挿入、語原の追加をも敢行した大著で、爲に發兌以來版を重ねる事數百、今や全國諸學校指定辭典中の王位を獨占！茲に弊社は感謝の一表を示し緻密なる増補大改訂を行へる上、更に下掲百十頁を加へて而も至廉の超特價を以て提供する。切に諸賢の活用を俟つ！

固有名詞辭典 六十頁
米語と新語 六十頁

當然加へられたる屋上屋の偉觀！
本大英和のみが獨占せる大特色！



寫縮 1/6 物實

・四六判二段組・總三〇〇頁・製本堅牢・
(並製) 特價金 五圓 別冊增補版の
洋布裝 請求券添附す
(特製) 特價金 五圓八拾錢 郵三十三錢

六八四

類書考參等中の堂海山るせ越卓に書類

佐藤正範	佐藤正範	佐藤正範	小野圭次郎	小野圭次郎	小野圭次郎	小野圭次郎	小野圭次郎	小野圭次郎	小野圭次郎	小野圭次郎	小野圭次郎
最新研究	最新研究	最新研究	最新研究	最新研究	最新研究	最新研究	最新研究	最新研究	最新研究	最新研究	最新研究
國文法の要領	漢文の解釋	改訂國文の解釋	昭和七年度英語問題集	初歩の英文法	英語のアクセント	英語の單語	英語の文法	英語の作文	英語の解釋	英文の解釋	英語の熟語
、三	、六	、三	、三	、三	、三	、三	、三	、三	、三	、三	、三
桑原親通	川合重太郎	鈴木豊	鈴木豊	滋賀多喜雄	滋賀多喜雄	宮坂三重	藤森良藏	藤森良藏	藤森良藏	湯地孝	湯地孝
最新研究	最新研究	最新研究	最新研究	最新研究	最新研究	最新研究	最新研究	最新研究	最新研究	最新研究	最新研究
日本歴史	外國地理	鑛物學の講義	動物學の講義	推理的化學の解法	推理的物理の解法	訂物理學計算法	訂三角法學び方	訂代數初歩	訂代數學び方	訂代數學び方	現代文の解釋
、四	、三	、三	、三	、三	、三	、三	、三	、三	、三	、三	、三
、三	、三	、三	、三	、三	、三	、三	、三	、三	、三	、三	、三

東京市神田區山手町一丁目 山手堂出版部 電話九段一三〇番

編輯 東京文理大學教授 田中寬一先生

師範大學講座

倫理・教育心理の部

第2回會員募集

好評嘖々!
の必備書
即刻申込み!

申込略規
 全十五卷(絶ページ数五三〇)
 毎巻約三五〇頁
 會員にのみ額外分發せしむ。
 入會金一圓
 會費毎月拂金二圓
 送料一冊市内六錢、地方十四錢

内容見本はハガキで御申越次第進呈!

- 1 特色 高等師範の倫理、教育、哲學、心理の講義の實際を公開せるもの。
- 2 特色 執筆者は東京、廣島文理大、高師の教授並に修身教育の文藝委員。
- 3 特色 講義は中等程度の素養ある人々には容易に理解せらるゝ様、平易明快。
- 4 特色 毎月文壇模範答案を添へ、文壇修身教育合格の實力の涵養に資す。
- 5 特色 會員の質疑には凡て執筆者が親しく應答し、徹底的理解に努む。
- 6 特色 各巻科目毎に分冊して、六冊乃至七冊を一冊に收めて配本す。

東京市神田區山手町一丁目 山手堂出版部 電話九段一三〇番

類著名學數と書考參等中るせ越卓に書類

西野井	中川千之助	蜂川虎三	小倉金之助	三守守	武邊松衛	小倉金之助	柳原吉次	小倉金之助	桑原親通	桑原親通
飛行機の力学	初等解析學(解析幾何及ビ微積分學)	デーヴィー經濟統計綱要	圖計算及び圖表(普及版)	幾何學作圖題解法	ブーレー初等代數學	サーモン曲線解析幾何學	初等幾何學講義	ルーションコンプルス	ルーションコンプルス	最新東洋歴史
三、五〇	二、〇〇	二、五〇	一、五〇	一、五〇	三、五〇	四、〇〇	三、〇〇	四、五〇	一、〇〇	一、〇〇
〇、八	〇、二	〇、三	〇、八	〇、六	〇、三	〇、三	〇、七	各	〇、八	〇、六
中島悦次	武田祐吉	新樂金橋	小倉隆	新宮恒次郎	井出彌門	小倉金之助	小倉金之助	新宮恒次郎	石井省吾	佐藤良一
古事記評釋	萬葉集新解	文法應用漢文速成	マルガンク初等數學解析	ベリ初等實用數學	カジヨリ初等數學史	ザンテン實用解析學	クラック初等數學の基礎	ボレル平面三角法	ボレル代數	ボレル幾何學
三、五〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、五〇	四、〇〇	三、五〇	二、四〇	二、〇〇	二、九〇	二、五〇
〇、七	〇、七	〇、八	〇、七	〇、七	〇、七	〇、六	〇、六	〇、六	〇、七	〇、六

六八八

東神京市田區部版出堂海山 電話九二一六番

類著名刊新と書考參るせ越卓に書類

深作安文	隈部一雄	關信雄	福田光治	福田光治	四方敬一	四方敬一	有賀輝	箕作新六	峯岸義秋	久松潜一作
思想問題研究	最新工業製圖法	實用測量法	現代物理學大要	物理學要論	氣體分析化學	氣體製法化學	光化學	膠質化學	國文學の批評的研究	明治文學序說
一、五〇	一、五〇	一、三〇	一、五〇	二、三〇	三、五〇	三、〇〇	五、〇〇	二、五〇	一、五〇	二、五〇
〇、八	〇、四	〇、二	〇、二	〇、六	〇、二	〇、三	〇、七	〇、六	〇、四	〇、六
日本體育聯盟	文部省	富田彦二	佐々木	文部省	金森誠之	伊東月草	齊藤勇	小野磐彦	稲葉幹一	紀平正美
增訂正 日本體育聯盟 聯盟歌及聯盟體操	新學校體操教授要目	子女テーム・ゲームス	水泳指針	運動競技場要覽	社交ダンス	俳句作り方講義	抒情詩集	我子の職業	論理學及び哲學の基礎	現代教育思想概說
一、五〇	一、五〇	一、〇〇	一、二〇	一、〇〇	一、五〇	一、五〇	二、〇〇	二、五〇	一、〇〇	一、五〇
〇、三	〇、三	〇、八	〇、八	〇、四	〇、八	〇、二	〇、二	〇、六	〇、二	〇、三

六八九

東神京市田區部版出堂海山 電話九二一六番

日昭館書店良書目錄

初歩工業叢書				同	同	同	一荒 壽著井
初歩 最新圖解 土木工程	初歩 最新圖解 電氣學	初歩 最新圖解 無線とラヂオ	初歩 最新圖解 自動車學	爆彈漫畫 三勇士	漫畫 梅詰	ナカ 漫畫イソツブ物語	のらくら 新兵
定価 料七 八十 錢紙頁	定価 料七 八十 錢紙頁	定価 料七 八十 錢紙頁	定価 料七 八十 錢紙頁	定価 料五 八十 錢紙頁	定価 料五 八十 錢紙頁	定価 料六 八十 錢紙頁	定価 料六 八十 錢紙頁
	初歩 最新圖解 發動機學	初歩 最新圖解 蒸汽機關學	初歩 最新圖解 測量學	同	同	同	一荒 壽著井
	最新圖解 發動機學	最新圖解 蒸汽機關學	最新圖解 測量學	戰爭漫畫 少年爆撃隊	漫畫笑の 百貨店	ニコく 漫畫俱樂部	突貫小僧 漫畫大會
	定価 料七 八十 錢紙頁	定価 料七 八十 錢紙頁	定価 料七 八十 錢紙頁	定価 料五 八十 錢紙頁	定価 料五 八十 錢紙頁	定価 料五 八十 錢紙頁	定価 料五 八十 錢紙頁

とても面白い賣行物すごい漫畫書

東京神田區北神保町八番
振替東京11922
電話神田 3598

日昭館書店

模範佛和大辭典

¥ 9.00
〒 .33

十大家共編・十萬五千語・總革裝・三六判・2223頁

新佛和小辭典

¥ 2.80
〒 .15

佛蘭西文學會編・7萬語・總革裝・半四六判・580頁

標音佛和辭典

¥ 2.00
〒 .15

山本直文編・三萬語・總革裝・半四六判・500頁

白水社和佛辭典

¥ 3.80
〒 .21

丸山順太郎編・七萬語・總革裝・三六判・740頁

新佛和熟語辭典

¥ 2.80
〒 .15

德尾俊彦編・二萬語・總革裝・三六判・470頁

佛蘭西語不規則動詞逆引辭典

¥ 2.50
〒 .15

野口洪基編・洋布裝・四五判・377頁

改訂佛和兵語辭典

¥ 2.80
〒 .15

J.ルノンドオ編・總革裝・四五判・362頁

LA FRANCE

ふらんす

我國唯一の佛蘭西語研究雜誌
月刊・定價三十錢・送料一錢
一ケ年三圓三十錢・半ケ年一圓七十錢

東京神田駿河臺通

振替東京11922
電話神田 3598

白水社

佛語書・文藝書
目錄・月報進呈

物書出版代理部

半田先生 實地指導

書道新講

大場先生 嘉治先

新日本主義

國防學會 編

少年陸軍讀本

野崎先生 新著

日米戰の土俵 布哇と比律賓

林龍先生 編

滿洲語會話獨修

川上先生 新著

富と有價證券

八年四月 刊行

時代文化資料

始めて書物を出版して見たいと思ふ方々の爲に代理部
活字の印刷を御用下さい。御用下さい。御用下さい。御用下さい。
く見積調製御引受け致します。御用下さい。御用下さい。御用下さい。

楷書篇 菊池 上製本 拾五錢
行書篇 菊池 上製本 拾五錢
送十錢 示し平易懇切に見る良書

四六判上製本 菊池 上製本 拾五錢
空前の非常時を奇縁として世界一の死闘を演じた皇道は布
即ち新日本主義の同胞をして速く決死の闘いに駆り立てるもの

四六判上製本 菊池 上製本 拾五錢
四六判上製本 菊池 上製本 拾五錢
即ち新日本主義の同胞をして速く決死の闘いに駆り立てるもの

四六判上製本 菊池 上製本 拾五錢
日米若し戦はば布哇と比律賓はどうか
た速に結び祖國愛の爲に

一名 公債 株式投資の實際知識
最も安全確實に富を作る秘訣を教へた他に求め得られ
の良書である。大特價壹圓八拾錢送八錢。

全國社餘種の新開中より、日々起る重大事件政治、經
済問題、教育、思想、軍事、外交、その他あらゆる重
要問題を精選し、六ヶ金送費共参。判百四十頁、美本

高 等 教 員 中 等 教 員 實 業 教 員
受 験 者 の 羅 針 盤 ・ 獨 學 者 の 燈 明 臺

文 檢 世 界

一月一回

一日發行

◆ 十有九年の歴史は絶對の信頼を賴す約 ◆

(大正四年四月一日創刊)

定價 十四錢 (送料二錢) 三月一圓二錢 六月一圓四錢

目 項 容 内

試驗委員 指針
各科研究 說苑
高等教員 講座
中等教員 講座
實業教員 講座
既往問題 研究
各科試驗 準備
口述試驗 實際
各科問題 分類
參考書 解
各科標準 答
合格者 擬答
各科合格 實驗
試驗委員 氏
合格者 氏
豫試本試問題集
出願注意其他
特別記事滿載

學智院教授 岡田正之博士 校閱
漢文科委員 山下賤夫氏著

大阪府立大手前 山下賤夫氏著
漢文法解説

復文の系統的練習
好評四六判・總クローソス函入二百餘頁
六版 定價金一圓五十錢 下16

東京文理大教授 保科孝一先生序
國語科委員 山下賤夫氏著
大阪府立大手前 山下賤夫氏著
高女高等科教授

文檢用 國 文 法
忽ち四六判・總クローソス函入二百五
三版 定價金一圓八十錢 下18

國民教育會編輯部編
文檢中等教員 各科驗法
改訂 實業教員 各科驗法
八版 判別・上製本六頁・定價一圓一十

文檢中等教員 試驗問題集
自大正十五年 定價五十錢 下2

至 最 近 定價五十錢 下2

至 最 近 定價五十錢 下2

六九三

會育教民國 電話二五九二 東京市豐島區東五ノ一 番〇〇二六一

六九二

發行所 東京市神田區錦町一ノ六 二松堂書店 電話一〇四一

優學生講座

分賣定價通り送料一冊十八錢・六冊十五圓

(1) 人類遺傳學 醫學博士 古屋芳雄 定價 二圓五十錢	(2) 優生學と社會生活 文學博士 建部遜吾 定價 二圓五十錢	(3) 優生學と犯罪及精神病 醫學博士 杉田直樹 定價 二圓五十錢	(4) 個人差の心理學 文學博士 淡路團治郎 定價 二圓五十錢	(5) 優生學と生物學 理學博士 寺尾新 定價 二圓五十錢	(6) 生物環境學 農學博士 田中義麿 定價 三圓五十錢	(7) 優生學と遺傳病學 醫學博士 川上理一 定價 二圓五十錢	(8) 民族生物學概論 醫學博士 古屋芳雄 定價 二圓五十錢	(9) 優生學概論 醫學博士 永井潜 定價 二圓五十錢
(1) 藝術史講座 分賣定價通り送料一冊十八錢・六冊十五圓	(2) 近世舞踊史 小寺融吉 ¥二・八〇	(3) 日本音樂史 田邊尙雄 ¥二・八〇	(4) 東洋漆工史 六角紫水 ¥二・八〇	(5) 日本建築史 岸田日出刀 ¥三・二〇	(6) 日本金工史 香取秀眞 ¥三・二〇	(7) 日本服裝史 和田辰雄 ¥二・八〇	東京麴町飯田町六 電話 神田二六二四 振替東京一六八五 雄山閣	

六九四

共立社 昭和八年度新刊書目

東京神田駿河臺三
電話 神田四六〇七四
振替東京四六〇七四

有機化學 小竹無二雄著 一冊二〇〇 定價 二・五〇	化學汎論 箕作新六著 一冊一〇〇 定價 一・〇〇	生化學 左右田德郎著 四冊一〇〇 定價 三・八〇	油脂・石鹼・塗料 岩本義虎著 二冊九〇 定價 二・八〇	火藥學 西松唯一著 一冊六〇 定價 一・八〇	初幾何學特選問題 窪田忠彦著 一冊七〇 定價 一・六〇	解析力學 實點及實體系 三宅虎雄著 四冊六〇 定價 四・三〇	微分方程式概要 坂井英太郎著 一冊七〇 定價 一・六〇	微分積分學通論 關口雷三著 五冊一〇〇 定價 四・三〇	近世綜合幾何學 高須鶴三郎著 四冊六〇 定價 四・三〇	工業數學概要 梶島二郎著 二冊七〇 定價 二・五〇	電氣化學工業 加原與五郎著 二冊七〇 定價 二・五〇	確率論及び其の應用 龜田豐治朗著 三冊一〇〇 定價 二・八〇	史的唯物論 大森義太郎著 二冊八〇 定價 二・〇〇	史學概論 大類仲著 二冊八〇 定價 二・〇〇	古代文化論 松本信廣著 二冊二〇 定價 一・八〇	血液型と民族性 古川竹二著 八冊一〇 定價 一・七〇	宗教史方法論 安松智執著 一冊三六 定價 一・〇〇	近日本の國際觀の發達 尾佐竹猛著 二冊四〇 定價 一・〇〇	寫真化學 鈴木庸生著 二冊六〇 定價 二・八〇	染料化學 高岡齊著 四冊八〇 定價 二・五〇	保險數學 龜田豐治朗著 四冊八〇 定價 二・八〇	ヴェクトル解析學 河口商次著 一冊 定價 二・五〇	演習代數學 田沼茂市著 上下三冊 定價 三・〇〇
------------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------	--------------------------------------	---------------------------------	--------------------------------------	--	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	------------------------------------	-------------------------------------	---	------------------------------------	---------------------------------	-----------------------------------	-------------------------------------	------------------------------------	--	----------------------------------	---------------------------------	-----------------------------------	------------------------------------	-----------------------------------

六九五

中央家禽協會理事 三井高遂 東京帝國大學助教授農學士 衣川義雄共著

家禽圖鑑

別巻解説書

- ◇菊倍大判
 - ◇全アト刷寫眞
 - ◇三百卅七葉
 - ◇原色版
 - ◇三十五葉
- 〔別巻〕
本文一六二頁

定價金卅圓 特價金廿五圓 (特價部數僅少) 送費八十一錢

大豪華版

去る大正十三年、三井、衣川兩學士協同の下に、「家禽圖鑑」の著作を企てられ、爾來十有餘年、研究に、撮影に、兩著者の苦心は、まことに筆紙に盡し難く、弊店亦之に賛して、微力此の大業に與るの光榮を得た。今奇しくも西年の初春、漸く完成を見て、敢て一豪華版を、印刷、装幀に至りては、最新技術の粹に堪へぬ。専ら後代の遺して誇り得る、又卓とせぬ。畜産學、動物學研究者、一般養鶏家の、巧み把握せる自然姿態の實存美は、拔せる藝術寫眞として、鑑賞上興味深く、更に可き極めて優良優美の名著である。

送 內容見本 呈 東京市日本橋區通三丁目一 振替東京一七一九番

成美堂

觀世宗家左近先生著

大改訂

觀世流昭和版謠本

宗家の五ヶ年に渉る苦心の結晶である昭和版謠本は、其の名の如く、昭和の時代に適しい、實に新しい、又便利、重寶な謠本であります。

梗概により其の曲の一般的知識を得、謠ひ方により曲の位を知り、語釋により難解なる言辭を解し文學的知識を得、其の他役々の扮裝、小道具、作物等一切の能樂謠曲に關する知識を得る事が出来るのであります。

本文は従來より一層節付、謠ひ方共に詳細を極め多大の犠牲を拂ひ、墨朱、二度刷となし、用字の正確、平易は、謠ひ易く見易きをモットーとしたもので従來の謠本に其の比を見ず、東京音樂學校能樂科の教科書として用ひられてゐるのも當然の事であります。

猶欄外には能の型所の人形を一曲平均二十五餘を畫き、よつて觀能の手引、或は演能に接する機會の少なき諸賢に能樂の眞髓を傳へんとするものであります。

五番級揃本

全四十五冊

定價上製金五十八圓

並製金四十六圓

目下豫約刊行中
三十冊配本濟詳
細規定書進呈

稽古用一番本

定價每曲均一

金參拾錢

(送料二錢)

目下一二五番出來
(以下續々發行)

本店 東京市神田區 電話二五八二
東田 東京市神田區 電話二五八二
京市 東京市神田區 電話二五八二
市八 東京市神田區 電話二五八二
神八 東京市神田區 電話二五八二
田八 東京市神田區 電話二五八二
市八 東京市神田區 電話二五八二
京市 東京市神田區 電話二五八二

發行所 合資社會 檜書店

出張所 東京都中區 電話二九〇一
東京市都中區 電話二九〇一
市都中 東京市都中區 電話二九〇一
京都中 東京市都中區 電話二九〇一
市都中 東京市都中區 電話二九〇一
京都中 東京市都中區 電話二九〇一
市都中 東京市都中區 電話二九〇一
京都中 東京市都中區 電話二九〇一

日本學園長 高須芳次郎編

◇菊判極上製◇
◇三段新組◇

定價各冊參
送料各冊貳拾貳錢

六九八

水戸學全集

尊王倒幕の志士を感激せしめたる維新の大經典、水戸學全集生る!!
今や全日本に大旋風を捲き起しつゝある水戸學全集!!
明治維新の指導精神となり、明治の政界、思想界に於ける大人物の血肉となつた水戸學が、
昭和維新待望の念と共に有識國民の間に廻りつゝあるこの機運に先鞭をつけた本全集。
徳富蘇峰先生の激讚（昭和八年四月十三日夕刊紙上）に預りその眞價愈々
光輝を加ふに至れり。（東京日々新聞日々より）

全卷內容

- 第一編 藤田東湖集
○弘道館記述義○回天詩史○常陸帶○貝開偶筆○
彰考館總裁に與ふる書
- 第二編 會澤正志集
○新論○下學通言○迪彝篇○讀直昆靈
- 第三編 安積澹泊集
○大日本史論贊○史論・史傳その他
- 第四編 水戸義公・烈公集（附・藤田圃公）
○常山文集○西山隨筆○梅里先生碑銘○弘道館記
○告志篇○景山文集○勸農或問
- 第五編 三宅觀瀾・栗山潜集（附・栗田栗里）
○保建大記○中樂齋言○天朝正學○國體發揮
- 第六編 青山延子・延光集
○皇朝史略○續皇朝史略○文苑遺談○赤穂四十七
士傳○六堆八將論

關 衛著 菊版上製 價五圓
日本繪畫史 送料 廿二錢

三浦俊三郎著 菊判上製 價六圓五拾錢
本邦變遷史 送料 廿二錢

武田完二著 四六版上製 價貳圓五拾錢
趣味大奧秘史 送料 十四錢

岡本良知著 菊版上製 價參圓
長崎開港以前 歐舶來往考 送料 廿二錢

野球界主幹 橫井春野著 四六版上製 價壹圓五拾錢
日本野球戰史 送料 十四錢

伊福部隆輝著 四六版上製 價壹圓五拾錢
現代都市文化批判 送料 十四錢

栗山周一著 四六版上製 價壹圓五拾錢
歷史新考察 送料 十四錢

早大教授 杉森孝次郎著 菊版上製 價參圓五拾錢
教育改造と社會改造 送料 廿二錢

關 滿日 白井龜雄著 四六版上製 價壹圓五拾錢
開けゆく滿洲 送料 十四錢

久保田與喜智著 四六版上製 價壹圓五拾錢
唯にも 株式投資虎の巻 送料 十四錢

文學士 有田二郎著 四六版上製 價壹圓五拾錢
廣告の心理學 送料 十四錢

前北海道長官 澤田牛麿著 四六版上製 價壹圓
日本文化の再建 送料 十四錢

浦路耕之助著 四六版上製 價壹圓五拾錢
風雲急!! 組上の日本 送料 十四錢

國民新聞 座間勝平著 四六版上製 價壹圓貳拾錢
編輯顧問 日本シヨツ運動の展望 送料 十四錢

關東軍參謀部 四六版上製 價壹圓八拾錢
滿洲事變實誌 送料 十四錢

日大商學部 大塚政農著 四六版上製 價參圓
增進實例商業書翰 送料 廿二錢

六九九

發行所 東京市神田區 株式會社 日東書院 電話 九段一 二八二 一四五六 東京 一四五六

發行所 東京市神田區 株式會社 日東書院 電話 九段一 二八二 一四五六 東京 一四五六

法學博士 高窪喜八郎監修 法律評論社編

法律年鑑

每年一回發行

四六列背革六號密植

- | | |
|-------------|-----------|
| 第一卷 價 九 圓 | 第五卷 價 十 圓 |
| 第二卷 價 八圓五拾錢 | 第六卷 價 九 圓 |
| 第三卷 價 十 圓 | 第七卷 價 九 圓 |
| 第四卷 價 拾 二 圓 | 第八卷 價 九 圓 |

送料各一冊 内地卅六錢 屬領七十五錢

各最近一個年間雜誌及新聞紙上に發表せられたる學說●判例●決議●訓令●回答の要旨全部著書●雜誌●諸統計●諸法令●裁判所職員●在野法曹●學校職員等法律に關する事項及純學理に涉るもの並に補助科學に屬する事項をも集録し之を民法商法以下十部門に分ち精密なる目次及イロハ索引を附したるを以て最近一個年間の法律學說判例を一目して知り得べき良書なり

七〇二

高窪博士監修 法律評論社編

法律學說要旨集

- | | |
|------------|----------------|
| 第一卷 價 八 圓 | 送料内地廿七錢 屬領五十五錢 |
| 第二卷 價 八 圓 | 送料内地廿七錢 屬領五十五錢 |
| 第三卷 價 十三 圓 | 送料内地卅六錢 屬領七十五錢 |
| 第四卷 價 六 圓 | 送料内地廿七錢 屬領五十五錢 |

法學博士 高窪喜八郎編

法律學說總覽(正) 民法商法 全十八冊

價八十七圓四十錢 送料三圓九十六錢

法律學說總覽續編 民法五冊 既刊

價七十七圓 送料二圓八十八錢 各冊分賣

法學博士 高窪喜八郎著

商法總論 全一冊

價四圓五十錢 送料卅六錢

發行所 法律評論社

東京市神田區小川町三丁目二十八番地

振替東京一六一六七・電話神田二七二二

◇ 威權大一の書習自畫洋 ◇

荻野光風先生の洋畫の自習書!!

- | | |
|---------------------|----------|
| (1) 洋畫の描き方 | 大四版上製 函入 |
| (2) 水彩畫の描き方 | 大四版上製 函入 |
| (3) 鉛筆スケッチとデッサンの描き方 | 大四版一上 函製 |
| (4) 油繪の描き方 | 大四版一上 函製 |
| (5) 新しい圖案の描き方 | 大四版一上 函製 |
| (6) 新しい圖案文字の描き方 | 大四版一上 函製 |
| (7) 新しいペン畫の描き方 | 大四版一上 函製 |
| (8) 略畫の集りと其描き方 | 大四版一上 函製 |

七〇三

東京市神田區 富文館書店 電話 〇八三三 振替東京 七三〇二

フロイト
精神分析大系

全五十卷

豫約にあらず
選擇隨意

フロイト精神分析大系は始祖フロイトの全集によつて其の全學
説を譯出したものである。譯者は悉く學界の最高權威!! 現代に
求め得べき最適任者のみである。今後の文藝・美術・哲學凡そ人間生活を基礎とする萬般の諸問題
は精神分析によつてのみ解決される。心の不思議、性の秘密を
知らんとする人は先づ本書を讀め!!

- | | |
|--------------|------------------------------|
| 1 ヒステリー | 安田徳太郎譯
定價 壹圓五拾錢
送料 拾貳錢 |
| 2 夢 判 斷 (上) | 新關良三譯
定價 壹圓八拾錢
送料 拾四錢 |
| 3 夢 判 斷 (下) | 新關良三譯
未刊 |
| 4 日常生活の異常心理 | 丸井清泰譯
定價 壹圓五拾錢
送料 拾貳錢 |
| 5 戀愛生活の心理 | 木村廉吉譯
未刊 |
| 6 快感原則の彼岸 | 久保良英譯
定價 壹圓五拾錢
送料 拾貳錢 |
| 7 精神分析入門 (上) | 安田徳太郎譯
定價 壹圓五拾錢
送料 拾貳錢 |
| 8 精神分析入門 (下) | 安田徳太郎譯
定價 壹圓五拾錢
送料 拾貳錢 |
| 9 洒落の精神分析 | 正木不如丘譯
定價 壹圓五拾錢
送料 拾貳錢 |
| 10 藝術の分析 | 茅野蕭々譯
未刊 |
| 11 トーテムミタプー | 關榮吉譯
定價 壹圓五拾錢
送料 拾貳錢 |
| 12 幻想の未來 | 木村謙治譯
定價 壹圓八拾錢
送料 拾貳錢 |
| 13 超意識心理學 | 林麟譯
定價 壹圓八拾錢
送料 拾貳錢 |
| 14 文化の不安 | 菊地榮一譯
未刊 |
| 15 異常性慾の分析 | 小沼十才譯
未刊 |

最高の巨姿! 完璧無比!

全廿四卷
A 五圓半 B 七圓

大百科事典

フランスにラルース、獨逸にマイエル、英國にブリタ
ニカ、斯くして我が日本に始めて世界に誇り得る大百
科事典を持ち得たのである、期らかな此の大業の完成
を支持されたる十數萬の讀書大衆に謝す!

東京日本橋吳服橋三丁目

平凡社

(内容見本申込次第無代進呈)

代表受驗參考書精選

吉岡斗松先生 代數學 重要問題 受驗問題	吉岡斗松先生 幾何學 重要問題 受驗問題	金丸市八先生 現代模範作文	金丸市八先生 新編國文解釋	金丸市八先生 國文解釋	金丸市八先生 國文法の研究	金丸市八先生 論語・孟子の解釋	鈴木得二先生 新しい英文解釋の研究	鈴木・橋口兩先生 英文作文の新しい考へ方
金 貳 圓	金壹圓八拾錢	金 九 拾 錢	金壹圓八拾錢	金壹圓六拾錢	金 五 拾 錢	金 壹 圓	金壹圓五拾錢	金 四 拾 錢
一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	四
川邊要之助先生 本位力新制物理學提要	川邊要之助先生 物理學問題の着眼點と徹底的な解方	川邊要之助先生 化學問題の徹底的な解方	富士御治郎先生 地理學通論要說	富士御治郎先生 日本地理要說	富士御治郎先生 外國地理要說	三宅誠市郎先生 一人で分る代數	英語研究會 初等英語の正しい學び方	
金 貳 圓	金壹圓九拾錢	金 貳 圓	金壹圓七拾錢	金貳圓貳拾錢	金壹圓九拾錢	金壹圓五拾錢	金 壹 圓	
二一	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	

右各參考書の内容見本は御申越次第急送致します

發行所

盛

林

堂

東京市日本橋區本町四ノ十一

振替東京一八四六番

七〇七

天然色 昆虫七〇〇種

東京市視學 岡崎常太郎先生著

▲圖版六二葉・普通の昆虫七〇七種
(悉く精巧なる天然色寫眞)
鱗翅類 二五八種(蝶一〇一種、蛾一五七種)
鞘翅類 一五六種
雙翅類 四四種
脈翅類 五種
直翅類 八種
半翅類 六一種
膜翅類 六七種
五三三種

英語重要單語的統計

四六版上裝・定價金貳圓
箱入三百餘頁・送料金十四錢
本書は斯の道泰斗ソーンダイク博士及ホーン博士の二大著作を基礎として重要單語五千有餘を採擇し統計的方法によつて各語の重要度を算出し、各語の重要度を数字を以て表し、之をアルファベテイカル、オーダーに排列したる重要語彙である。

東京市視學 岡崎常太郎先生著

東京市視學 岡崎常太郎先生著

東京市視學 岡崎常太郎先生著

教育測定學

本書ハ最初ニ測定法ノ基礎ニナル統計法ヲ説キ、次に學業成績及知識能測定法ノ理論ト實例トヲ示シテアラリマス。本書ニハ其ノ上ニ教育學家ガ最も必要ナル調査法ニツイテ最モ切實ナル方法ヲ論述シ、更に身體検査法ニツイテテ新法ニ對シテ更ニ詳細ニ調査法(價五・〇〇)

人格觀的的教育思潮

全卷を貫流する理念は、一言に「人格的立場」である。即ち自律的人格の辯證的發展に教育の基調を求めんとするにある。かかる理念の下に、著者は、本書に於て、教育の新潮を批判し、陶冶の本義を解明し、人格教育の眞義を究め、情操陶冶の要諦を説く。(價四・八〇)

優良圖書一覽

(自大正二年 至昭和三年)
良書を購はんとせば本書を見よ。各書冊に一々權威ある委員の審査を評載す。推薦年代順に排列し、終りに分類索引を附す、良出容易なり。(價二・五〇)

東京市日本橋區本町四ノ十一

東京市日本橋區本町四ノ十一

東京市日本橋區本町四ノ十一

七〇六

婦人之友の書籍

水町たづ子著 趣味と實用の日本料理	山田政平著 素人に出来る支那料理	婦人之友社編輯局編 家庭で出来る和洋菓子	大平 茂著 家庭向きフランス料理	田中よね子著 四季の家庭料理	醫學博士 田村 均著 育兒讀本	醫學博士 大森憲太著 母と子の榮養學
税 價 一・〇〇 二〇	税 價 一・〇〇 二〇	税 價 一・〇〇 二〇	税 價 一・〇〇 二〇	税 價 一・〇〇 二〇	税 價 一・三〇 二〇	税 價 一・三〇 二〇

婦人子供洋服裁縫大講習録

【全六巻】
 一巻 夏春秋の婦人子供服
 二巻 婦人子供冬服、セーター服、ブラウス、ミスカー、婦人子供用下着一切
 三巻 男児の下着から外套まで
 四巻 婦人、子供外出着、アフターヌード、ドレス、結婚式服、喪服
 五巻 赤坊から歩きはじめまでの服、妊娠中の婦人服、婦人子供の寝衣一切
 六巻 婦人、子供のスーツと外套

豊川エルザ著
 實物附録 毎巻新工夫の型紙、基本的縫方についての實物見本、布地見本を添付します。

新選毛糸あみもの全集【全二巻】
 〔二冊〕 二冊 三冊 八十種
 〔三冊〕 三冊 八十種
 上巻附録 毛糸の質と色の實物見本五十三種
 下巻附録 各所の目數標準表大枚

七〇九

東京 豊ヶ 島谷 區町 婦人之友社 電話 大塚三三三 八七三 一七三 一七三 九一七
 電話 振替東京 一七三 一七三 一七三 九一七

(刊新)

日本郷土童謡名曲集

日本の土に生れ、日本の子供に依つて、はぐくみ傳へられた純粹な日本の童謡、これは日本の各地にかなり澤山あります。然しそれは未だ樂譜になつて居りません。偶にありとしても本来の姿を失つて居ります。著者はこれを甚だ遺憾に思ひ全國を行脚して最も正しいメロディーを一々譜にして歸り、厳選に厳選を重ね、此事業に着手してから丁度十五年目の今日各地方の代表的ものを先づ五十曲だけ伴奏を附し、發表したのが本書です。最初からの後援者高野、草川兩先生の嚴密な校閲に係る安全なものです。此中レコードになつて居るものも十餘曲あります。學藝會、音樂會等に必要缺くべからざる材料です、切に一本を勸む。

▲裝美頁〇六一列菊▲
附奏伴曲十五全

小學歌	宮原禎次	特選集	宮原禎次著	¥1.20 送 .15
樂典	門馬直衛著			¥1.20 送 .15
作曲法	門馬直衛譯			¥3.00 送 .15
絃樂器論	山口常光著			¥2.00 送 .15
歌ひ方十講	門馬直衛譯			¥2.00 送 .15
オデル	マンドリ ン教則本	一、二卷 各 門馬直衛譯		¥1.90 送 .15
ホーマン	グイオリ ン教則本	吉田門馬 内田堀内		¥.90 送 .15
最新音樂辭典	鹽入龜輔編			¥1.00 送 .15
オルガン速成	帝國音樂 會編			¥.50 送 .06

東京音樂學校 教授文學博士 高野辰之先生 閱
 草川 信先生 閱 坊田壽眞著
 定價金壹圓 送料金六錢

七〇八

發行所 東京市神田區佐久間河岸三十七 岡田日榮堂
 電話 下谷一七九三・振替東京六二九五八

最新刊 大好評の「我子の愛育法」の姉妹篇

愛児の道守きん方

兒童教育の究研 威權の啓著 三田博士

新學期です！よくお考へ下さい。若しもお子様が……

- ▲生れつき弱くて發育がおそければ
- ▲腹痛又は神經質で年中弱ければ
- ▲精神薄弱で不良児になり易ければ
- ▲白痴か痴態か善純であれば
- ▲肉體的にか精神的に異常があれば
- ▲玩具や守や家庭教師を選ばなら
- ▲入學期が来ても就學出来ぬ様なら
- ▲學校の成績が思ふやうでなければ
- ▲左利き、近視、癩、小便で困るなら
- ▲小食又は胃腸が弱くて困るなら
- ▲口答へしたり又は喧嘩し易ければ
- ▲盗癖なまけ癖等悪い癖があれば

▲すぐ本書をご覧下さい。生れ變つた様に賢く丈夫になること請合です。

- 子供教育の秘訣 ●治療教育 ●子供の寝小便
- 幼児の運動發達 ●質問への答へ方 ●競技の注意
- 體重と衛生 ●早熟の子の教育 ●體質と教育
- 幼児の體育 ●夏と冬 ●學業と體の関係
- 幼児の精神發育 ●冬と冬 ●胃腸の弱い子供
- コドモと啼泣 ●子供室の注意 ●食欲の進まぬ子
- 幼兒外出の教育 ●皮膚の強健法 ●鼻汁たらし
- 玩具の選び方 ●大都市の子供 ●近視の子供
- 家庭教師 ●成績の悪い子供 ●盗癖の子供
- コドモと幼稚園 ●喧嘩し易い子供 ●神經衰弱の子供
- 兒童の室内體操 ●口答へする子供 ●子供の修學法
- 入園及び入學 ●左利きと兩手教育 ●病氣の早期發見
- 家庭教育 ●子供讀物の選擇 ●受驗兒童の注意
- 個性教育 ●遠足の注意 ●學校を出た子供

全國のお母様たちから、目下奪ひ合ひの名著です。定價金一圓。送料八錢。書店に賣切の節は本社へ。

發行 婦女界社

増補 新版

家庭療法全集



堂々千頁一圓

▲人間萬病の醫者要らず療法が、これ一冊で何もかもわかる。大評判の増補新版が出来ました。澤山の圖解を入れてはんにわかりやすい説明で、千頁の大冊がたった壹圓(送料十六錢)です。

▲病氣のこと、怪談のこと、お産育児のこと、漢藥のこと、民間藥のこと、風濕とお灸のこと、手にするやうにわかります。一家に一冊はどうしても必要な本と、大評判の内容です。

東京・神田 主婦之友社 (一〇八一替振)

理學博士 龜高德平 著

洋裝 菊判 定價 金四圓八拾錢
送料 金拾四錢

本書は著者が、七年前に公にした「化學と人生」の續編で著者一生の目的である化學の知識を普及せしめん爲最近數年間の論議、講演等を集め更に著者以外知名の士の獨特の論文をも併せ輯録したものである。然も一般的に興味を基として面白く有益に書かれたものである。

◎ 同氏著 化學と人生 (重版) 定價金五圓八拾錢
送料 金貳拾貳錢

文學博士 幸田露伴序文
高潮主幹 服部研石著

本書は著者先考と二代の苦心に關するもので古今の名句を基として、之を國文法學上より

俳句文法

研究したるもので、未だ如斯の句の文法書は絶無であつた、本書一冊は國文法研究者は勿論俳句に志す人々に取つても俳句の手引となり同時に古今名句の最大句集である。切に一本を備へられん事をお薦めする。

四六判八百五十頁 定價 金參圓八拾錢
送料 金拾四錢

東京市日本橋區室町四丁目
大阪市西區阿波堀通四丁目
株式會社 寶文館
振替口座東京二四〇大阪四三番

七二二

人生化學

著郎三秀藤齋

斯界の要望に適應し
好評嘖々たる

【特各冊五圓五拾錢】

姊妹篇

十版

六十版

實用英文典

本書は「實用英文典」の名に背かざる綜合完成的唯一無二の參考英文法書にして、英文を草し、英語を語りまた英文學精隨の補佐を得を志す人をして斯學を徹底せしむる必備の聖典である。

本書の 第一高等學校、米國ハーヴァード大學にて教科書に採用せらる、シカゴ大學教授マンリー氏、南加大學教授ゴードン氏其他知名の學者舉つて推稱。

組織的 基本動詞大典

本書は前置詞の大辭典にして併せて英語英文のエンサイクロペディアである。前置詞の重要な今更贅説の要なし、其使用法變化無限、到底如何なる字書文法書も、能く之を盡し能はざる所なり、先生はこの變化限りなき前置詞を整然たる秩序透徹せる理路に則り、無數の文例に分析討究して貽する所なし。

前置詞大完

四六版 千三百四十餘頁
縮クローニス裝
定價 金 七圓
書價送料 金三十三圓

四六版 千二百二十餘頁
縮クローニス裝
定價 金 七圓
書價送料 金三十三圓

特價 提供

東京市神田區錦町三ノ二
正則英語學校出版部

電話 田神 一〇一七
東京 替振 一〇一七

七二三

內容見本進呈

内務省囑託法學士 野間忠藏 序
 内務省警保局圖書課 石安野 倉田新 俊雄 編
 四六版・四二〇頁 定價一圓八十錢
 布裝・函入 送料十四錢

最近十年間 思想關係出版物總攬

に於ける 附思想團體要攬

内務省圖書課に於ては、全國出版物を通じて思想の動搖、世相の推移を知ると共に社會動態調査の根幹を把握することが容易に出来るのである。本書は、全國無數の出版物の中から時代と社會との波に滲み出でたる諸思潮を鳥瞰して社會問題研究者の便益に資すると共に、社會情勢の正しき常識に備へんがために編纂せられたるものである。類を政治、法律、經濟、社會、哲學の五部門に分ち、五十音著者名別及び發行年月順に整理配列して、容易に檢出し得る様意を用ひ、簡にして明且つ正確なる資料を基としてある點は、絕對に他の追従を許さぬものである。眞に本總攬は唯一無二の思想著書索引たるばかりでなく、一面思想百科全書を兼ねたるものもつて、思想取締關係者は勿論直接教育の關係者、學校、官衙、圖書館及び社會問題に關心を有するもの必備の寶典であらう。

最新刊

京都帝國大學司書 天野敬太郎編 法政社 會・經濟 論文總覽
 正篇 四六判・千三百五十七頁 定價五・八〇
 追篇 四六判・五百七十七頁 定價四・〇〇

◆攻專學數 ◆松室隆光先生 大四大好著

最新高等代數學問題詳解

◆好評五版 ▲定價二・〇〇 送料十二

◆好評三版 ▲定價二・〇〇 送料十二

◆忽ち七版 ▲定價二・〇〇 送料十二

◆平面解析幾何學問題詳解
 ◆立體解析幾何學問題詳解

◆本書は竹内・中川兩博士著・新撰解析幾何學教科書の問題解答書でもある ◆定價二・〇〇 送料十二

七一七

發兌 東京市本郷區元町二の六 啓文社書店

七一六

東聖 神橋 田通 院書江刀 振替電話 三三三三 七三三三 八一七九

最新建築構造學

早稻田大學教授
工學博士

內藤多仲著

第卅五六〇頁

定價 四圓



本書は我が國建築界に多年貢獻せられてある所界の權威たる著者が、曩に著はせる「建築構造學」の全編をメートル法によつて書き改め、最近の新研究全部を網羅せるもので、主として建築學會編纂の實業學校程度の標準教科書の教授細目に則り、同時に高等の部分をも添加して、建築構造の理論とその應用とを極めて平易に解説したものである。即ち一般力學の大意よりして構造の力學に及び、鐵骨鐵筋コンクリート建築等の設計々算への應用を示し、併せて剛架構造の性質を略説して耐震構造の要項を加ふ。なほ後編構造力學特論に於ては、最近長足の進歩を遂げた架橋力學の諸理論を詳細に解説してある。本書は工手學校工業學校の教科書として推奨すべきものたるのみならず、專門の技術家は勿論、高等工學校大學建築科學生の絶好の參考書として、苟も建築に携る者の寶典として、必ず座右に一冊を備ふべき曠古の名著たるを疑はない。

東京 早稻田大學出版部

電話 三二一 東京 電話 五五四三

簡野道明先生校閱

十八史略新解

新刊

十八史略は元の曾先之が史記、漢書以下十八史から最も切要な事實を抄録して編纂したもので、之に依つて支那歴史の梗概に通じ、治亂興亡の理を明かにすることが出来、聖君賢臣、碩學鴻儒の略傳をも知つて感憤興起の動機ともなり、書中に散見する故事成語、金言佳句は作文修辭の資料となるのである。本書は其の中最も現代學生の參考となるべき部分を抜萃し且つ紀事本末體とし、之に精確な讀方と懇切な摘解、通解とを施したもので、學生諸子の自學自習に最も適切なるばかりでなく、中等教科書の隨伴として最も役立つものである。

- △四六判洋布裝一冊
- △紙數四百五十頁
- △定價金壹圓七拾錢
- △送本料拾貳錢

學習用參考書

<p>論語 簡野道明先生著 定價金參圓八拾錢 送料拾八錢</p>	<p>孟子 簡野道明先生著 定價金貳圓八拾錢 送料拾六錢</p>	<p>孟子通解 簡野道明先生著 定價金參圓五拾錢 送料拾八錢</p>	<p>名詩類選評釋 簡野道明先生著 定價金參圓五拾錢 送料拾八錢</p>	<p>唐詩選詳說上 簡野道明先生著 定價金參圓八錢 送料各拾八錢</p>	<p>平家物語評釋 簡野道明先生著 定價金四圓五拾錢 送料拾八錢</p>
<p>徒然草詳解 內海弘藏先生著 定價金貳圓貳拾錢 送料拾貳錢</p>	<p>神皇正統記評釋 大町芳衛先生著 定價金壹圓六拾錢 送料拾貳錢</p>	<p>增鏡通解 和田・石川兩先生著 定價金貳圓四拾錢 送料拾六錢</p>	<p>枕草子通解 金子元臣先生著 定價金參圓五拾錢 送料拾八錢</p>	<p>方丈記評釋 內海弘藏先生著 定價金壹圓 送料六錢</p>	

東京 神田區 錦町 一丁目 十番地 株式會社 明治書院 振替 東京 四九四九 電話 一四一四 番

種四著名の氏郎三新島宮 田 稻 早大

刊新最

訂改 大正文學十四講

定價 貳圓八拾錢

四六版五五〇頁
函入美本
上等ラフ紙印刷
總洋布裝幀
送料拾四錢

久しく絶版中の處、全日本多數讀者の熾烈なる要求に動かされ、茲に著者の快諾を得て改訂版を世に問ふ事となつた。本書は在來の此の種の書が單なる紹介に止まり且、大正文學を論ずること恰も明治文學の附録の如くなるに反し、獨創的な研究であり、暗示に富んだ文獻であり、獨立した大正文學論である。現代作家を取扱つて餘す所なく、其論旨極めて公平無私、好個の現代日本文學の鳥瞰圖である。敢て同好文學者の賜讀を薦む。本書亦姉妹書「明治文學十二講」と同じく教科書として博く採用せらる。

版四忽

訂改 明治文學十二講

定價 貳圓

四六版三五〇頁
函入美本
上等ラフ紙印刷
寫眞版數葉
送料拾貳錢

本書は明治文學の種々相を文化史的の立場から、極めて組織的に、而も平易簡明に講述したもので、之を縦に見れば明治思潮の變遷史であると同時に明治文化史でもあり、之を横に見れば用意周到なる各作家各作品の鑑賞でもある。明治文學研究の入門書として、又教科用書として之に勝る良書はない。

評好大

增補 短篇小説新研究

價一、二〇
送料 八

短篇小説に於ける其起源、構造、内容等を古今東西の作品を例にして縱横に解剖指摘されたもので、鑑賞の立場から遺憾のない研究が出来らる。

又版重 現代名文學鑑賞讀本

價各、五卷
送料各、五〇

明治大正に於ける短篇小説・小品文・詩・短歌等の名作を輯め各作家の作風及び評傳を述べ、且つ極めて適切正當なる鑑賞批評を加ふ。

七二三

番二五〇七一京東替版 社版出京東 區込牛市京東 所行發
番四七四二込牛話電

著者	書名	定價	著者	書名	定價
水木梢	學校學級參觀の仕方と報告の要領	二・五〇	石川太一	讀方教授法研究の仕方	一・〇〇
"	學級擔任	二・八〇	朝日文彦	級方教授法研究の仕方	一・〇〇
"	校長學本論	二・八〇	鈴木武次	算術教授法研究の仕方	一・〇〇
稻村玉雄	首席訓導學	二・八〇	岩井精造	國史教授法研究の仕方	一・〇〇
水木梢	大訓導學	二・八〇	石川太一	讀方教授案の立て方と參觀の仕方	一・〇〇
田中武郎	新學校學級參觀 質問・批評・答辯の仕方	二・八〇	朝日文彦	級方教授案の立て方と參觀の仕方	一・〇〇
稻村玉雄	實地授業批評會	二・八〇	朝日文彦	算術教授案の立て方と參觀の仕方	一・〇〇
小林佐源治	各科教授の郷土化の實際	二・四〇	朝日文彦	地理教授案の立て方と參觀の仕方	一・〇〇
小林五五氏	技能科教授郷土化の實際	一・六〇	宇野誠一	國史教授案の立て方と參觀の仕方	一・〇〇
鈴木武次	最近進歩 低學年の教へ方	一・〇〇	岩井精造	自力更生新教育の實際	一・〇〇
朝日文彦	各科細説	一・〇〇	水木梢	自力更生郷土教育	一・〇〇
田中武郎	實地授業の新しい仕方	一・〇〇	"	勞作主義各科學習の實際	一・〇〇
北澤種一	六大教育思潮の講習	二・八〇	稻村玉雄	勞作主義研究教授の實際	一・〇〇
水木梢	複式教育の新研究	一・二〇	石川太一	勞作主義研究教授の實際	一・〇〇
小林佐源治	複式學級經營の實際	一・二〇	宇野誠一	勞作主義研究教授の實際	一・〇〇
外 數氏	複式教授の仕方と觀方	一・二〇	宇野誠一	勞作主義研究教授の實際	一・〇〇
水木梢	如何に學習態度は確立するか	一・〇〇	宇野誠一	勞作主義研究教授の實際	一・〇〇

七三二

番七〇七一谷四話電 社踏高 區橋淀京東
番七五四四七京東替振

昭和七年史

監修 三宅雪嶺 兩先生
安部磯雄

世界は今や擧げて非常時である。特に日本に於て然りだ。今後の世界は？ 日本は？ 果してどうなり行くであらうか。蓋しこの課題位萬人に取つて最大の關心事はあるまい。何故ならばこの的確なる見透しなくしては、今後、何事も爲し能はぬからである。然らば如何にしてこの見透しを獲得することが可能か。その途は先づ「過去」を明確に把握するにある。現在及び將來は過去の聯繫であり延長だからだ。惟ふに過去を再吟味する餘裕ある人にして始めて將來を洞察することが出来る。過去を蔑視するのは將來を輕んずる所以に外ならぬ。本書は過去一歳の歴史的事相全面に亘る最公正なる記録・分析・批判・解説であり、將來への見透しに力強き示唆を與ふる無二の指針である。曾て三宅博士は本書を評して「歴史編纂に一エポックを作る」ものとして推奨、徳富蘇峰先生は「最も歡迎に價する書」として賞讃さる。其他初めて荷くも本書を手にする程の人は「こんな有用な書があつたのか」と驚嘆せざるはない。

見よ、歳月を経る毎に、價値と効用とを發揮する我が年史!!

重 昭和三年史

菊版 七四〇頁
布裝 函入美本
定價金二圓八十錢
(送料内地三圓六〇)

重 昭和四年史

菊版 六八〇頁
布裝 函入美本
定價金二圓八十錢
(送料内地三圓六〇)

重 昭和五年史

菊版 六三〇頁
布裝 函入美本
定價金二圓八十錢
(送料内地三圓六〇)

重 昭和六年史

菊版 七八〇頁
布裝 函入美本
定價金三圓
(送料内地三圓六〇)

特典提供

今年年史發行五周年を記念し、直接發行所宛「昭和四年史」以下四冊(代金拾壹圓六拾錢送料内地五十四錢)購讀御申込みの各位に對して、特に「昭和三年史」一冊を無料にて贈呈いたします。

發行所 東京・東元 本町二丁目 會行刊史年 振替口座東京二七三〇番 電話四谷二二一一番

七二四

最新刊

適性考査法

文學士 増田幸一 著

菊版 判洋裝 二百二十餘頁
挿圖 七百七十餘頁

定價金 五圓
送料金 參拾參錢

職業的適性を檢定する資料を提供するため「理論及方法」「實例及狀況」の二篇に分ち、百二十餘の圖と六十餘の表とを用ひて細に系統的に説述され、性能檢査法各説中には身體、一般知能、特殊性能、情意の各檢査法及人物判定につきて示し、各種職業に對する適性考査法を其一々に就き個別的に掲げ、なほ世界各國の實施狀況をも添へたる適性考査法の著書としては至れり盡せりのものである。職業的實際家の當面の問題としてその適性考査の立案及實施上に參考資料を提供するものであり、又その研究に進まうとする者に對してのよき手引書である。

理論及方法篇

- 1 適性考査の概念
- 2 適性考査の差異心理的基礎
- 3 適性考査法の設定
- 4 適性考査法の處理
- 5 性能檢査法各説

實例及狀況篇

- 1 各種職業に對する適性考査法
- 2 適性考査法研究及實施の狀況
- 3 實例篇に擧げられたる職業種目

内容一 班

發行所 三友社
東京市四谷區新宿町一丁目八十八番地

振替口座東京二七三〇番
電話四谷二二一一番

七二五

!! 解詳式トツロイバ ! 賣發新



・卷の虎な的用實て的問學も最・

英 語	斷	パ	そ	學	と	!	パ	虎
漢 學	然	イ	の	生	云	詳	イ	の
教 學	拔	ロ	筈	諸	ふ	解	ロ	卷
出	群	ツ	...	君	の	は	ツ	は
來	だ	ト	...	の	が	之	ト	今
す	か	詳	...	御	新	に	式	や
全 國 有 名 書 店 に あ り ま す。	ら	解	於	定	時	限	時	斷
	!!!	は	て	評	代	る	代	然

〇一〇五一京東特振 社トツロイバ 區田神市京東
二一三(25)山神話電 五目丁三町

地理歴史教育

地理及歴史の變動教材を輯録せる唯一の而かも安價な雑誌

朝日一個の節約は本誌壹冊の購讀を生む

一ヶ月 金九拾錢 送料共
一冊 金十五錢

教授用 國史大地圖

▼國史教育の指導精神を具體化したる最高權威の……
▼國民文化の發達に重點を置き傳統的の型を脱したる……
▼紙幅の大に於て……内容の正確に於て……
▼描圖の精妙、印刷の鮮明に於て……斷然群を抜く!

第一輯 內容

- 第一圖幅 歷代皇居圖
- 第二圖幅 平城京圖
- 第三圖幅 平安京圖
- 第四圖幅 元寇關係圖
- 第五圖幅 吉野朝時代要地圖
- 第六圖幅 海外發展關係圖
- 第七圖幅 徳川幕府諸侯配置圖
- 第八圖幅 幕末明治維新要地圖

東京帝國大學助教授 史料編纂官文學博士 地理歴史研究會理事 文部省前囑託 中村孝也先生 增澤淑先生 木崎龍尾先生 著編共 各圖幅共横五尺二寸 縱三尺六寸 優美軸製 寫眞石版 オフセット 六色乃至十色刷 鮮明佳麗 各幅共壹幅 特價金五圓也 第一輯八幅壹組 特價金四拾圓也

六五七八三京東特振 部版出店商屋土 區郷本市京東 所行發
八八二三川石小話電 地番三目丁六島湯

威權の界誌雜

造創

見よ！讀め！

新鮮なる本誌の内容

卷中凡て近代人の必讀すべき眞摯なる軍事、
政治、經濟、文藝、科學、其他万般の記
事を以て充滿し、筆者は何れも斯界の
權威者。

定價參拾錢

毎月一回一日發行

發行所

東京・神田・淡路二丁目一ノ四

電話二〇二五(二田) 一〇一
電話一三九六(東京) 一〇六

創 造 社

月刊 歷史教育 定價十五錢・稅一錢半
(共稅) 圓三金前册六

歷史教育會編 中川一男著
大森金五郎著
中山久四郎著 森本六爾著
日笠護著
後藤守一著
歷史教育會編 野原希聖著 野原四郎譯註
岩井大慧編

明治以後に於ける 歷史學の發達

再版 定價三・〇〇 送〇・二〇

歷史學及歷史教育の本質

13版 定價三・〇〇 送〇・二〇

日本中世史論考

再版 定價四・〇〇 送〇・二〇

日本上代文化の考究

再版 定價三・七〇 送〇・二〇

日鮮關係の史的考察と其研究

3版 定價三・〇〇 送〇・二〇

日本考古學

5版 定價三・〇〇 送〇・三〇

郷土史は如何に研究すべきか

3版 定價三・〇〇 送〇・三〇

支那封建社會史

3版 定價〇・五〇 送〇・〇六

掌中東西年表

7版 定價〇・五〇 送〇・〇三

四 海 書 房

東京市豊島區東上野三丁目七番
電話 三九六六 三九六六

目書版出堂榮松るあ威權

飯田耕三著 フィルム板 寫眞術の初歩	水田喜健著 寫眞のうつし方	日本寫友會編 藝術寫眞の夜間撮影	谷 耕一著 社交ダンスの第一歩	淺田政一著 習ひ易く應用速記術	宮崎 茂著 新短歌入門	雄辯研究會編 模範式辭挨拶演說	中央無線 最新ラヂオ受信機の組立	谷口健治著 麻雀競技法	高橋觀城著 現代女子ペン習字書翰文	高橋觀城著 若き女のペン習字書翰文	高橋觀城著 習字女子の日常の便り	高橋觀城著 現代男子ペン習字書翰文	高橋觀城著 若き男のペン習字書翰文	高橋觀城著 ペン三體漢字のくづし方
井口泰久編 工業數學便覽	第二高校教授 大石喬一著 受驗代數學の根柢	石原 坦編著 口語受驗模範作文	益本重雄著 英語聽取書取の急所	加藤莊一著 最易三四年の英文法	福本 亨著 最易英語の初歩學び方	佐藤正治著 最易代數學初歩學び方	佐藤正治著 最易幾何學初歩學び方	佐藤正治著 最易三角法初歩學び方	佐藤正治著 最易算術の學び方	佐藤正治著 最易珠算の學び方	中村美代子著 和洋料理の拵へ方	青柳邦彦著 新女子手紙と端書文	三輪一雄著 新青年手紙の端書文	
送料二角	送料二角	送料二角	送料二角	送料二角	送料二角	送料二角	送料二角	送料二角	送料二角	送料二角	送料二角	送料二角	送料二角	送料二角

東京市神田區 松榮堂書店 振替東京七〇一四六番

七三一



講義録 定石 布石

月刊棋道 月刊圍棋俱樂部 月刊圍棋週刊棋道

◆月刊棋道 一冊五十錢 送料一錢 一年分六 四(稅共)

◆月刊圍棋俱樂部 一冊五十錢 一年分六 四(稅共)

◆月刊圍棋週刊棋道 一冊三十錢 一期分 二冊四十錢(稅共)

初學圍棋講義録 一冊 送料四錢 六冊 完結 六 四(稅共)

高等圍棋講義録 一冊 送料四錢 十二冊 完結 十二 四(稅共)

初學圍棋獨習 一冊 送料六錢 八冊 完結 八 四(稅共)

圍棋手筋解 定價一冊一圓五十錢(送料六錢)

互先定石 第一卷 各一冊一圓二十錢(送料四錢)

頂手篇 一冊 一圓二十錢(送料四錢)

大桂馬篇 一冊 一圓二十錢(送料四錢)

互先布石詳解 第一卷 一冊 一圓二十錢(送料四錢)

大桂馬詳解 第一卷 一冊 一圓二十錢(送料四錢)

布石詳解 全四冊 各一冊一圓二十錢(送料四錢)

棋聖秀策の布石上、下 各一冊一圓二十錢(送料四錢)

日本棋院特製棋段級錄 定價金五十錢(送料二錢)

出版圖書目錄 郵券貳圓呈 乞封入錢

東京市神田區永田町二丁目一番地 日本棋院

電話 銀座七〇五番 東京座口替番 八五六八番

七三〇

文學士 神山五黃先生著 [内容見本御申込次第送呈]

奥占易學講義録

全六卷 毎月發行
會費各卷貳圓
全額拂込は拾壹圓
申込金 送料不要

東京・本郷・動坂町六三

神山易學會

振替東京五一九三四番

七三二

◆東洋哲學の根元は易に在り。本講義録は之を平明簡潔誰にでも解る様に講述してある。

◆本講義録を読めば何人でも直ちに實占家として營業が出来る。

◇此際申込者に三大特典あり。詳細は内容見本を見よ

【本講義の特色】 これまで發行された此種講義録は徒らに古來の學說を羅列し文字の穿鑿にのみ走り、或は卑俗低級取るに足らぬもののみであつた。本講義録は此點を改め、理論卦辭爻辭の説明を極力平易正確にすると同時に實占適用といふ方面に力を注ぎ、何人も易學の眞髓を理解し得ると同時に實占應用の出来ることを主眼とした。

【獨特の内容】 先づ理論、卦辭、爻辭については、未だ何人も試みなかつた著者獨特のわかり易い解説を試み、これだけ讀んでも應用の出来るようにして置き、占斷の項に於いて更に運勢、願望、金談、賣買、相場、縁談、待人、失物、病氣、走人、就職、旅立、壽命、争ひ事、試験、天候その他數十項目に別ち如何なる理由によつて、占斷の決定を與へたかといふ根據を詳細に説き盡してあるから、實占に當つて間違つてやうなことがない。

◇本會發行圖書目錄御申込次第送呈致します

第四部 昭和七年豫約配本目錄

七三三

◇國譯一切經 三冊(大東出版社)

Table with 12 columns (months) and 12 rows (titles and authors). Includes titles like '律部十三・律部十五' and authors like '西本龍山・堤野香洋'.

◇國譯大藏經 (東方書院)

Table with 12 columns (months) and 12 rows (titles and authors). Includes titles like '律部十四・本緣部六' and authors like '西本龍山・堤野香洋'.

◇國譯一切經 振替(大東出版社)

Table with 12 columns (months) and 12 rows (titles and authors). Includes titles like '律部十三・律部十五' and authors like '西本龍山・堤野香洋'.

◇國譯大藏經 二冊(東方書院)

Table with 12 columns (months) and 12 rows (titles and authors). Includes titles like '論律部二・經典部八' and authors like '國譯大藏經編輯部'.

◇國譯秘密儀軌 (刊行會)

Table with 12 columns (months) and 12 rows (titles and authors). Includes titles like '五家正宗贊・博山警語' and authors like '國譯大藏經編輯部'.

◇模範佛教辭典 (東方書院)

一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月
三	五	六	八	一〇	一一	九	四	二
四名歌鑑賞篇	五撰集講義篇	六家集講話篇	七女流歌人篇	八特殊研究篇(上)	九特殊研究篇(下)	一〇修辭文法篇	一一概論解社篇	一二現代結社篇
版正臣外三氏	森本治吉外八氏	澤田久孝外十四氏	花田比呂志外十九氏	井上通泰外廿三氏	和田英松外廿四氏	武島羽衣外十三氏	土屋文朝外十五氏	柳田新太郎外十九氏

國文學・國籍

漢籍

俳句講座(改造社)

六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
二	五	七	六	四	三	八
一俳風評傳篇	二鑑賞評釋篇	三特殊研究篇	四俳書解說篇	五俳論作法篇	六概論作法篇	七現代結社篇
藤村外廿氏	野口米次郎外廿氏	本方昌外廿五氏	藤井乙男外六氏	各務虎造外十三氏	寺田實源外十一氏	志田義勇外廿七氏

一月	二月	三月	四月	五月	六月
二	二〇	二二	七	一〇	一五
五水鏡・大鏡・今鏡・增鏡	六源氏物語(下)外二篇	七源氏物語(上)外二篇	八源氏物語(下)外二篇	九源氏物語(上)外二篇	一〇源氏物語(下)外二篇
中山 壽 昌編	中山 壽 昌編	中山 壽 昌編	中山 壽 昌編	中山 壽 昌編	中山 壽 昌編

七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
一九	一七	一三	一四	一五	一六
抄御草子外五篇	太平御記(上)篇	今昔物語(下)篇	華語(下)篇	昔物語(上)篇	都保物語(上)篇
中山 壽 昌編	中山 壽 昌編	中山 壽 昌編	中山 壽 昌編	中山 壽 昌編	中山 壽 昌編

近代日本文學大系(誠文堂)

萬葉集古義(精文館)

十月	十一月	十二月
三	一四	一六
一井原西鶴集	二源氏物語(上)忍草	三源氏物語(下)忍草
中山 壽 昌編	中山 壽 昌編	中山 壽 昌編

七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
一	二	三	四	五	六
一萬葉集古義總論(其外五篇)	二萬葉集古義一卷之下外五篇	三自三卷之下至六卷之上	四自六卷之下至九卷之下	五自十卷(上)至十二卷(下)	六自十三卷(上)至十六卷(下)
精文館	精文館	精文館	精文館	精文館	精文館

◇酒落本大系 (六合館)

一月	七	九	女郎買糖味噌汁外廿六篇	高木好次外三篇
三月	五	一〇	風俗問題外廿六篇	同
五月	一	二	兩巴厄言外廿四篇	同
五月	二	三	當世空言の河外廿一篇	同

◇續日本儒林叢書 (東洋圖書)

十月	一	隨筆部第二及詩文部	價一 郎
----	---	-----------	------

◇賀茂眞淵全集 (六合館)

九月	三	賀茂翁家集外十八篇	賀茂 百 郎校訂
----	---	-----------	----------

◇平田篤胤全集 (内外書)

四月	一〇	道(三)	上田萬年外三篇
五月	一	史(二)	上田萬年・山本信哉・平田盛男

◇荷田全集 (吉川弘文館)

五月	五	萬葉童蒙抄・萬葉集別記	荷田 重 隆
----	---	-------------	--------

◇二宮尊徳全集 (二宮尊徳傳)

三月	一	三六	原	理 佐々井 其太郎
----	---	----	---	-----------

◇新校群書類從 (内外書)

一月	一	一八	神	上田萬年外七篇
二月	五	一九	公事部(一)・裝束部(一)	同
四月	一九	二〇	釋家部二・雜部一	川 保 一
七月	一八	二二	武家部二・釋家部一	上田萬年外七篇
八月	二三	三三	雜	同

◇續群書類從 (續群書類會)

一月	二	二〇	合	續群書類會
四月	二	二二	神	同
八月	八	三三	裝束部・文筆部	同
七月	六	三三	律令部・公事部	同

◇續群書類從 (甲) (續群書類會)

一月	八	八	和歌部二・和歌部四・和歌部五	續群書類會
二月	九	九	系圖部四・連歌部二・合戰部五	同
三月	二	二	系圖部五・傳部三・武家部三	同

◇實隆公記 (太平洋)

六月	二	二	長享元年外七篇	太平洋
----	---	---	---------	-----

◇古事類苑 (古事類苑)

一月	四八	九	產	神宮
二月	四六	一〇	人	同
三月	五三	一一	器	同
四月	三二	一二	武	同
五月	二〇	一三	政	同
六月	五八	一四	植	同
七月	五三	一五	居	同
八月	二二	一六	帝	同
九月	四〇	一七	禮	同
十月	一四	一八	官	同
十一月	六	一九	神	同
十二月	二六	二〇	泉	同

◇字鏡集 (香泉館)

十二月	一	一	天象部・地儀部(上下)	野口 實
-----	---	---	-------------	------

四月	二	一	系圖部六・合戰部六・雜部三	同
五月	三	二	釋家部五・雜部一	同
六月	四	三	文筆部二・雜部四・書准后日記上	同
七月	五	四	傳	同
八月	八	五	武	同
八月	二五	一五	釋	同
八月	二七	一五	遊	同
九月	一九	一六	合	同
九月	二二	一六	雜	同
九月	二九	一七	神	同
十月	三	一七	傳	同
十月	九	一七	文	同
十月	一三	一七	神	同
十一月	三	一八	賦	同
十一月	一八	一八	武	同
十二月	二	一九	神	同
十二月	四	一九	補	同
十二月	五	一九	系	同

◇國譯本草綱目(春陽社)

五月	七	一〇	穀	菜	遺(一)	同	部	師	木	其	治
三月	三	二	拾		同						

◇國譯本草綱目(春陽堂)

十月	一	序	病	主	治	同	例	師	木	其	治
十月	二	百									

◇續國譯漢文大成(經子史部)(國民文庫)

三月	二四	讀	通	鑑	論(七)	國民文庫刊行會編
----	----	---	---	---	------	----------

◇續國譯漢文大成(經子史部)(國民文庫)

三月	二四	讀	通	鑑	論(下)	國民文庫刊行會編
----	----	---	---	---	------	----------

◇漢籍國字解全書(正篇)(早稻田大學)

五月	一	孝經・大學・中庸・論語	早稻田大學出版部編
六月	二	孟子・帝範・臣軌・家訓	同
七月	三	易經上・啓蒙階梯	同

◇漢籍國字解全書(後篇)(早稻田大學)

八月	二	古	文	前	集	早稻田大學出版部編
九月	五	詩	經・詩	疏	同	
十月	六	書	經(下)・本策	指	同	
十一月	七	易	文	後	同	
十二月	八	古	文	後	同	

◇漢籍國字解全書(後篇)(早稻田大學)

五月	二八	論	語	證	解(七)	早稻田大學出版部編
七月	三三	左	氏	傳	同	
九月	三一	左	氏	傳	同	
十月	三二	傳	氏	傳	同	
十一月	三三	傳	氏	傳	同	
十二月	三四	左	氏	傳	同	

◇漢籍國字解全書(正篇)(早稻田大學)

五月	一	禮	記(上)	同	早稻田大學出版部編
六月	二	禮	記(下)	同	
七月	三	禮	記(上)	同	
八月	四	正	軌	同	
九月	五	荀	子(上)	同	
十月	六	韓	子(上)	同	
十一月	七	戰	策(上)	同	
十二月	八	荀	子(下)	同	

文藝作品全集

◇日本文學大全集(改造社)

一月	二	菊池寛全集(第二卷)	菊池寛
二月	三	佐藤春夫全集(第一卷)	佐藤春夫
三月	四	藤森成吉全集(第一卷)	藤森成吉
四月	五	岡本綺堂全集(第一卷)	岡本綺堂
五月	六	正岡子規全集(第二卷)	正岡子規
六月	七	佐藤春夫全集(第三卷)	佐藤春夫
七月	八	里見弴全集(第三卷)	里見弴
八月	九	片岡鐵兵全集(第三卷)	片岡鐵兵
九月	一〇	菊池寛全集(第三卷)	菊池寛
十月	一一	正岡子規全集(第三卷)	正岡子規
十一月	一二	正岡子規全集(第三卷)	正岡子規

◇明治大正昭和文學全集(春陽堂)

一月	五八	現代作家篇	積光利一外十三氏
二月	六〇	現代作家篇(第三)	野山園外八氏
六月	六六	和歌・俳句篇	正岡子規外六十氏

◇現代大衆文學全集(平凡社)

豫約配本目錄(昭和七年度)

◇現代大衆文學全集(平凡社)

一月	一三	劍俠受難・名人地獄	編	史	郎
二月	二二	勤王女仙傳・江戸の誇	前	山	郎
三月	二二	か	大	次	郎
四月	二四	都一番風流男・續お洒落狂女	本	美	郎
五月	二六	鳥原大秘録	生	田	郎
六月	二七	新選探偵小説集	保	田	郎
七月	二八	五月選	保	田	郎
八月	二九	五月選	保	田	郎
九月	三〇	五月選	保	田	郎
十月	三一	五月選	保	田	郎
十一月	三二	五月選	保	田	郎
十二月	三三	五月選	保	田	郎

◇新作探偵小説全集(新潮社)

四月	三	委なき怪盜	甲	三	郎
五月	八	白骨の處女	森	下	郎

七月	八月	十月	十一月	十二月
二	一〇	七	一	五
三	奇蹟	四	五	六
疑	呪	人	六	七
の	ひ	く	疑	疑
扇	の	の	問	問
六	塔	の	の	の
下	塔	手	手	手
宇	下	江	江	江
陀	宇	川	川	川
見	陀	五	五	五
兒	見	郎	郎	郎

◇長篇三人全集 (新潮社)

一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月
二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一
三	火	人	曙	砂	夕	秋	太陽	太	太
三	肉	肉	の	の	の	の	の	の	の
三	果	果	歌	歌	歌	歌	歌	歌	歌
三	前	前	孔	孔	孔	孔	孔	孔	孔
三	奏	奏	雀	雀	雀	雀	雀	雀	雀
三	酒	酒	草	草	草	草	草	草	草
三	場	場	中	中	中	中	中	中	中
三	の	の	村	村	村	村	村	村	村
三	客	客	武	武	武	武	武	武	武
三	観	観	羅	羅	羅	羅	羅	羅	羅
三	加	加	夫	夫	夫	夫	夫	夫	夫
三	藤	藤	夫	夫	夫	夫	夫	夫	夫

◇吉田絃二郎全集 (新潮社)

二月	三月	四月	五月	六月	七月
一	二	三	四	五	六
二	三	四	五	六	七
三	四	五	六	七	八
四	五	六	七	八	九
五	六	七	八	九	一〇
六	七	八	九	一〇	一一
七	八	九	一〇	一一	一二
八	九	一〇	一一	一二	一三
九	一〇	一一	一二	一三	一四

◇江戸川亂歩全集 (平凡社)

六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
一	二	三	四	五	六	七
二	三	四	五	六	七	八
三	四	五	六	七	八	九
四	五	六	七	八	九	一〇
五	六	七	八	九	一〇	一一
六	七	八	九	一〇	一一	一二
七	八	九	一〇	一一	一二	一三
八	九	一〇	一一	一二	一三	一四
九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五

◇小山内薫全集 (春陽堂)

九月	十月	十一月	十二月
一	二	三	四
二	三	四	五
三	四	五	六
四	五	六	七
五	六	七	八
六	七	八	九
七	八	九	一〇
八	九	一〇	一一
九	一〇	一一	一二

◇厨川白村全集 (改造社)

五月	六月	七月
一	二	三
二	三	四
三	四	五
四	五	六
五	六	七
六	七	八
七	八	九
八	九	一〇
九	一〇	一一

◇三宅やす子全集 (中央公論社)

八月	九月	十月	十一月	十二月
一	二	三	四	五
二	三	四	五	六
三	四	五	六	七
四	五	六	七	八
五	六	七	八	九
六	七	八	九	一〇
七	八	九	一〇	一一
八	九	一〇	一一	一二
九	一〇	一一	一二	一三

◇白井喬二全集 (平凡社)

一月	二月	三月	四月	五月	六月
一	二	三	四	五	六
二	三	四	五	六	七
三	四	五	六	七	八
四	五	六	七	八	九
五	六	七	八	九	一〇
六	七	八	九	一〇	一一
七	八	九	一〇	一一	一二
八	九	一〇	一一	一二	一三
九	一〇	一一	一二	一三	一四

◇吉川英治全集 (平凡社)

二月	三月	四月	五月	六月	七月
一	二	三	四	五	六
二	三	四	五	六	七
三	四	五	六	七	八
四	五	六	七	八	九
五	六	七	八	九	一〇
六	七	八	九	一〇	一一
七	八	九	一〇	一一	一二
八	九	一〇	一一	一二	一三
九	一〇	一一	一二	一三	一四

◇小泉八雲全集 (第一書房)

一月	二月	三月
一	二	三
二	三	四
三	四	五
四	五	六
五	六	七
六	七	八
七	八	九
八	九	一〇
九	一〇	一一

◇白秋全集 (アルス)

六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
一	二	三	四	五	六	七
二	三	四	五	六	七	八
三	四	五	六	七	八	九
四	五	六	七	八	九	一〇
五	六	七	八	九	一〇	一一
六	七	八	九	一〇	一一	一二
七	八	九	一〇	一一	一二	一三
八	九	一〇	一一	一二	一三	一四
九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五

◇日本戯曲全集 (春陽堂)

一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二
二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三
三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四
四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五
五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六
六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七
七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八
八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九
九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇

十月	四	四五	一	幕	物	狂	言	集	同	美	清	太	郎	編
十一月	四	四六	中	古	大	阪	狂	言	集	同				
十二月	四	四七	維	新	狂	言	集	同						
三月	九	一〇	色	花	緒	他	七	篇	同	久	一			
八月	一〇													
◇曾我通家五郎全集 (アルス)														
◇現代語西鶴全集 (春秋社)														
一月	八	七	日本	永代	藏	西	鶴	織	留	谷	羅	六		
四月	八	八	萬	世	間	の	朝	文	俗	反	つ	つ	古	居
六月	一〇	九	本	朝	若	風	俗	菊	池	寛				
◇世界文學全集 二期 (新潮社)														
一月	一五	一五	穴											
三月	二	一六	ブ	ツ	デン	ブ	ロ	オ	ク	一	家	(一)	熊	中
五月	一	一七	根	こ	ぎ	に	さ	れ	た	人	々			成
七月	一六	一八	死	せ	る	バ	ス	カ	ル	・	悪	の	道	バ
八月	一九	一九	ブ	ツ	デン	ブ	ロ	オ	ク	一	家	(二)	・	和
◇世界文學全集 二期 (新潮社)														
七月	一五	一五	獨	逸	米	英	南	露	佛	映	映	映	映	映
八月	一	二	英	米	歐	亞	西	西	蘭	王	國	行	米	米
九月	八	九	南	露	佛	映	映	映	映	映	映	映	映	映
十月	三	四	露	佛	映	映	映	映	映	映	映	映	映	映
十一月	七	八	佛	映	映	映	映	映	映	映	映	映	映	映
十二月	一	二	英	南	露	佛	映	映	映	映	映	映	映	映
◇世界ユーモア全集 (改造社)														
二月	七	八	五	四	三	二	一	獨	逸	米	英	南	露	佛
三月	四	五	三	二	一	獨	逸	米	英	南	露	佛	映	映
四月	七	八	五	四	三	二	一	獨	逸	米	英	南	露	佛
五月	四	五	三	二	一	獨	逸	米	英	南	露	佛	映	映
六月	八	九	七	六	五	四	三	二	一	獨	逸	米	英	南
七月	五	六	四	三	二	一	獨	逸	米	英	南	露	佛	映
八月	一	二	獨	逸	米	英	南	露	佛	映	映	映	映	映
九月	八	九	七	六	五	四	三	二	一	獨	逸	米	英	南
十月	五	六	四	三	二	一	獨	逸	米	英	南	露	佛	映
十一月	二	三	獨	逸	米	英	南	露	佛	映	映	映	映	映
十二月	九	一〇	七	六	五	四	三	二	一	獨	逸	米	英	南
◇世界獵奇全集 (平凡社)														
二月	一〇	一一	或	女	の	性	愛	史	澤	田	順	次	郎	編
三月	九	一〇	變	態	性	と	享	樂	澤	田	順	次	郎	編
◇ゲーテ全集 (大村書店)														
四月	一五	一六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

演劇

四月	一八	一	書	簡	集	舟	本	重	信	郎												
五月	一九	二	マ	イ	ス	テ	ル	後	第	時	代	(下)	益	田								
六月	二一	三	わ	が	生	涯	か	ら	(上)	・	わ	が	生	涯	か	ら	(下)	益	田			
七月	三	四	フ	ア	ウ	ス	ト	藤	井	政	隆	郎										
八月	五	四	戀	人	の	む	ら	氣	外	五	篇	橋	本	典	夫	・	吉	田	豊	吉	郎	
九月	一〇	五	マ	イ	ス	テ	ル	の	遍	歴	時	代	石	倉	小	三	郎					
十月	一四	六	ゲ	ツ	ツ	外	三	篇	山	岸	光	宣	郎									
十一月	一四	六	第	二	次	羅	馬	滯	在	外	二	篇	吹	田	順	助	・	小	久	郎		
十二月	一四	七	捧	ぐ	る	詞	外	四	篇	三	篇	吉	兵	衛	郎							
◇世界演劇史 (平凡社)																						
四月	六	六	一	シ	エ	リ	ド	ウ	シ	ン	ケ	ム	ニ	ル	マ	ン	ツ	イ	ウ	ス	郎	
◇歌舞伎圖説 (中文館)																						
十二月	一	一	一	お	國	歌	舞	伎	圖	外	廿	九	圖	守	國	憲	治	・	秋	葉	芳	英
◇世界美術全集 別巻 (平凡社)																						
一月	二	二	一	六	樓	畫	案	畫	篇	石	井	柏	亭	外	八	氏						
二月	二	一	七	圖	案	畫	篇	足	立	順	一	郎	外	十二	氏							

◇世界美術全集 (平凡社)

三月	一四	一八	背	像	篇	相見香雨外十五氏
一月	三一	二八	後部印象派上)と前期及明治末期	石井柏亭外廿四氏		
二月	二二	二九	十七世紀南歐北歐・サラセ	伊東忠太外廿氏		
三月	一九	三〇	北歐・ルネサンス・代(一)	同		
四月	三三	三二	歐洲近代と明治大正時代	同		
五月	三三	三三	後部印象派(下)と新印象派	石井柏亭外廿四氏		
六月	二〇	三三	ルイ王朝・明末及桃山時代(下)	伊東忠太外廿三氏		
七月	八	三四	ルイ王朝・明末及桃山時代(上)	同		
八月	三	三五	エトラスク・香腸後部印象派	同		
九月	三六	三六	年表及總索引	同		

◇東西鑑賞名畫集 (學校美術協會)

三月	一	一	徵宗皇帝作桃鳩圖外廿九圖	學校美術協會編
----	---	---	--------------	---------

◇日本國寶全集 (刊行會)

一月	四八	四八	藥師如來像外十三篇	文部省編
三月	四九	四九	釋迦如來像外十六篇	同
五月	五〇	五〇	菩薩像外十六篇	同
八月	五一	五一	聖觀音像外十六篇	同

◇日本國寶全集 (刊行會)

十二月	五二	五二	釋迦如來及諸尊像外十八篇	文部省編
一月	四八	四八	藥師如來像外十三篇	同
三月	四九	四九	釋迦如來像外十六篇	同
五月	五〇	五〇	菩薩像外十六篇	同
八月	五一	五一	聖觀音像外十六篇	同
十一月	五二	五二	釋迦如來及諸尊像外十八篇	同

◇國寶美術集大成 (大風閣)

十月	七	一	室町時代(上)	大風閣編
十二月	二	二	鎌倉時代(上)	同
十二月	三	三	平安時代(上)	同

◇日本彫刻大鑑 (東方書院)

三月	四	一	平安時代(上)	風田編
----	---	---	---------	-----

◇南都十大寺大鏡 (大塚巧藝社)

九月	二	四	唐招提寺大鏡(第一)	東京美術學校編
十一月	三	五	法隆寺大鏡(第三)	同

◇近世日本畫大觀 (高見澤木版社)

二月	一〇	一	渡邊華山	高見澤木版社編
四月	三	二	芳崖	同
八月	四	三	初期風俗	同

◇浮世繪大家集成 (大風閣)

一月	二	二	清信・清信・政信	吉田映二編
二月	一〇	三	歌川派初期・北尾派	同
三月	一三	四	春好・春英	同
四月	一五	五	葛飾北齋	同
五月	一六	六	祐信	同
六月	一七	七	勝川春章	同
七月	一八	八	師宣・又兵衛	同
八月	一九	九	上方繪・大津繪・長崎繪	同
九月	二〇	一〇	浮世繪外廊	同

◇浮世繪標準畫集 (大風閣)

二月	九	一	寫真	樂井上和編
四月	八	二	歌	同
九月	一〇	三	北	同

◇日本繪卷物集成 (雄山閣)

四月	一九	一	石山寺緣起	岩橋小彌太編
五月	二〇	二	北野天神緣起	長坂金雄編
七月	二二	三	石山寺緣起・融通念佛緣起	岩橋小彌太編
十一月	二三	四	一通上人繪傳	雄山閣編輯部編

◇日本畫大成 (東方書院)

一月	二二	一	圓佛	飯塚米爾編
三月	二七	二	狩野	同
四月	二六	三	大狩	同
五月	二四	四	和宗	同
六月	一五	五	北宗	同
七月	一六	六	諸宗	同
八月	一八	七	風俗	同
九月	二一	八	南宗	同
十月	一九	九	落款	同
十一月	二二	一〇	明治	同
十二月	二三	一一	明治	同

◇六大浮世繪師決定版 (誠文堂)

五月	三	一喜多川歌麿	野口米次郎
六月	二	二東洲齋寫樂	同
八月	三	三島居清長	同
十月	四	四葛飾北齋	同
十二月	五	五鈴木春信	同

◇日本六十餘州名所圖會 (大倉書店)

一月	六	伊賀・淡路・伊豫	和田萬吉監修
二月	七	下總・出羽・加賀・壹岐	同
三月	八	常陸・備前・中豊後	同
四月	九	土佐・志摩・下野・目次	同
五月	一〇	伊勢・上総・飛騨	同

◇明治文化版畫大鑑 (豊文館)

五月	一	明治開化篇	高尾拓山・廣武堂監修
六月	二	明治演劇篇	高尾拓山・廣武堂監修

◇現代作家美人畫全集 (新潮社)

六月	二	二へんえふほく外百十一圖	同
七月	三	三ときはさんざし外百十一圖	同
八月	四	四ずいれん外百十一圖	同

◇油繪新技法講座 (アトリエ社)

二月	八	八洋畫用語解説篇	田邊至
----	---	----------	-----

◇水彩新技法講座 (アトリエ社)

三月	一	一水彩畫の知識	石井柏亭外六氏
四月	二	二材料と技法	眞野紀太郎外七氏
五月	三	三風景畫法	三宅克巳外八氏
六月	四	四静物・人物・動物畫法	坂倉實治外六氏

◇素描新技法講座 (アトリエ社)

一月	三	三素描技法(下)	石井三外六氏
二月	五	五素描名作解説集(下)	アトリエ社編

◇圖案新技法講座 (アトリエ社)

七月	一	一基礎圖案法	杉浦非水外八氏
八月	二	二創作圖案法	同

◇石井柏亭集 (平凡社)

三月	一	一洋畫篇(下)	鈴木清方編
四月	二	二日本畫篇(上)	同
五月	三	三秋の日外五十五圖・詩歌	同
六月	四	四畫集・評論集	石井柏亭
七月	五	五舞姫外五十五圖	同

◇セザンヌ大畫集 (アトリエ社)

七月	一	一風物景	伊之助監修
八月	二	二静物	中川一茂監修
九月	三	三人物	足立一朗監修

◇非水百花譜 (春陽堂)

四月	一	一ひなげし外四葉	杉浦非水
八月	二	二のうぜんはれん外四葉	同
十二月	三	三はまなでしこ外四葉	同

◇萬花圖鑑 (平凡社)

九月	三	三平面圖案法	杉浦非水外七氏
十月	四	四立體圖案法	眞野紀太郎外七氏
十一月	五	五裝飾美術史	大岡爲三外五氏
十二月	六	六解説東洋名作圖案集	アトリエ社編

◇日本名筆全集 (雄山閣)

二月	一	一歌切集	尾上夢舟
六月	二	二古文書集	尾上夢舟
八月	三	三倭漢朗詠集	尾上夢舟
十月	四	四懷紙筆集	佐佐木信綱編
十二月	五	五萬葉古筆集	佐佐木信綱編

◇書道全集 (平凡社)

一月	二	二江戶・明治・昭和(三)	野本白雲編
二月	三	三江戶・明治・昭和(四)	野本白雲編
三月	四	四江戶・明治・昭和(五)	野本白雲編
四月	五	五漢字補遺	同
五月	六	六總索引・書道史	同

◇和漢名法帖選集 (平凡社)

八月	一	一獨孤僧本蘭亭序	平凡社編
----	---	----------	------

十月	二	嵯峨天皇宸翰唐李峴詩殘卷	平	凡	社
十一月	三	宋拓晉帖五種	同	同	同
十二月	四	唐賀知章草書孝經	同	同	同

◇書道講座 (雄山閣)

二月	二五	常用漢字帖(下)	水島	聖	龍
三月	二六	和體の研究	尾上	榮	舟
四月	二七	調和體朗詠抄(上)	同	同	同

◇書道講座 (雄山閣)

一月	一〇	篆隸帖及研究	高田	竹	山
二月	一一	和様概説	尾上	榮	舟
三月	一二	名碑百選	中村	不	折
四月	一三	天來習作帖	比田	井	天

音 樂

◇世界音楽全集 (春秋社)

一月	三三	ニピアノソナーダ集	マヤシム	シヤビロ	編
二月	三四	ニピアノソナーダ集	同	同	同
三月	三五	ニピアノソナーダ集	同	同	同
四月	三六	ニピアノソナーダ集	同	同	同

◇オルガン名曲全集 (京文社)

五月	二二	三日	門	馬	直	編
六月	三三	映畫音楽集	田	中	豐	編
七月	三三	學校唱歌集	門	馬	直	編
八月	三五	日本童謡集	同	同	同	同

◇童話・唱歌名曲全集 (京文社)

一月	一	明治回顧軍歌唱名曲選	堀内	敬	三	編
二月	二	高一度部の(春の外九十四篇)	田村	虎	三	編
三月	三	高二度部の(春の外九十四篇)	直井	小	三	編
四月	四	高一度部の(春の外九十四篇)	同	同	同	同

◇音楽講座 (文藝春秋社)

五月	二	音楽鑑賞法	湯	澤	永	年
六月	三	音楽概論	重	常	清	佐
七月	四	音楽史	吉	田	光	彦
八月	五	音楽史	吉	田	光	彦
九月	六	音楽史	吉	田	光	彦
十月	七	音楽史	吉	田	光	彦
十一月	八	音楽史	吉	田	光	彦
十二月	九	音楽史	吉	田	光	彦

◇ピアノ名曲全集 (京文社)

一月	一八	五日 本国民謡曲集	堀内	敬	三	編
二月	一九	六日 本国民謡曲集	堀内	敬	三	編
三月	二〇	七日 本国民謡曲集	堀内	敬	三	編
四月	二一	八日 本国民謡曲集	堀内	敬	三	編

語學

◇英文學叢書 第五輯(研究社)

一月	二	カーティフを指して東へ外三編	寺西武夫・高垣松雄
七月	三	トノ・パンゲイ	渡邊半次郎譯註

◇英米近代文學叢書(春陽堂)

一月	二〇	九 アカシアの路其他	花岡 健 定譯註
二月	一〇	夜の宿り其他	酒井 朝 彦譯註
三月	二	蜘蛛の巣の家の	藤田 榮 一譯註
四月	三	妻ゆゑに其他	宮島 新三譯註
五月	五	ガアデイチー隨筆集	山本 浩一譯註
六月	一八	文學鑑賞法・創作	西本 浩一譯註
七月	一五	結婚論	根村 浩一譯註
八月	一三	戀愛奉公其他	堀川 英 譯註
九月	二	英米代表的時文集	山本 浩一譯註
十月	一八	現代米國文藝評論集	山本 浩一譯註
十一月	一九	現代米國文藝評論集	山本 浩一譯註
十二月	二〇	現代米國文藝評論集	山本 浩一譯註

◇英米近代文學叢書(春陽堂)

四月	一	現代一幕物傑作集	宮島 新三譯註
五月	二	密告者・黒髮運轉士・其他	須藤 金 吉譯註
六月	三	近代英米短篇集	富 田 義 譯註
七月	四	サロメ・ウインダミア夫人の崩其他	藤田 榮 一譯註
八月	九	この最後の者にも其他	川 津 孝 西譯註
九月	八	牡丹燈籠・夏の日の夢其他	山本 浩一譯註
十月	七	厚化粧の女其他	山本 浩一譯註
十一月	六	虹・盲目の人の	山本 浩一譯註
十二月	五	虹・盲目の人の	山本 浩一譯註

◇英學生文庫(春陽堂)

三月	一	怪談	山本 浩一譯註
三月	二	同 舟 三 人	山本 浩一譯註
三月	三	ヒューマン・インターコース	山本 浩一譯註
四月	四	レ・ミゼラブル	山本 浩一譯註
五月	五	プロイズ・テールズ	山本 浩一譯註
六月	六	プロイズ・テールズ	山本 浩一譯註

◇最新ドイツ語講座(研究社)

六月	七	ハツビー・プリンス	山本 浩一譯註
七月	八	インテレグチュアル・ライフ	山本 浩一譯註
八月	九	ミルン 論文集	山本 浩一譯註
九月	一〇	レ・ミゼラブル(下)	山本 浩一譯註
十月	一一	夏	山本 浩一譯註
十一月	一二	ヒューマン・プリンス	山本 浩一譯註
十二月	一三	散文	山本 浩一譯註
一月	一四	アラビアン・ナイト	山本 浩一譯註
二月	一五	ユートピア小説集	山本 浩一譯註
三月	一六	ユートピア小説集	山本 浩一譯註

◇最新獨逸語講座(有朋堂)

三月	六	六 文法講座(外三篇)	權田 保之助
----	---	-------------	--------

◇新ドイツ語講座(研究社)

一月	四	結婚物語 外九篇	舟木重信外九氏
二月	五	ニーベルンゲンの歌外九篇	小森三好外九氏
三月	六	デエメルの詩に就いて外九篇	藤井天壇外八氏
四月	七	ゲーテの羅馬哀歌に就いて外八篇	同
五月	八	ゲーテの羅馬哀歌に就いて外八篇	同
六月	九	ゲーテの羅馬哀歌に就いて外九篇	同

◇最新フランス語講座(外語學院)

一月	一〇	一 發音講座 外三篇	增田健三氏
二月	一一	二 文法講座(初級) 外五篇	增田健三氏

八月	三	三文法講座(新編)外三篇	増田俊雄外二氏
九月	四	文法講座外四篇	豊尾猛外四氏
十月	五	文法講座外五篇	同

◇ふらんす語の講座 (研外社)

一月	一	發音	井上源次郎・藤田秀雄
二月	二	組織的佛語研究	藤本良雄
三月	三	初級佛語選文讀本講義	同
四月	四	文法	鈴木實一郎
五月	五	文法	同
六月	六	文法	同

◇新佛蘭西語講座 (歐亞社)

一月	一	佛蘭西語の發音と綴り	新佛蘭西語協會編
二月	二	佛蘭西語の文學と記號外五篇	同
三月	三	佛蘭西語の文字と記號外五篇	同
四月	四	ドイツ語・フランス語外四篇	同
五月	五	佛蘭西語作文講義外四篇	荒川金之助
六月	六	組織的佛蘭西文法篇外二篇	新佛蘭西語協會編
七月	七	佛蘭西語の文法	同
八月	八	總論的佛蘭西語講義	平尾佐一

◇最新ロシア語講座 (橋書店)

八月	一	發音	藤田秀雄・杉武夫
九月	二	文法	同
十月	三	讀本	同

辭典

◇大百科事典 (平凡社)

一月	二	イ	キ	ウ	チ	凡
二月	三	ウ	ツ	メ	カ	ム
三月	四	オ	ケ	カ	ワ	ム
四月	五	カ	ワ	タ	キ	ム
五月	六	カ	ワ	タ	キ	ム
六月	七	キ	ク	ク	タ	ム
七月	八	ク	リ	ク	タ	ム
八月	九	コ	ク	ク	タ	ム
九月	一〇	コ	ク	ク	タ	ム
十月	一一	コ	ク	ク	タ	ム
十一月	一二	コ	ク	ク	タ	ム
十二月	一三	コ	ク	ク	タ	ム

五月	一	一文字及發音講座外四篇	八杉貞利
八月	二	文法講座外四篇	八杉貞利・佐藤
十月	三	代名詞・形容詞(三)・動詞(三)	八杉利貞

◇ギリシヤ||ラテン講座 第一部 (鐵塔書院)

三月	三	ギリシヤ	トプラトンス學會編
三月	三	ラテン	トプラトンス學會編

◇模範支那語講座 (紀文閣)

五月	一	發音	何盛三外七氏
六月	二	文法	武田學信外九氏
七月	三	文法	同
八月	四	文法	同
九月	五	文法	同
十月	六	文法	同
十一月	七	文法	同
十二月	八	研究講座・聲音異同便覽	宮島青

◇春陽堂支那語講座 (春陽堂)

十二月	一	發音	宮島健太郎外三氏
-----	---	----	----------

◇短期支那語講座 (出書部)

四月	一	イ	ウ	チ	カ	凡
五月	二	ウ	ツ	メ	カ	ム
六月	三	オ	ケ	カ	ワ	ム
七月	四	カ	ワ	タ	キ	ム
八月	五	カ	ワ	タ	キ	ム
九月	六	キ	ク	ク	タ	ム
十月	七	ク	リ	ク	タ	ム
十一月	八	ク	リ	ク	タ	ム
十二月	九	ク	リ	ク	タ	ム

◇大百科事典 (平凡社)

四月	一	イ	ウ	チ	カ	凡
五月	二	ウ	ツ	メ	カ	ム
六月	三	オ	ケ	カ	ワ	ム
七月	四	カ	ワ	タ	キ	ム
八月	五	カ	ワ	タ	キ	ム
九月	六	キ	ク	ク	タ	ム
十月	七	ク	リ	ク	タ	ム
十一月	八	ク	リ	ク	タ	ム
十二月	九	ク	リ	ク	タ	ム

◇大百科事典 (平凡社)

四月	一	イ	ウ	チ	カ	凡
五月	二	ウ	ツ	メ	カ	ム
六月	三	オ	ケ	カ	ワ	ム
七月	四	カ	ワ	タ	キ	ム
八月	五	カ	ワ	タ	キ	ム
九月	六	キ	ク	ク	タ	ム
十月	七	ク	リ	ク	タ	ム
十一月	八	ク	リ	ク	タ	ム
十二月	九	ク	リ	ク	タ	ム